

京都精華大学

2025年度

入学試験要項

総合型選抜

学校推薦型選抜(公募制)

一般選抜

大学入学共通テスト利用入試

外国人留学生入試

KYOTO SEIKA



UNIVERSITY



ADMISSION



GUIDELINES



目次

この入学試験要項について	1
入学者に求める力	1
外国籍の方へ	2
試験における評価のポイント	3
国内学生の出願資格	4
外国人留学生の出願資格	4
募集人員	5
募集単位	5
2025年度 入試一覧	6
総合型選抜1期	8
総合型選抜2期	17
総合型選抜3期	24
学校推薦型選抜（公募制）	30
一般選抜1期	32
一般選抜2期	34
一般選抜3期	35
大学入学共通テスト利用入試	36
外国人留学生入試1期	38
外国人留学生入試2期	40
受験上の注意	42
オンライン受験上の注意	43
受験上の配慮	44
英語資格・検定試験の利用	45
国内学生の出願書類	46
外国人留学生の出願書類	46
出願書類の送付	47
インターネット出願手順	48
出願（エントリー）登録方法	50
入学検定料の支払方法	51
受験票の印刷	52
試験会場	52
合否発表	53
入学手続	54
学費	56
国内学生を対象とした本学独自の奨学金	57
外国人留学生を対象とした本学独自の奨学金	59
個別の入学資格審査	60
お問合せ その他	61

この入学試験要項について

この冊子は、本学のアドミッション・ポリシー、入試制度、出願手続、受験上の注意などについて記載しています。本学への進学を志望する方は、必ずご確認のうえ、出願手続を行ってください。なお、記載内容は2024年7月時点のものです。緊急時における入学試験の対応などについては、本学 Web サイト（入試&高校生・受験生向け情報）でお知らせしますので、受験前にご確認ください。

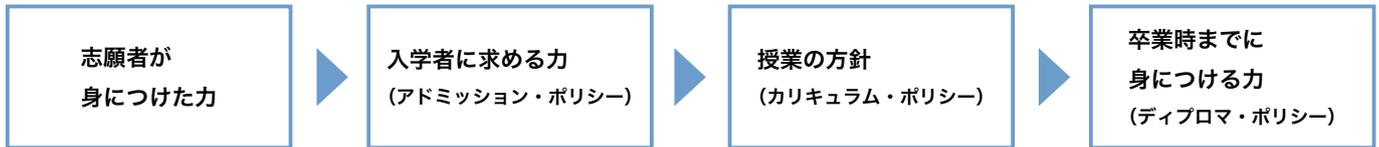
入試&高校生・受験生向け情報



入学者に求める力

京都精華大学は人間を尊重し人間を大切にすることを教育の基本とし、学問・芸術によって人類社会に尽くそうとする自立した人間の形成を目的としています。この教育理念のもとに、卒業時まで身に付ける力（ディプロマ・ポリシー）、授業の方針（カリキュラム・ポリシー）、入学者に求める力（アドミッション・ポリシー）を設けています。

本学では多様な学生を募集するために、志願者がこれまでに身につけた力を、学力・技能・意欲などの様々な観点から評価する試験方式を用意しています。



アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）

本学では、アドミッション・ポリシーを下記の3つの領域として定めています。

試験方式ごとに評価する領域を設定しています	領域1：知識・理解・技能	領域2：思考・判断・表現	領域3：関心・意欲・態度
	1. 高等学校の教育課程における基礎学力・技能を有している。 2. 入学後に発展可能な、作品制作に関する基礎知識・技能を有している（芸術学部・デザイン学部・マンガ学部が対象）。	1. 身近な問題について、知識や情報をもとに筋道を立てて思考できる。 2. 他者の意見を理解し、自分の考えをわかりやすく表現できる。	1. 新しい領域や多様な人々に対して先入観なく向き合い、生涯にわたって学習を継続する意欲がある。 2. 学びたい学部・学科の知識や経験を社会で活かしたいという目的意識を持っている。
個別プログラム	○	○	○
オンライン面接	○	○	○
学力2科目	○	○	—
小論文	○	○	—
鉛筆デッサン	○	○	—
イメージ表現	○	○	—
大学入学共通テスト利用	○	○	—

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

本学は、ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）を達成するために、全学共通教育科目、学部専門教育科目を体系的に編成し、講義、演習、実習などを適切に組み合わせた授業を開講します。

教育内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 全学共通教育科目 全学共通教育科目は、各自の専門性を活かしつつ社会の中で自由な個人として生きる姿勢を培うため、様々な学問領域にわたる科目を配置します。具体的には、表現科目群、グローバル科目群、リベラルアーツ科目群に加え、導入プログラム、マイナー科目群、社会実践力育成プログラム、キャリア科目群から構成しています。 2. 学部専門教育科目 学部専門教育科目は、学部共通科目と学科専門科目から構成されます。ともに、専門分野の基礎から専門的知識・技能や主体的に取り組む態度を修得し、それらを総合的に活用する力を養うため、体系的に科目を配置します。
教育方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学生の主体性を伸ばすため、能動的学修の視点を取り入れた教育方法を実施します。 2. 授業内・外の学修時間を考慮した授業内容を設計します。 3. 学修成果の可視化を通じて、学生の自律的な学修を支援します。
学修成果の評価	<p>本学では、学位授与の方針に掲げる能力・資質およびこれらの総合的な活用の修得状況を、「学部・学科レベル」「科目レベル」の2つのレベルで把握し、評価します。各レベルの評価の実施方法は、下記の通りとします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学部・学科レベル 学部・学科レベルの評価は、学部学科所定の教育課程における卒業要件達成状況、進級要件達成状況により行います。 2. 科目レベル 科目レベルの評価は、シラバスで提示された科目の学修目標に対する評価により行います。

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

本学は、グローバルな観点から思考し、リベラルアーツに基づいてより良い社会を創る意欲を持ち多様な人々と協働し、世界の様々な課題に対する新しい価値を表現し、提供できる人間の形成を目指しています。学生は卒業時に下記の5つの力を身につけていることによって学位が授与されます。

知識と理解 (knowledge & understanding)	広い視野から複眼的に考察するための知識と理解力
創造的思考・視点と考察 (creative perspective & observation)	新しい文化と価値を発想するための創造的思考力
技術・研究と表現 (skills / research & expression)	変化し続ける社会で専門領域の学びを生かすための応用力
他者理解と協働 (mutual understanding & collaboration)	地球規模の視点で社会的課題に取り組むための他者理解と協働力
社会への関心と行動 (interests & action)	より良い社会を創るための主体的な行動力

外国籍の方へ

出願できる入試種別

外国籍（日本国籍を有していない）の方が出願できる入試種別は、出願時点の在留資格取得状況によって異なります。下記の表に記した①～④のいずれに該当するかを確認してください。なお、出願資格については4ページの「外国人留学生の出願資格」に詳細を記載しています。

出願時点において、日本国籍を有する重国籍者で外国人学生として入学を希望する方は、出願前に入学グループへ相談してください。

入試種別	出願時点の在留資格 取得状況			
	①有効な在留資格 「留学」を有している方	②在留資格を 有していない方	「留学」以外の中長期滞在可能な在留資格を有している方 ※ 入学に際する在留資格の変更予定の有無によって異なります。	
			③「留学」への変更予定あり	④「留学」への変更予定なし
総合型選抜1期・2期	出願可	出願可	出願可	「国内学生」として出願可
総合型選抜3期	出願可	出願不可	出願不可	「国内学生」として出願可
外国人留学生入試1期	出願可	出願可	出願可	出願不可
外国人留学生入試2期	出願可	出願不可	出願不可	出願不可
学校推薦型選抜（公募制）	出願不可	出願不可	出願不可	「国内学生」として出願可
一般選抜1期	出願不可	出願不可	出願不可	「国内学生」として出願可
一般選抜2期・3期	出願可	出願不可	出願不可	「国内学生」として出願可
大学入学共通テスト利用入試 1期・2期・3期	出願可	出願不可	出願不可	「国内学生」として出願可

※「国内学生」として在籍する方は、外国人留学生の各種補助制度が利用できない場合があります。

試験における評価のポイント

試験方式・科目	評価のポイント
個別プログラム	個別プログラムの結果および自己推薦書から総合的に評価します。評価のポイントは、募集単位（学科・コース）ごとに設けていますので、10～28ページに記載された「評価のポイント」をご確認ください。
オンライン面接	オンライン面接での回答および自己推薦書を通じて、意欲、主体性、思考力、表現力を総合的に評価し、合否を判定します。志望する学部・学科・コースの学びの内容について意欲や関心があるか、本学について理解しているか、本学入学後に学びたい内容や実現したいことについて考えているか、これまで取り組んできたこと、その経験を通じて何を学んだかがポイントです。芸術学部・デザイン学部・マンガ学部では、これまでに制作した作品についても評価します。
学力2科目	<p>【英語】 「英語コミュニケーションⅠ」「英語コミュニケーションⅡ」「論理・表現Ⅰ」を出題範囲としています。英語を読む力や会話のやりとりをする力、語彙力、文法・語法に至る英語力を主に測ります。</p> <p>【国語】 「現代の国語」「言語文化（古文・漢文を除く）」を出題範囲として、社会・文化・歴史などの分野について書かれた論説文や評論文を中心にとりあげます。選択問題（マーク式）に加え、記述式の設問（30字～50字程度）があります。筆者の主張を読み取る問題を通じて、読解力、論理的思考力、語彙力を問い、国語の基礎力を測ります。</p> <p>【数学】 「数学Ⅰ」「数学A」を出題範囲として、幅広く数学の基礎的な力を測ります。</p> <p>【日本史】 ※5科目から2科目選択方式のみで実施 「日本史探究」を出題範囲として、日本史の基礎となる知識や思考力を問います。</p> <p>【世界史】 ※5科目から2科目選択方式のみで実施 「世界史探究」を出題範囲として、特定のテーマや地域だけに偏ることなく、世界史の基礎となる知識や思考力を問います。</p>
小論文	日本語の文章を読んで、その内容を理解したうえで、設問に対して自分の考えや意見を論述する試験です。課題文を読解できているか、その論旨を正確に把握しているか。また示された設問について十分に考察し、自分の意見を論理的かつ、説得力があり、分かりやすい文章で説明できているかを評価します。
鉛筆デッサン	定型物の形や比率の正確さ、各モチーフ間の大きさのバランスがとれているか。立体感や重量感、質感や色の違いが表現できているか。各モチーフの特徴を活かした画面構成となっているか、また、モチーフによって作り出される奥行き、空気感、差し込む光、絵としての世界観を意識しているかを主に評価します。 ※ 外国人留学生の日本語作文試験では、日本語として適切な表現で、論理的にわかりやすい文章が書けるかを評価します。
イメージ表現	与えられた図形からの「発想力」、発想を他者に伝える「表現力」、ひとつの作品としてまとめる「構成力」を重視します。絵と文章を合わせて、独自の世界やアイデアが表現されているかを評価します。 ※ 外国人留学生の日本語作文試験では、日本語として適切な表現で、論理的にわかりやすい文章が書けるかを評価します。

国内学生の出願資格

下記の条件 (A) ~ (C) をすべて満たす者

(A) 国籍	国籍は問いません
(B) 在留資格	日本国籍を有しない者は、出願時点で日本で中長期滞在可能な在留資格（「留学」以外）を取得していること
(C) 学歴	下記のいずれかに該当する者、または 2025 年 3 月 31 日までに該当する見込みの者 1. 日本国内において、高等学校または中等教育学校後期課程を卒業した者 2. 日本国内において、特別支援学校の高等部または高等専門学校の 3 年次を修了した者 3. 日本国内において、高等学校卒業程度認定試験（旧大学入学資格検定）に合格した 18 歳以上の者 4. 外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した者（12 年未満の課程の場合は、さらに、文部科学大臣指定の準備教育課程を修了する必要がある） 5. 外国において、12 年の課程修了相当の学力認定試験に合格した 18 歳以上の者 6. 外国の大学入学資格である下記のいずれかを有する者 ・ 国際バカロレア（Diploma）を取得、Course Results のみは不可 ・ GCE-A レベルまたは国際 A レベル（2 科目以上で合格、E 評価以上） ・ アビトゥーア（ドイツ）・バカロレア（フランス）・欧州バカロレア 7. 国際的な評価団体（WASC、CIS、ACSI、NEASC、Cognia）の認定を受けた教育施設の 12 年の課程を修了した者 8. 文部科学大臣により指定された専修学校の高等課程を修了した者 9. 上記以外に文部科学省が定める大学入学資格を有する者（文部科学省 Web サイト「大学入学資格について」をご確認ください） 10. 本学において、個別の入学資格審査により認められた 18 歳以上の者（60 ページの「個別の入学資格審査」をご確認ください）

※ 学校推薦型選抜（公募制）に出願する場合は、上記に加え、在籍する高等学校等の学校長の推薦を受けることが必要です。調査書の全体の学習成績の状況（評定平均値）の基準はありません。出願にあたり、学校長の推薦書と学校が発行する調査書の提出が必要です（推薦書は 2024 年 4 月 1 日以降に発行されたものに限ります）。

※ 出願時点で、「留学」以外の中長期滞在可能な在留資格を有している方は、在留カード（両面）の写しとパスポートの顔写真のページの写しを提出してください。

外国人留学生の出願資格

下記の条件 (A) ~ (E) をすべて満たす者

(A) 国籍	日本国籍を有しない者
(B) 在留資格	下記のいずれかに該当する者 ・ 出願時点で有効な在留資格「留学」を有する者 ・ 入学時点で在留資格「留学」を取得する見込みがある者 ※ 出願時点で在留資格「留学」を有していない者は、2024 年 12 月以降に実施する入試に出願することはできません。
(C) 学歴	下記のいずれかに該当する者、または 2025 年 3 月 31 日までに該当する見込みの者 1. 外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した者（12 年未満の課程の場合は、さらに、文部科学大臣指定の準備教育課程を修了する必要がある） 2. 外国において、12 年の課程修了相当の学力認定試験に合格した 18 歳以上の者 3. 外国の大学入学資格である下記のいずれかを有する者 ・ 国際バカロレア（Diploma）を取得、Course Results のみは不可 ・ GCE-A レベルまたは国際 A レベル（2 科目以上で合格、E 評価以上） ・ アビトゥーア（ドイツ）・バカロレア（フランス）・欧州バカロレア 4. 国際的な評価団体（WASC、CIS、ACSI、NEASC、Cognia）の認定を受けた教育施設の 12 年の課程を修了した者 5. 日本国内において、高等学校または中等教育学校後期課程を卒業した者 6. 日本国内において、特別支援学校の高等部または高等専門学校の 3 年次を修了した者 7. 日本国内において、高等学校卒業程度認定試験（旧大学入学資格検定）に合格した 18 歳以上の者 8. 文部科学大臣により指定された専修学校の高等課程を修了した者 9. 上記以外に文部科学省が定める大学入学資格を有する者（文部科学省 Web サイト「大学入学資格について」をご確認ください） 10. 本学において、個別の入学資格審査により認められた 18 歳以上の者（60 ページの「個別の入学資格審査」をご確認ください）
(D) 日本語能力	出願時点で、下記のいずれかに該当する者 ・ JLPT（日本語能力試験）N2 レベル以上※ 2010 年以降に実施された試験であること ・ EJU（日本留学試験）「日本語」科目において [読解]/[聴解・聴読解] の合計が 220 点以上、および [記述] が 25 点以上 ・ JPT（日本語能力試験）525 点以上 ・ J. TEST（実用日本語検定）A-C レベルで認定を受け、600 点以上 ・ BJT（ビジネス日本語能力テスト）420 点以上
(E) 日本での学修状況	在留資格「留学」を有する者は、出願時点で在籍している日本の学校の通算出席率が 90% 以上であること ※ 在籍する日本の学校が、出席状況を証明する書類を発行しない場合は、入学グループまでお問合せください。

※ 出願時点において、日本国籍を有する重国籍者で外国人学生として入学を希望する方は、出願前に入学グループに相談してください。

募集人員

学部	学科	入学定員	総合型選抜			学校推薦 公募制	一般選抜			大学入学共通 テスト利用入試			外国人 留学生入試		その他の入試	
			1期	2期	3期		1期	2期	3期	1期	2期	3期	1期	2期		
国際文化学部	人文学科	138	31	10	10	18	18	8	8	11			8	5	若干名	
	グローバルスタディーズ学科	45	8	4	4	6	6	3	3	4			2	2		
メディア表現学部	メディア表現学科	177	52	8	8	20	20	6	6	15			10	6		
芸術学部	造形学科	140	54	14	-	17	17	-	-	6	-	-	12	6		
デザイン学部	ビジュアルデザイン学科	74	30	8	-	8	8	-	-	2	-	-	6	4		
	イラスト学科	67	27	7	-	7	7	-	-	2	-	-	6	4		
	プロダクトデザイン学科	77	34	8	-	8	8	-	-	3	-	-	6	4		
	建築学科	56	16	5	-	9	9	-	-	5	-	-	5	4		
マンガ学部	マンガ学科	240	133	-	-	25	16	-	-	6	-	-	26	13		
	アニメーション学科	84	46	-	-	8	8	-	-	3	-	-	9	4		
合計		1098	431	64	22	126	117	17	17	57			90	52		若干名

※ 入学定員には、指定校推薦入試、海外帰国生徒入学試験、社会人入学試験など、その他の入学試験の募集人員を含みます。なお、各入試種別において、本学で学修する能力を満たしていないと判断した場合、合格者数が募集人員を下回ることがあります。

募集単位

本学では、**募集単位（学科単位、コース単位）で出願を受付けます。**募集単位とは入学試験を実施する単位のことです。出願の際は募集単位から志望先を選択してください。学内併願ができる入学試験では、2つまで選択できます。

学部	学科	専攻・コース	備考
国際文化学部	人文学科	歴史、文学、社会	学科単位で募集し、2年次から専攻に所属
	グローバルスタディーズ学科	国際文化、国際日本学	
メディア表現学部	メディア表現学科	メディアイノベーション、メディアデザイン、 メディアコミュニケーション、音楽メディア	
芸術学部	造形学科	洋画、日本画、版画、立体造形、陶芸、テキスタイル、映像	
デザイン学部	ビジュアルデザイン学科	グラフィックデザインコース	コース単位で募集
		デジタルクリエイションコース	
	イラスト学科	イラスト、モーションイラスト	学科単位で募集し、2年次から専攻に所属
	プロダクトデザイン学科	インダストリアルデザイン、ライフクリエイション、 ファッションデザイン	
建築学科	建築、人間環境デザイン		
マンガ学部	マンガ学科	ストーリーマンガコース	コース単位で募集
		新世代マンガコース	
		キャラクターデザインコース	
	アニメーション学科	アニメーションコース	

が募集単位

2025 年度 入試一覧

入試種別	出願区分		試験方式	試験科目・配点	実施学部					
	国内学生	外国人留学生			国際文化	メディア表現	芸術	デザイン	マンガ	
総合型選抜 1 期	○	○	個別プログラム	個別プログラム 200 点、自己推薦書 50 点	○	○	○	○	○	
総合型選抜 2 期	○	○	個別プログラム	個別プログラム 200 点、自己推薦書 50 点	○	○	○	○	-	
学校推薦型選抜 (公募制)	○	-	オンライン面接	面接 150 点、自己推薦書 50 点 調査書 50 点	○	○	○	○	○	
			イメージ表現	イメージ表現 200 点、調査書 50 点	-	-	○	○	○	
			学力 2 科目 (3 科目から選択)	学力 200 点 (1 科目 100 点×2) 調査書 50 点	○	○	○	○	○	
			小論文	小論文 200 点、調査書 50 点	○	○	○	○	○	
			鉛筆デッサン	鉛筆デッサン 200 点、調査書 50 点	-	-	○	○	○	
外国人留学生入試 1 期	-	○	オンライン面接	面接 150 点、自己推薦書 50 点	○	○	○	○	○	
			イメージ表現・日本語作文	イメージ表現 150 点、日本語作文 50 点	-	-	○	○	○	
			学力 2 科目 (3 科目から選択)	学力 200 点 (1 科目 100 点×2)	○	○	○	○	○	
			小論文	小論文 200 点	○	○	○	○	○	
			鉛筆デッサン・日本語作文	鉛筆デッサン 150 点、日本語作文 50 点	-	-	○	○	○	
総合型選抜 3 期	○	○※	個別プログラム	個別プログラム 200 点、自己推薦書 50 点	○	○	-	-	-	
一般選抜 1 期	○	-	オンライン面接	面接 150 点、自己推薦書 50 点	○	○	-	-	-	
			学力 2 科目 (3 科目から選択)	学力 200 点 (1 科目 100 点×2)	○	○	-	-	-	
			イメージ表現	イメージ表現 200 点	-	-	○	○	○	
			学力 2 科目 (5 科目から選択)	学力 200 点 (1 科目 100 点×2)	○	○	○	○	○	
			小論文	小論文 200 点	○	○	○	○	○	
			鉛筆デッサン	鉛筆デッサン 200 点	-	-	○	○	○	
外国人留学生入試 2 期	-	○※	オンライン面接	面接 150 点、自己推薦書 50 点	○	○	-	-	-	
			学力 2 科目 (3 科目から選択)	学力 200 点 (1 科目 100 点×2)	○	○	-	-	-	
			イメージ表現・日本語作文	イメージ表現 150 点、日本語作文 50 点	-	-	○	○	○	
			学力 2 科目 (5 科目から選択)	学力 200 点 (1 科目 100 点×2)	○	○	○	○	○	
			小論文	小論文 200 点	○	○	○	○	○	
			鉛筆デッサン・日本語作文	鉛筆デッサン 150 点、日本語作文 50 点	-	-	○	○	○	
一般選抜 2 期	○	○※	オンライン面接	面接 150 点、自己推薦書 50 点	○	○	-	-	-	
一般選抜 3 期	○	○※	オンライン面接	面接 150 点、自己推薦書 50 点	○	○	-	-	-	
大学入学共通 テスト利用入試	1 期	○	○※	大学入学共通テスト利用	高得点の 2 教科・2 科目 200 点 (1 科目 100 点×2)	○	○	○	○	○
	2 期					○	○	-	-	-
	3 期					○	○	-	-	-

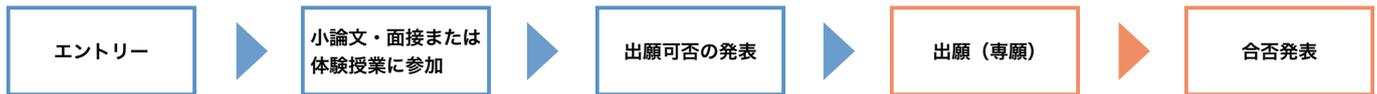
※ 外国籍の方の出願欄で、○※が付いた入試種別については、出願時点において日本で有効な在留資格「留学」を有している方が対象です。詳しくは 2 ページの「外国籍の方へ」を確認してください。

	出願期間	試験日	合否発表日	入学手続締切日
	エントリー：2024年9月1日（日）～9月5日（木） 出願：2024年9月26日（木）～10月7日（月）	9月15日（日） 9月16日（月・祝）	出願可否：9月26日（木） 合否：11月1日（金）	11月8日（金）
	エントリー：2024年9月26日（木）～9月30日（月） 出願：2024年10月18日（金）～10月23日（水）	10月13日（日）	出願可否：10月18日（金） 合否：11月1日（金）	11月8日（金）
	2024年11月1日（金）～11月6日（水）	11月16日（土）	12月2日（月）	1次手続締切：12月13日（金） 2次手続締切：2025年1月22日（水）
11月17日（日）午前				
11月17日（日）午後				
	2024年10月2日（水）～10月11日（金）	11月16日（土）	12月2日（月）	12月13日（金）
11月17日（日）午前				
11月17日（日）午後				
	2024年11月28日（木）～12月4日（水）	12月15日（日）	12月23日（月）	2025年1月8日（水）
	2025年1月7日（火）～1月16日（木）	2月4日（火）	2月18日（火）	2月25日（火）
2月5日（水）				
2月6日（木）午前				
2月6日（木）午後				
	2024年12月20日（金）～2025年1月6日（月）	2月4日（火）	2月18日（火）	2月25日（火）
2月5日（水）				
2月6日（木）午前				
2月6日（木）午後				
	2025年2月4日（火）～2月12日（水）	2月20日（木）	2月27日（木）	3月7日（金）
	2025年2月22日（土）～3月1日（土）	3月8日（土）	3月14日（金）	3月20日（木・祝）
	2025年1月7日（火）～1月16日（木）	本学独自の試験は 実施しません	2月18日（火）	2月25日（火）
2025年2月4日（火）～2月12日（水）	2月27日（木）		3月7日（金）	
2025年2月22日（土）～3月1日（土）	3月14日（金）		3月20日（木・祝）	

総合型選抜 1 期

この入学試験では、まず、志望先を選んでエントリーして、個別プログラムに取り組んでもらいます。試験の結果と「自己推薦書」から総合的に評価して、出願可否を発表します。「出願可」を受けた方が出願へと進み、書類審査を経て最終的な可否を発表します。

- ・「国内学生」および「外国人留学生」を対象とします。
- ・ **総合型選抜 1 期は専願入試です。** 出願可否の発表までは、本学への専願、他大学への併願を問いませんが、**出願した時点より本学への専願になります。** 「出願可」となった方は、本学へ必ず入学することを確約できる場合に限り、出願してください。
- ・ 学内併願した場合は、第 1 志望、第 2 志望のそれぞれについて判定します。
- ・ 試験日ごとに定員は設けません。
- ・ 各試験科目には合格基準とする最低点は設けません。
- ・ 第 1 志望、第 2 志望の両方で「出願可」となった場合、志望順位にかかわらず出願の際に志望先を選択することができます。



募集学部

国際文化学部、メディア表現学部、芸術学部、デザイン学部、マンガ学部
募集単位（5 ページ参照）から、第 2 志望まで学内併願することができます。

試験方式

試験方式は学部ごとに異なります。

試験日	試験方式・試験科目	国際文化	メディア表現	芸術	デザイン	マンガ
9月15日（日） 9月16日（月・祝）	小論文・面接 自己推薦書	○	-	-	-	-
	体験授業 自己推薦書	-	○	○	○	○

試験日程

エントリー	エントリー期間	受験票印刷日	試験日	出願可否発表日
	2024年9月1日（日）0:00～ 9月5日（木）23:59	9月10日（火） 12:00～	9月15日（日） 9月16日（月・祝）	9月26日（木） 12:00

※「出願可」となり、本学への入学を希望する方は、以下の手順へ進んでください。

出願	出願期間	受験票印刷日	試験日	合否発表日	入学手続締切日
	2024年9月26日（木）12:00～ 10月7日（月）23:59	受験票は発行し ません	書類審査 （学びの計画書等）	11月1日（金） 12:00	11月8日（金）

※ 出願期間内に出願登録を完了させて、入学検定料を納入してください。

※ 出願書類の提出期限：国内から出願する場合 10月7日（月）当日消印有効／海外から出願する場合 10月7日（月）当日必着

試験会場

京都精華大学

入学検定料

エントリー	エントリー時の入学検定料は 0 円です
-------	---------------------

出願	30,000 円
----	----------

※ いったん納入された入学検定料は、原則として返還しません。

試験内容

試験日	試験方式・試験科目		配点	出題内容	試験時間
9月15日（日） 9月16日（月・祝）	小論文・面接	小論文・面接	200点	出題内容は10ページに記載	国際文化学部 集合12:30 13:00～16:00（休憩含む）
		自己推薦書 （事前提出）	50点	あなたのこれまでの活動実績や制作実績、またその成果について、具体的な内容を800字程度（上限1200字）で記述すること。	インターネットエントリー時に入力（提出）すること
	体験授業	体験授業	200点	出題内容は11～16ページに記載	メディア表現学部・芸術学部・デザイン学部・マンガ学部 集合10:00 10:30～17:30（休憩含む）
		自己推薦書 （事前提出）	50点	あなたのこれまでの活動実績や制作実績、またその成果について、具体的な内容を800字程度（上限1200字）で記述すること。	インターネットエントリー時に入力（提出）すること

提出物

エントリー	<p>エントリー時に「自己推薦書」の提出が必要になります。エントリー期間が開始したら、インターネットエントリー時に入力（提出）してください。なお、学内併願する方は、第1志望、第2志望それぞれについて「自己推薦書」が必要です。</p> <p>※ エントリー時に「学歴証明書類」などの出願書類を送付する必要はありません。</p> <p>※ プロダクトデザイン学科、キャラクターデザインコースでは、試験当日に持参するもの（資料、作品など）があります。詳しくは個別プログラムのページを確認してください。</p>
出願	<p>出願時に「学びの計画書」の提出が必要になります。小論文・面接または体験授業に参加して、あなたが学んだこと、気づいたこと、興味を持ったことや、それをふまえて入学後にどのように学びたいかについて、800字程度（上限1200字）で記述してください。提出方法は、上記の「自己推薦書」と同じように、インターネット出願時に入力（提出）してください。</p> <p>また、入学検定料の納入と、出願書類の提出を出願期間内に完了してください。出願書類については、46～47ページを確認してください。</p>

試験日の選択

総合型選抜1期の試験は1日で行われます。第1志望のみにエントリーする場合、いずれか1日の参加となり、第2志望までエントリーする場合は、2日間の参加となります。試験日は2日間設けていますが、出題内容は同じです。評価をする上で、各試験日の参加人数を適切にするために、下記の通り試験日を決定しますので、エントリー時にいずれかを選択してください。

学内併願の有無	試験日の指定	試験日の決定
第1志望のみにエントリー	試験日を指定する	エントリー時に指定した試験日となります。
	試験日を指定しない	本学が試験日を指定します。※
第2志望までエントリー	試験日を指定できない	本学が第1志望、第2志望の試験日を指定します。※

※ 試験日は受験票に印刷されます。9月10日（火）の受験票印刷日以降にご確認ください。エントリー後に試験日を変更することはできません。

試験の予備日

台風等の影響で試験が実施できなくなった場合は、9月17日（火）もしくは18日（水）に延期します。

専願入試に関する留意事項

総合型選抜1期では、エントリーから個別プログラムの参加までは他大学との併願が可能ですが、「**出願可**」となった方が出願する時点から本学への専願入試になります。本学への入学を確約できる場合に限り出願してください。また、専願入試で入学手続を完了した方は、以降の入試に出願することはできません。ただし、奨学金「入学試験成績優秀特待生」の受給を目的として、一般選抜1期または外国人留学生入試2期を受験する場合に限り出願が認められます。この場合の志望先は、入学手続が完了した学科・コースと同一である必要があります。

求める人

- ・ 幅広い視野や国際的な観点から、日本の文化や歴史、文学、社会のことを学びたい人
- ・ いろんなフィールドに飛び出して異文化と直接触れ合いたい人
- ・ 個性的な考え方を身に付けたり、あるいは伸ばしたりしたい人
- ・ 自分とは違う考え方や異なる意見に触れて、新たな発見をしてみたい人

プログラム レクチャー、小論文、面接

テーマ・内容

グローバルとローカルの視点から

人文学科では、1年次にはグローバルな視野のもとで自文化について理解を深め、2年次からは専攻に分かれてより専門的に学ぶことで、自分の問題意識を深めていきます。このプログラムではまず、「共通テーマ」について国際文化学部の複数の教員が異なる視点から行うレクチャーを受け、学部の学びの多様さ、幅広さを体感してもらいます。レクチャー中には所定の用紙にメモを取り、疑問や質問を書いてもらいます。それらをもとに、レクチャー担当者からフィードバックを受けたいと、改めて「共通テーマ」について自分が考えたことを小論文(800字程度)にまとめます。教員との面接では、志望理由、入学後に学びたいこと、現在の興味・関心などに関する質疑応答を通して、自身の興味・関心や学びたい意欲と、学科の学びとのつながりを確認します。学び、考え、そして他者に向けて発信するという学部での学びのプロセス全体を体験します。

共通テーマ例：「病・感染症」、「戦争」、「旅」

時間割

- 12:30 集合
- 13:00 レクチャー
- 14:00 休憩
- 14:15 レクチャー担当者からのフィードバック
- 14:45 小論文と面接(途中休憩あり)
- 16:00 終了

評価のポイント

- ・ 【レクチャー】 内容の要点及び疑問や質問などをメモ用紙に適切に記入できているか
- ・ 【小論文】 レクチャーを理解したうえで書かれているか、自分なりの考えが書かれているか、文章全体の構成が論理的か、わかりやすい日本語で書かれているか
- ・ 【面接】 志望理由が明確か、大学で学ぶ意欲があるか、筋道立てて話し論理的に思考しているか、これまでの活動から積極性が見て取れるか

持参できる用具

黒芯の鉛筆またはシャープペンシル、鉛筆削り(電動式・大型のもの・ハンドル付きのものは不可)、消しゴム

支給物

メモ用紙

求める人

- ・ 異なる地域や国、文化に飛び込んでみたい人
- ・ 世界各地さまざまな人々の視点を学び、かつ、自分自身の視点を見つけたい人
- ・ 国内外においてグローバルな社会で活躍や表現をしたい人
- ・ 海外を視野に入れて新しいことに挑戦したい人
- ・ 語学に興味がある人

プログラム レクチャー、小論文、面接

テーマ・内容

グローバルとローカルの視点から

グローバルスタディーズ学科では、4年間の間に最大3度のフィールドワークを行います。フィールドワークは「旅行」とは大きく異なります。本や映像で目にした社会の中に実際に入り込み、同じ生活空間を共有することで、他者の生活を体験し、書物や映像からだけでは知りえない地域や社会を知り、理解することを目指します。このプログラムではまず、「共通テーマ」について国際文化学部の複数の教員が異なる視点から行うレクチャーを受け、学部の学びの多様さ、幅広さを体感してもらいます。レクチャー中には所定の用紙にメモを取り、疑問や質問を書いてもらいます。それらをもとに、レクチャー担当者からフィードバックを受けたいと、改めて「共通テーマ」について自分が考えたことを小論文(800字程度)にまとめます。教員との面接では、志望理由、入学後に学びたいこと、現在の興味・関心などに関する質疑応答を通して、自身の興味・関心や学びたい意欲と、学科の学びとのつながりを確認します。学び、考え、そして他者に向けて発信するという学部での学びのプロセス全体を体験します。

共通テーマ例：「病・感染症」、「戦争」、「旅」

時間割

- 12:30 集合
- 13:00 レクチャー
- 14:00 休憩
- 14:15 レクチャー担当者からのフィードバック
- 14:45 小論文と面接(途中休憩あり)
- 16:00 終了

評価のポイント

- ・ 【レクチャー】 内容の要点及び疑問や質問などをメモ用紙に適切に記入できているか
- ・ 【小論文】 レクチャーを理解したうえで書かれているか、自分なりの考えが書かれているか、文章全体の構成が論理的か、わかりやすい日本語で書かれているか
- ・ 【面接】 志望理由が明確か、大学で学ぶ意欲があるか、筋道立てて話し論理的に思考しているか、これまでの活動から積極性が見て取れるか

持参できる用具

黒芯の鉛筆またはシャープペンシル、鉛筆削り(電動式・大型のもの・ハンドル付きのものは不可)、消しゴム

支給物

メモ用紙

求める人

- ・ いままでない新しい媒体、新しい表現方法を自ら生み出す人
- ・ 好奇心旺盛で、独創的かつ自由な発想をカタチにしたい人
- ・ 最新のテクノロジーを使った表現、社会課題の解決を目指す人
- ・ アート、ビジネス、両方を理解し社会に影響を与えたい人
- ・ 広い視野を持ち、ねばり強く行動して突破できる人

プログラム レクチャー、提案

テーマ・内容

メディアの概念と歴史を理解して、新しいメディアを考えてみよう

メディア表現学部では、理系文系芸術系という括りを超えて、最新のテクノロジーを活用し、社会に新しい価値を提供する、様々なメディアの企画・制作を行います。

この体験授業では、メディアの歴史を辿り、誕生した概念について理解を深めます。その上で様々なメディア表現や、メディアを通じたアプローチについて学び、実際に新しいメディアを企画し、表現することを目指します。

具体的には、

- ① メディア概念の理解：メディアの構成要素や役割、現在のメディア環境が生まれるまでの歴史などメディアについての基本的な知識をレクチャーします。
- ② メディア表現の様々なアプローチ：メディア表現学科の4専攻それぞれの切り口から、現代のメディアと、これからの新しいメディアの可能性や方向性について解説します。
- ③ 新しいメディアの提案：レクチャーをふまえて、今後生まれてきそうなメディア、求められるメディアなど、新しいメディアを企画し、それを文章、ビジュアル、音声などで表現してもらいます。提案作業の時間を2回設けますので、②で取り上げたテーマから2つを選択して提案作業に取り組んでください。

この授業は、新たな媒体と表現を生んできたメディアの歴史と理論を理解した上で、次の時代を予測して、実際に自分で企画提案するメディア表現学部での学びのプロセスを体験するものです。豊かな創造力でこれからのメディアについて考え、この体験授業を通じて入学後の学びの理解を深めてください。

時間割

- 10:00 集合
- 10:30 レクチャー
- 12:15 休憩
- 13:15 提案作業(1)
- 15:15 休憩
- 15:30 提案作業(2)
- 17:30 終了

評価のポイント

【情報理解力】

- ・ レクチャーの情報を整理できている
- ・ レクチャーの内容を反映して提案できている

【提案力】

- ・ 提案に客観性、論理性がある
- ・ 提案に独創性、新しさがある

【社会・メディアへの関心】

- ・ 社会課題をクリエイティブな方法で解決しようとしている
- ・ メディアの特性を捉えて適正な提案ができている

持参できる用具

黒芯の鉛筆またはシャープペンシル、鉛筆削り（電動式・大型のもの・ハンドル付きのものは不可）、消しゴム

支給物

上記の持参できる用具以外に試験で必要な用具・材料は支給します。

求める人

- ・新しい領域や多様な表現に対して意欲的に取り組むことができる
- ・創作することに強い関心と興味を持つことができる
- ・教員とコミュニケーションをとることができる

プログラム 制作、作品発表

テーマ・内容

作る自分に出会うこと

モチーフを再構成し、デッサンする。

好奇心、探究心を発揮して、潜在的な創造力を引き出すことに挑戦します。

1. 与えられたモチーフを切る、貼るなどの加工を施し、再構成する。
2. 再構成したモチーフを鉛筆、コンテなどを使って描写する。
3. 制作した作品について制作意図を簡単に説明する。

モチーフの加工と描写を通して、あなたの感性と可能性を探りましょう。

教員からのアドバイスを受けながら作品を創造する考え方を学びましょう。

完成した作品を介して自分の考えや感情を相手に伝えること、作品を鑑賞して相手を理解することを体験します。美術の経験がなくても意欲があれば積極的にチャレンジしてください。

時間割

- 10:00 集合
- 10:30 与えられたモチーフを切る、貼るなどの加工を施し、再構成したものをクロッキーします。
- 12:30 休憩
- 13:30 再構成したモチーフを描写します。
(コンテの使い方 - 制作 - 完成 - 片付け)
- 16:30 作品発表・講評
(出来上がった作品を見て、制作意図を説明します)
- 17:30 終了

評価のポイント

- ・新しい領域や多様な表現に対して意欲的に取り組んでいるか
- ・創作することに強い関心と興味を持つことができるか
- ・教員とコミュニケーションをとることができるか

持参できる用具

使い慣れたデッサン用具 (なければ HB ~ 6B の鉛筆を各数本)、消しゴム (練り消しゴム含む)、鉛筆削り (電動式・大型のもの・ハンドル付きのものは不可)、はさみ、カッターナイフ、メモを取るためのノート (事前に書いたスケッチ、メモなどは持ち込み不可)、体操着・作業着・エプロンなど汚れてもよい服装

支給物

モチーフ (各種)、画用紙、テープ、その他に試験に必要な用具・材料は支給します。

デザイン学部 ビジュアルデザイン学科 グラフィックデザインコース

体験授業

求める人

グラフィックデザインは、まだまだいろいろな可能性にあふれています。グラフィックデザインコースは、身のまわりの世界をもっと美しくしたい、楽しくしたい、面白くしたい、もっと心地よくしたいなどの気持ちがあふれている多様な人が集まり、自分の美意識、感性を鍛えぬき、好奇心全開で世の中にかくれている、楽しい種を発見する場所です。多くの人をワクワクさせたい人を求めます。

プログラム レクチャー、制作、作品発表

テーマ・内容

色彩構成力をレベルアップさせ、グラフィックデザインに触れる
～「カラーグラフィック・バッグ」をデザインしよう～

グラフィックデザインとは、さまざまな図像と文字 (ことば) を組み合わせ、素材に展開することで豊かな表現となり、人々の心に響くようデザインしていくプロセスをいいます。この授業では最初に、「セイカいるがみ」を用いた配色の考え方に関するレクチャーを受け、色彩構成作品を制作します。次にその作品をデジカメで撮影、パソコンにてタイトル文字と合わせてレイアウトした後、プリンターで出力し、トートバッグに転写します。色と形の組み合わせを楽しみながら、「造形 (素材) → 構成 (デザイン) → 展開 (発信)」というグラフィックデザインのプロセスとエッセンスを学びます。

時間割

- 10:00 集合
- 10:30 レクチャー
- 11:30 制作①
- 12:30 休憩
- 13:30 制作②
- 16:00 作品発表
- 17:00 まとめ
- 17:30 終了

評価のポイント

- ・作品
 - ・制作姿勢
 - ・教員とのコミュニケーション
 - ・発表
- これらを総合的に評価します。

持参できる用具

黒芯の鉛筆またはシャープペンシル、鉛筆削り (電動式・大型のもの・ハンドル付きのものは不可)、カッターナイフ (鉛筆を削るための使用に限る)、消しゴム、メモを取るためのノート (事前に書いたスケッチ、メモなどは持ち込み不可)、汚れてもよい動きやすい服装

支給物

「セイカいるがみ」、カッターナイフ、カッターマット、はさみ、定規 (30cm)、アイロンプリントシート、トートバッグ

求める人

- ・ ムービーやゲーム、デジタルアートなどのエンタテインメントの制作や発信を通じて社会を楽しくしていきたいと考えている人
- ・ 人と関わりグループで制作する事が好きな人
- ・ 分かりやすく魅力的に伝える為に工夫するのが好きな人
- ・ 計画的に物事を進めたり、自己管理ができる人
- ・ 日本語での円滑なプレゼンテーションを行える人

プログラム レクチャー、制作、プレゼンテーション

テーマ・内容

メッセージスタンプをデザインしよう！

あなたの地元の特色と、あなたの個性を組み合わせたオリジナルキャラクターでメッセージスタンプをデザインし、その魅力をプレゼンテーションで伝えてもらいます。

1. オリジナルキャラクターのデザイン

地元のユニークな要素とあなたの個性を融合させ、世界に一つだけのキャラクターをデザインしましょう。このステップでは、想像力と創造性が重要です。

2. メッセージスタンプのデザイン

あなたが作ったキャラクターで、オリジナルのメッセージスタンプをデザインします。多様な表情やポーズでメッセージの幅を広げましょう。

3. プレゼンテーション

デザインしたメッセージスタンプの魅力を日本語で明確にプレゼンテーションしてください。

時間割

- 10:00 集合
- 10:30 スタッフ、本日のスケジュール紹介
- 10:45 スタンプ制作レクチャー
- 11:00 スタンプ制作
- 12:30 休憩
- 13:30 スタンプ制作
- 14:30 プレゼンテーション
- 17:15 まとめ
- 17:30 終了

※受験者数によって時間割を変更する場合があります。

評価のポイント

- ・ 地元と自分の魅力を引き立てるアイデアになっているか
- ・ 視覚的に魅力的なデザインになっているか
- ・ 明確で簡潔なプレゼンテーションになっているか

持参できる用具

黒芯の鉛筆またはシャープペンシル、鉛筆削り（電動式・大型のもの・ハンドル付きのものは不可）、カッターナイフ（鉛筆を削るための使用に限る）、消しゴム

支給物

色鉛筆（12色セット）、サインペン（黒）

求める人

イラスト学科には色々な人が集まります。「絵を描くことが好きな人」「デザインに興味がある人」「アニメーションや映像作品に興味がある人」「オシャレなものやカワイイものに目がいない人」「流行に敏感な人」・・・イラストの表現スタイルは多様です。自分らしさを意識して、楽しんで描いてください。

プログラム ミニ講義、レクチャー、実制作、作品講評

テーマ・内容

～与えられた「ことば」からイメージしてイラストを描こう！～

与えられた「ことば」から、自由にイメージを膨らませてイラストを描きます。

- ・ ミニ講義：主にイラストやデザインに関連した内容を講義します
- ・ レクチャー：制作するためのポイントやアドバイスをします
- ・ 実制作：A4サイズの画用紙に描きます。（制作時間：2時間30分）
- ・ 作品講評：教員が仕上がったイラストについて講評します

時間割

- 10:00 集合
- 10:30 ミニ講義
- 11:30 「ことばからのイラスト」レクチャー
- 12:00 休憩
- 13:00 「ことばからのイラスト」実制作開始
- 15:30 実制作終了
- 15:40 作品講評
- 17:30 終了

評価のポイント

- ・ 描画力
- ・ イメージ力
- ・ 取り組む姿勢

持参できる用具

各自が作品制作に使う画材（アクリルガッシュ、ポスターカラーなどの水性絵具、筆、筆洗、パレット、色鉛筆、サインペン、マーカーなど）、鉛筆やシャープペンシル、鉛筆削り（電動式・大型のもの・ハンドル付きのものは不可）、カッターナイフ（鉛筆を削るための使用に限る）、消しゴム、メモを取るためのノート、画板（カルトン）

支給物

上記の持参できる用具以外に試験で必要な用具・材料は支給します。

求める人

生活に関わるモノ・コトに興味があり、自らのデザインで生活を豊かに、より良いものにしたいという希望を持っている人、また生活を楽しむことができる人です。総合型選抜1期では、そういった私たちの暮らしを考えること、家電や自動車、文具や家具、ファッションなどのプロダクトを企画することが好きな人を求めます。

プログラム レクチャー、プランニング、アイデアスケッチ、発表

テーマ・内容

未来のプロダクトを考えよう！

自分の気になっているモノを持参し、参加者みんなに紹介しましょう。それらを他の人と交換し、交換したモノをモチーフとして、未来の暮らしを考え、プロダクトを考えます。

体験授業では、「誰が、いつ、どんな場所で、どのように使うのか、身につけるのか」と与えられたキーワードを条件として、様々な視点から未来の暮らしを想像(創造)します。あなたのデザインするプロダクトが、モノの魅力を最大限に引き出し際立たせることで人々の暮らしを豊かに変えていく、そうした楽しみを発見する授業です。

時間割

- 10:00 集合
- 10:30 自己紹介と持参したモノの紹介
- 11:30 レクチャー
- 12:00 休憩
- 13:00 プランニング
- 14:30 アイデアスケッチ
- 16:00 発表・講評
- 17:30 終了

評価のポイント

- ・ 意欲的に取り組めたか
- ・ 持参したモノの紹介は適切にできたか
- ・ 人を幸せにする為のアイデアを、広くたくさん展開できたか
- ・ 自分の企画をわかりやすく伝えることができたか
- ・ 他者の意見・発表を聞く姿勢が持てたか

試験時に持参するもの

あなたの気になっているモノを1点持参して下さい(例えば、時計、筆箱、ワンピース、かばん、自動車、椅子など)。持ってくるのが困難なものは写真をA4サイズ以上にプリントしたものを持参してください。

※他の人が持参したモノに触れることがあります。

持参できる用具

黒芯の鉛筆またはシャープペンシル、鉛筆削り(電動式・大型のもの・ハンドル付きのものは不可)、カッターナイフ(鉛筆を削るための使用に限る)、消しゴム

支給物

プランニングシート、用紙(ケント紙)、色鉛筆、サインペン、30cm定規、コンパス、その他に試験に必要な用具・材料は支給します。

求める人

建築デザイン、環境デザインに必要な視点は、身の周りの環境に興味を持ち、その場を使う人間の立場にたって、提案しようとする姿勢を持つことです。人々が生活する環境をより良くしたいと考える人を求めます。

プログラム レクチャー、調査、デザイン制作、発表

テーマ・内容

小さな空間

大学敷地内にある学生のための施設(学生会館)には、様々な使われ方がなされる部屋があり、学生活動の中心となる交流のための場所です。多くの人と交流する学生会館の中に、1人で過ごす「小さな空間」を考えてみましょう。現地を観察し、その場所の特徴を活かしながら具体的にイメージしてデザインしてみます。1人で行う行動、休む、寝る、食べる、飲む、読む、考える、書く、描く、つくる、遊ぶ・・・など、その場所で行われる行為を想定し、新しい場所について考えてみます。

時間割

- 10:00 集合
- 10:30 レクチャー
- 11:00 現地の視察調査、提案アイデア作成
- 12:30 休憩
- 13:30 各自アイデアの意見交換
- 14:00 各自アイデアの具体的なデザイン作業
- 16:00 各自アイデアの発表と意見交換
- 17:00 まとめと振り返り
- 17:30 終了

評価のポイント

- ・ 意欲的に取り組むことができたか
- ・ 新しいデザインを提案することができたか
- ・ 自分の提案内容をわかりやすく伝えることができたか
- ・ 他者の意見や提案を理解しようとする姿勢を持っていたか

持参できる用具

黒芯の鉛筆またはシャープペンシル、鉛筆削り(電動式・大型のもの・ハンドル付きのものは不可)、カッターナイフ(鉛筆を削るための使用に限る)、消しゴム

支給物

スケッチ用紙、ケント紙

求める人

- ・ オリジナルのストーリーを作りマンガを描きたい意欲のある人
- ・ 日本のマンガ文化に興味を持ち探究心がある人
- ・ マンガを作るために必要なコミュニケーション能力があり、マンガで人を楽しませることが好きな人

プログラム レクチャー、プロット・ネーム・原稿（下描き）制作

テーマ・内容

教員から学ぶ「日本の出版マンガの基本とストーリー作り」

普段授業で行っている「教員から丁寧なアドバイスを受けながら作品を制作する」形で、日本の出版マンガの基本とストーリー作りを学ぶ体験授業です。アイデア用紙に提示された「お題（作品テーマ）」に沿ってマンガを制作してください。

時間割

- 10:00 集合
- 10:30 授業説明、ネーム構成と見開き表現についてのレクチャー
- 11:00 ショートストーリー（4ページ）のアイデア出し、ネーム制作
- 12:30 休憩
- 13:30 ネームの制作
- 14:30 下絵の制作
- 17:30 ネームと下絵の提出・終了

※制作時には、随時教員に相談してアドバイスを受けられます。

評価のポイント

- ・ マンガ制作へ臨む姿勢
- ・ 個別指導の受け止め方、アドバイスの活かし方などの本人の対応と制作意識（言語読解力を含める）
- ・ 制作した作品の内容（アイデア力・構成力・画力などを総合的に判断）

持参できる用具

黒芯の鉛筆またはシャープペンシル、鉛筆削り（電動式・大型のもの・ハンドル付きのものは不可）、カッターナイフ（鉛筆を削るための使用に限る）、消しゴム

支給物

ネーム用紙（4ページ分）、マンガ用原稿用紙（B4サイズ）、定規、版面レジュメ、アイデア用紙

求める人

自分の描いたマンガで多くの人を楽しませたい、驚かせたい、ゾクゾクさせたい、笑顔にしたい、笑わせたい、深く考えて欲しいなど、読者に届けたい思いを持った人。また SNS などデジタルに対応できるマンガの描き方を学びたい人。

プログラム レクチャー、グループワーク、マンガ制作

テーマ・内容

SNS 向け短編マンガを描こう

インターネットの普及により、ちょっとした合間にスマートフォンを開いて SNS に投稿されている短いマンガを読む、というマンガの読まれ方が一般化しました。そんな SNS に向けた、短編マンガを描くために必要な知識と技術をレクチャーします。その後でグループに別れて与えられたキーワードからストーリーを発想するためのディスカッションを行い、その発想を基に4ページのマンガ作品を制作します。授業の後半では作品を回収して教員が講評をします。同じキーワードでも人によって捉える視点が違うということ、SNS で多くの人の心を捉えるには何が必要かを理解してもらおうのがこの授業のねらいです。

「新世代マンガコース受験生応援サイト」には総合型選抜に関する詳しい情報が掲載されています。



新世代マンガコース受験生応援サイト
<https://shinsedai.kyoto-seika.ac.jp>

時間割

- 10:00 集合
- 10:30 レクチャー
- 11:15 グループワーク
- 12:00 休憩
- 13:00 制作①
- 14:30 休憩
- 14:40 制作②
- 16:20 休憩
- 16:30 講評
- 17:30 終了

評価のポイント

- ・ 【基礎力】マンガの基本的な文法を理解しているか
- ・ 【構成力】ストーリーが上手くまとめられているか
- ・ 【画力】情報を適切に伝えるための画力を持っているか
- ・ 【演出力】効果的なコマ割りで見せるべきところをしっかりと見せられているか
- ・ 【グループワークでの評価】論理的思考力・協調性・自己表現力・積極性

持参できる用具

黒芯の鉛筆またはシャープペンシル、鉛筆削り（電動式・大型のもの・ハンドル付きのものは不可）、カッターナイフ（鉛筆を削るための使用に限る）、消しゴム、直定規（三角定規も可）

※ノートの持ち込み不可

支給物

定規、鉛筆、消しゴム、鉛筆削り、メモ・ラフ用紙、作画用紙

求める人

社会の様々なことに興味を持ち、それらをキャラクターやイラストを用いて表現すること、またキャラクターやイラストを用いて理解を広げることに関心のある者。

プログラム レクチャー、グループディスカッション、制作

テーマ・内容

キャラクターデザインの意義を理解し、オリジナルキャラクターを描こう

午前の部（グループに分けて小部屋で実施する）：

コース紹介動画を視聴した後、持参物を使って、自分が今までやってきたことを3分以内で同じグループのメンバーと担当教員に発表してください。

午後の部（大教室で実施する）：

「キャラクターデザインとは何か」をテーマとした教員によるレクチャーの後、与えられたテーマを元に絵を描く課題に取り組みます。テーマに従い、キャラクターはどのように活躍できるのかを考えて、構図の異なるラフを4枚描いてください（構図の違いがみてわかるぐらいの簡潔なもので構わない）。その後、ラフの中から1点を選んで、キャラクターの全身が入る背景付きの、A4サイズ1枚のイラストをカラーで仕上げます。合わせて、今回の課題を説明する文章を原稿用紙に書き、自分の考えをまとめます。

これらの体験授業を通じて、「キャラクターデザインとは何だろうか？」について考えながら、あなたが創造するキャラクターの可能性を探ります。

時間割

- 10:00 集合
- 10:30 午前の部：コース紹介動画&演習説明
- 11:00 午前の部：グループディスカッション（口頭発表）
- 12:30 休憩
- 13:30 午後の部：午後の部の会場で再集合、レクチャー
- 14:00 午後の部：課題制作
- 17:30 終了

評価のポイント

- ・ 画力、発想力、ユニークな視点があるか
- ・ 様々な事に興味を持ってチャレンジしているか
- ・ 自分が作品を作るときの考えやこだわりについて、言葉（口頭・文書）を通じて伝えられるか
- ・ コースの教育目的「キャラクターの見た目と中身を両方デザインする」、「よく観察して楽しんで描く」、「常に新しいものを取り入れ、常識にとらわれない」を理解して実践したか

試験時に持参するもの

午前中の部では、自分の作品を持参して紹介する口頭発表があるため、以下のものを準備してください。

【持参が必須の作品】 アナログ平面作品1枚（現物、サイズはA4以上の大きさ）と、デジタルツールで制作した作品1枚（A4サイズにプリントアウト）。試験までに必ず両方準備してください。

【任意で持参する作品】 デッサン、クロッキー、スケッチ、イラスト、アニメーション、立体物の写真など自身で作成したものなら何でも良い（発表時にタブレットとスマートフォンの使用は可能）。

【注意点】 持参作品を制作するための用具は、アナログ画材、デジタルツールともに自由ですが、AI作画によるものは禁止します。

持参できる用具

鉛筆、シャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り（電動式・大型のもの・ハンドル付きのものは不可）、カッターナイフ（鉛筆を削るための使用に限る）、着彩用具（色鉛筆、水彩絵具、アクリル絵具、パステル、マーカー、筆、筆洗、パレットなど）

※ カラーチャート、クリップボードの持参は不可

支給物

作画用紙、下書き用紙、作文用紙

マンガ学部 アニメーション学科 アニメーションコース

体験授業

求める人

映像を通してメッセージを送りたい、絵を動かす喜びを味わいたい、という人向けです。アニメーターは役者であり、画力だけでなく演技力、演出力が求められます。

プログラム レクチャー、制作、面接

テーマ・内容

アニメーション制作の基礎となる発想力を活かし、イメージをイラストにしよう

最初に、「演技について」のレクチャーを受けます。次にそれをふまえて、アニメーション作品制作に必要な「発想力と表現力」に重点をおいた課題作成ワークショップを行います。与えられたテーマ（簡単な言葉）から自由に発想し、あなたのアイデアや世界観をイラストと文章（作文）として表現します。この課題制作では、どれだけの発想力を持ち、それを絵や文章で表現できるかを評価します。制作した作品について、教員のアドバイスや、意見を聞いたりする機会もあります。自分自身がわくわくするようなイラストを描いてみましょう。将来2D、3D、クレイなどのアニメーション映像を作るうえで必要となる基礎をしっかりと学びましょう。

また、ワークショップと並行して、グループ面接を行います。面接では、あなたの学ぶ意欲などについてお聞きします。

時間割

- 10:00 集合
- 10:30 レクチャー「演技について」
- 12:00 休憩
- 13:00 ワークショップ「イメージ表現作成」、グループ面接
- 17:00 まとめ
- 17:30 終了

評価のポイント

- ・ 独自の発想やアイデアをもとに、人をアッと言わせるような着想で課題制作に取り組んだか
- ・ 積極的にワークショップ、面接に参加することができたか
- ・ アニメーションの基礎となる発想力や表現力を深めることができたか

持参できる用具

黒芯の鉛筆またはシャープペンシル、鉛筆削り（電動式・大型のもの・ハンドル付きのものは不可）、カッターナイフ（鉛筆を削るための使用に限る）、消しゴム、着彩用具（色鉛筆、水彩絵具、アクリル絵具、パステル、マーカー、筆、筆洗、パレットなど）

※ 事前に作成した発想ノートやメモ類、色見本の持参は不可

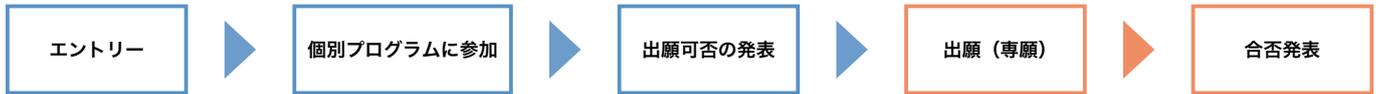
支給物

画用紙（A3）、下書き用紙、作文用紙

総合型選抜2期

この入学試験では、まず、志望先を選んでエントリーして、個別プログラムに取り組んでもらいます。試験の結果と「自己推薦書」から総合的に評価して、出願可否を発表します。「出願可」を受けた方が出願へと進み、書類審査を経て最終的な合否を発表します。

- ・「国内学生」および「外国人留学生」を対象とします。
- ・**総合型選抜2期は専願入試です。**出願可否の発表までは、本学への専願、他大学への併願を問いませんが、**出願した時点より本学への専願になります。**「出願可」となった方は、本学へ必ず入学することを確約できる場合に限り、出願してください。
- ・学内併願することはできません。
- ・各試験科目には合格基準とする最低点は設けません。



募集学部

国際文化学部、メディア表現学部、芸術学部、デザイン学部

募集単位（5ページ参照）から、第1志望のみ選択することができます。

試験方式

試験方式は学部ごとに異なります。

試験日	試験方式・試験科目	国際文化	メディア表現	芸術	デザイン	マンガ
10月13日（日）	小論文・面接 自己推薦書	○	-	-	-	-
	プログラミング 自己推薦書	-	○	-	-	-
	体験授業 自己推薦書	-	-	○	○ (プロダクトデザイン学科、建築学科対象)	-
	ポートフォリオ・面接 自己推薦書	-	-	-	○ (ビジュアルデザイン学科、イラスト学科対象)	-

試験日程

エントリー	エントリー期間	受験票印刷日	試験日	出願可否発表日
	2024年9月26日（木）0：00～ 9月30日（月）23：59	10月9日（水） 12：00～	10月13日（日）	10月18日（金） 12：00

※ 事前課題（エントリー時）の提出期限（対象学科・コースのみ）：国内からエントリーする場合 9月30日（月）当日消印有効／海外からエントリーする場合 9月30日（月）**当日必着**

※ 「出願可」となり、本学への入学を希望する方は、以下の手順へ進んでください。

出願	出願期間	受験票印刷日	試験日	合否発表日	入学手続締切日
	2024年10月18日（金）12：00～ 10月23日（水）23：59	受験票は発行しません	書類審査 (学びの計画書等)	11月1日（金） 12：00	11月8日（金）

※ 出願期間内に**出願登録を完了させて、入学検定料を納入してください。**

※ 出願書類の提出期限：国内から出願する場合 10月23日（水）当日消印有効／海外から出願する場合 10月23日（水）**当日必着**

試験会場

京都精華大学

入学検定料

エントリー	エントリー時の入学検定料は0円です
出願	30,000円

※ いったん納入された入学検定料は、原則として返還しません。

試験内容

試験日	試験方式・試験科目		配点	出題内容	試験時間
10月13日(日)	小論文・面接	小論文・面接	200点	出題内容は19ページに記載	国際文化学部 集合12:30 13:00～16:00(休憩含む)
		自己推薦書 (事前提出)	50点	あなたのこれまでの活動実績や制作実績、またその成果について、具体的な内容を800字程度(上限1200字)で記述すること。	インターネットエントリー時に入力(提出)すること
	プログラミング	プログラミング	200点	出題内容は20ページに記載	メディア表現学部 集合12:30 13:00～(休憩含む)
		自己推薦書 (事前提出)	50点	あなたのこれまでの活動実績や制作実績、またその成果について、具体的な内容を800字程度(上限1200字)で記述すること。	インターネットエントリー時に入力(提出)すること
	体験授業	体験授業	200点	出題内容は21、23ページに記載	芸術学部・プロダクトデザイン学科・建築学科 集合12:30 13:00～17:30(休憩含む)
		自己推薦書 (事前提出)	50点	あなたのこれまでの活動実績や制作実績、またその成果について、具体的な内容を800字程度(上限1200字)で記述すること。	インターネットエントリー時に入力(提出)すること
	ポートフォリオ・面接	ポートフォリオ・面接	200点	出題内容は21～22ページに記載	ビジュアルデザイン学科・イラスト学科 集合12:30 13:00～(休憩含む)
		自己推薦書 (事前提出)	50点	あなたのこれまでの活動実績や制作実績、またその成果について、具体的な内容を800字程度(上限1200字)で記述すること。	インターネットエントリー時に入力(提出)すること

提出物

エントリー	<p>エントリー時に「自己推薦書」の提出が必要になります。エントリー期間が開始したら、インターネットエントリー時に入力(提出)してください。</p> <p>※ エントリー時に「学歴証明書類」などの出願書類を送付する必要はありません。</p> <p>※ メディア表現学科、グラフィックデザインコース、デジタルクリエイションコースでは、自己推薦書の他に事前課題の提出が必要です。詳しくは個別プログラムのページを確認してください。</p> <p>※ メディア表現学科、グラフィックデザインコース、イラスト学科では、試験当日に持参するもの(資料、作品など)があります。詳しくは個別プログラムのページを確認してください。</p>
出願	<p>出願時に「学びの計画書」の提出が必要になります。小論文・面接または体験授業に参加して、あなたが学んだこと、気づいたこと、興味を持ったことや、それをふまえて入学後にどのように学びたいかについて、800字程度(上限1200字)で記述してください。提出方法は、上記の「自己推薦書」と同じように、インターネット出願時に入力(提出)してください。</p> <p>また、入学検定料の納入と、出願書類の提出を出願期間内に完了してください。出願書類については、46～47ページを確認してください。</p>

専願入試に関する留意事項

総合型選抜2期では、エントリーから個別プログラムの参加までは他大学との併願が可能ですが、「**出願可**」となった方が**出願する時点から本学への専願入試になります。本学への入学を確約できる場合に限り出願してください。**また、専願入試で入学手続を完了した方は、以降の入試に出願することはできません。ただし、奨学金「入学試験成績優秀特待生」の受給を目的として、一般選抜1期または外国人留学生入試2期を受験する場合に限り出願が認められます。この場合の志望先は、入学手続が完了した学科・コースと同一である必要があります。

求める人

- ・ 幅広い視野や国際的な観点から、日本の文化や歴史、文学、社会のことを学びたい人
- ・ いろんなフィールドに飛び出して異文化と直接触れ合いしたい人
- ・ 個性的な考え方を身に付けたり、あるいは伸ばしたりしたい人
- ・ 自分とは違う考え方や異なる意見に触れて、新たな発見をしてみたい人

プログラム レクチャー、小論文、面接

テーマ・内容

グローバルとローカルの視点から

人文学科では、1年次にはグローバルな視野のもとで自文化について理解を深め、2年次からは専攻に分かれてより専門的に学ぶことで、自分の問題意識を深めていきます。このプログラムではまず、「共通テーマ」について国際文化学部の複数の教員が異なる視点から行うレクチャーを受け、学部の学びの多様さ、幅広さを体感してもらいます。レクチャー中には所定の用紙にメモを取り、疑問や質問を書いてももらいます。それらをもとに、レクチャー担当者からフィードバックを受けたいうえで、改めて「共通テーマ」について自分が考えたことを小論文(800字程度)にまとめます。教員との面接では、志望理由、入学後に学びたいこと、現在の興味・関心などに関する質疑応答を通して、自身の興味・関心や学びたい意欲と、学科の学びとのつながりを確認します。学び、考え、そして他者に向けて発信するという学部での学びのプロセス全体を体験します。

共通テーマ例：「病・感染症」、「戦争」、「旅」

時間割

- 12:30 集合
- 13:00 レクチャー
- 14:00 休憩
- 14:15 レクチャー担当者からのフィードバック
- 14:45 小論文と面接(途中休憩あり)
- 16:00 終了

評価のポイント

- ・ 【レクチャー】内容の要点及び疑問や質問などをメモ用紙に適切に記入できているか
- ・ 【小論文】レクチャーを理解したうえで書かれているか、自分なりの考えが書かれているか、文章全体の構成が論理的か、わかりやすい日本語で書かれているか
- ・ 【面接】志望理由が明確か、大学で学ぶ意欲があるか、筋道立てて話し論理的に思考しているか、これまでの活動から積極性が見て取れるか

持参できる用具

黒芯の鉛筆またはシャープペンシル、鉛筆削り(電動式・大型のもの・ハンドル付きのものは不可)、消しゴム

支給物

メモ用紙

求める人

- ・ 異なる地域や国、文化に飛び込んでみたい人
- ・ 世界各地さまざまな人々の視点を学び、かつ、自分自身の視点を見つけた人
- ・ 国内外においてグローバルな社会で活躍や表現をしたい人
- ・ 海外を視野に入れて新しいことに挑戦したい人
- ・ 語学に興味がある人

プログラム レクチャー、小論文、面接

テーマ・内容

グローバルとローカルの視点から

グローバルスタディーズ学科では、4年間の間に最大3度のフィールドワークを行います。フィールドワークは「旅行」とは大きく異なります。本や映像で目にした社会の中に実際に入り込み、同じ生活空間を共有することで、他者の生活を体験し、書物や映像からだけでは知りえない地域や社会を知り、理解することを目指します。このプログラムではまず、「共通テーマ」について国際文化学部の複数の教員が異なる視点から行うレクチャーを受け、学部の学びの多様さ、幅広さを体感してもらいます。レクチャー中には所定の用紙にメモを取り、疑問や質問を書いてももらいます。それらをもとに、レクチャー担当者からフィードバックを受けたいうえで、改めて「共通テーマ」について自分が考えたことを小論文(800字程度)にまとめます。教員との面接では、志望理由、入学後に学びたいこと、現在の興味・関心などに関する質疑応答を通して、自身の興味・関心や学びたい意欲と、学科の学びとのつながりを確認します。学び、考え、そして他者に向けて発信するという学部での学びのプロセス全体を体験します。

共通テーマ例：「病・感染症」、「戦争」、「旅」

時間割

- 12:30 集合
- 13:00 レクチャー
- 14:00 休憩
- 14:15 レクチャー担当者からのフィードバック
- 14:45 小論文と面接(途中休憩あり)
- 16:00 終了

評価のポイント

- ・ 【レクチャー】内容の要点及び疑問や質問などをメモ用紙に適切に記入できているか
- ・ 【小論文】レクチャーを理解したうえで書かれているか、自分なりの考えが書かれているか、文章全体の構成が論理的か、わかりやすい日本語で書かれているか
- ・ 【面接】志望理由が明確か、大学で学ぶ意欲があるか、筋道立てて話し論理的に思考しているか、これまでの活動から積極性が見て取れるか

持参できる用具

黒芯の鉛筆またはシャープペンシル、鉛筆削り(電動式・大型のもの・ハンドル付きのものは不可)、消しゴム

支給物

メモ用紙

求める人

- ・すでに高校での活動、個人活動でプログラミング技術を習得し、プログラミング・コンテストなどの応募実績を示せる人
- ・自作のプログラミングで制作した作品があり、試験の質疑応答で作品についての説明ができる人
- ・与えられた要件を元に自分のアイデアでプログラミングできる人

プログラム プログラミング試験、質疑応答

テーマ・内容

世界中の人が使える、新しい Web サービスのプログラミング

総合型選抜2期では、すでに高校での活動、個人活動でプログラミング技術を習得している受験生を対象とし、グローバル視点での Web サービス作成のためのコード記述試験を実施します。その上で、面談を行い、試験で記述した内容、事前課題（これまで制作したプログラミングを用いた作品）についての質疑応答を行います。

具体的には、

- ① プログラミングコードを記述し、基礎的なプログラミングロジックを作成するための出力問題。
- ② 上記①で作成したプログラミングコードを、諸外国の状況に適應させるために、何が必要かの記述問題。
- ③ 上記①②で記述した内容についての質疑応答と、事前課題（これまでに自分でプログラミングを用いて制作した作品）についての紹介と質疑応答。

試験①と②では本学設置のパソコンを使用し、「paiza.IO」というオンライン実行環境にてプログラミングをしてもらいます。また、試験③では各自が持参したノート PC などを使用してください。

事前課題 (エントリー時)

事前課題として、これまでにプログラミングで制作したことがあるもの（ソースコード）を提出してください。

【提出期限】2024年9月30日(月) 23:59

【提出方法】出願登録完了後にマイページの出願登録履歴画面でファイルアップロード用のリンクを案内しますので、そちらにアクセスして課題提出してください。

【備考】

- ・ファイルが複数になる場合は、一式をフォルダにまとめて圧縮し、zip ファイル形式で提出してください。
- ・ファイルサイズは合計で50MB以内とします。
- ・原則、プログラムのソースコードのみを対象としますが、ゲームなど画像や音楽も含めて動きなどを見せたい場合は、作品説明動画(3分以内)を収録したmp4データを提出できます(ただし、プログラムのソースコードがわかるものも併せて提出要)。オンラインで動作するものはブラウザで確認できるURLを提示してください。いずれも実行環境を明示してください。



paiza.IO を使用したことがない方は、左記の QR コードからアクセスして事前に試すことができます(無料)。

URL <https://paiza.io/ja>

時間割

- 12:30 集合(本人確認・試験実施の説明)
13:00 【試験①、②】プログラミング試験
15:00 休憩・質疑応答準備
15:15 【試験③】質疑応答(受験番号順に実施)

※ 試験③質疑応答について

- ・時間は一人当たり5分間程度。
- ・受験者数が想定より多い場合は、グループ単位で質疑応答を行う可能性あり。
- ・質疑応答終了をもって試験終了とする。

評価のポイント

【プログラミング力】

- ・与えられた要件を元に自分のアイデアでプログラミングできる

【理解・応用力】

- ・単純にプログラミングできるだけでなく、出題意図を正しく理解して、汎用性や使いやすさを考えてわかりやすくコードを書くことができる

【社会・メディアへの関心】

- ・出題意図に沿ってプログラミングを改変するにあたり、グローバル視点、ユーザー視点で必要とされる様々な要素を考慮しながら柔軟にコードを書くことができる
- ・これまでに自作したプログラミングを用いた作品から、社会課題の解決や新しいメディア創造の意欲が読み取れる

プログラミング試験の環境等

- ・試験室のパソコンのOSはWindows10です。
- ・paiza.IOを扱うブラウザはGoogle Chromeです。
- ・試験官の指示に従って記述したコードを保存し提出します。

試験時に持参するもの

- ・ノート PC またはタブレット、およびその電源アダプタ(試験③で使用)
- ・事前課題(ソースコード)の内容について補足して紹介できる資料
例) 作品の画像をパネルにして動きを解説できる資料、実際にユーザーが使っている場面の画像をパネルにした資料、IoTのプログラミングを紹介する場合はシステム図などを印刷物またはデータで持参してください。

持参できる用具

黒芯の鉛筆またはシャープペンシル、鉛筆削り(電動式・大型のもの・ハンドル付きのものは不可)、消しゴム

支給物

質疑応答時のインターネット接続環境(Wi-fi)は本学が用意します。ただし、Wi-fiの通信速度・容量が限られているため、ファイルが極端に重い作品を試験③で提示する場合は、スタンドアローンの状態で見せられるように、あらかじめ自分のパソコンにダウンロードしておいてください。

求める人

- ・ 多様な芸術表現に興味、関心が持てる人
- ・ 課題に対して真摯に向き合い、熱意をもって取り組むことができる人
- ・ 他者とコミュニケーションがとれる人

プログラム 制作、発表

テーマ・内容

描く自分に出会うこと

鉛筆デッサンの体験授業です。用意された様々なモチーフの中から各自好きなものを1つだけ選んで、じっくり時間をかけて描きます。デッサンにおいて、形を正確にとらえることは大事なことでありますが、この授業では、むしろ質感や存在感を表現することを大切にします。そのため、不定形物をモチーフに用意します。モチーフの細部までしっかり描き切る事を目標にして下さい。選んだモチーフへの興味を動機として、描き進める楽しさ、描き切ったという達成感を体験できるような授業を用意しています。

時間割

- 12:30 集合
- 13:00 課題説明、各自モチーフ選び
- 13:30 選んだモチーフのクロッキー
- 14:00 デッサン
- 16:00 作品発表・講評（モチーフを選んだ理由、描きながら考えたこと。教員からの作品評など）
- 17:30 終了

評価のポイント

- ・ 描くことに集中することができるか
- ・ 教員とコミュニケーションがとれたか
- ・ 観察力が感じられるか
- ・ 質感や存在感を表現する努力がみられるか

持参できる用具

使い慣れた鉛筆デッサン用具（なれば HB～6B の鉛筆を各数本）、消しゴム（練り消しゴム含む）、鉛筆削り（電動式・大型のもの・ハンドル付きのものは不可）、カッターナイフ、メモを取るためのノート（事前に書いたスケッチ、メモなどは持ち込み不可）、体操着・作業着・エプロンなど汚れてもよい服装

支給物

モチーフ（各種）、画用紙、その他に試験に必要な用具・材料は支給します。

デザイン学部 ビジュアルデザイン学科 グラフィックデザインコース

ポートフォリオ・面接

求める人

グラフィックデザインは、まだまだいろいろな可能性にあふれています。グラフィックデザインコースでは、身のまわりの世界をもっと美しくしたい、楽しくしたい、面白くしたい、もっと心地よくしたいなどの「変化させたい気持ち」が溢れている人達を求めています。そんな多様で個性的な仲間が集まり、好奇心全開で「新たなグラフィックデザイン」を探究する場が本学のグラフィックデザインコースであることを願っています。世の中に「うきうきする変化」を与えたい人達を強く求めています。

プログラム ポートフォリオ、作品プレゼンテーション、面接

テーマ・内容

ポートフォリオのプレゼンテーションと作品面接

グラフィックデザインには、さまざまな制作、表現、可能性が存在しています。その萌芽として、日々すでに精力的に制作に励んでいる方を求めています。その足跡、成果をポートフォリオにまとめてください。面接では実物の作品1点について説明するプレゼンテーションを行ってまいります。あなたの成果と作品の魅力をアピールしてください。

エントリー時に提出してもらったポートフォリオについては、以下の内容を参考にしてください。

- ・ デッサン：鉛筆デッサン、木炭デッサンなど
- ・ 鉛筆描画：スケッチ、クロッキー、ドローイングなど
- ・ 色彩構成：水彩画、油絵、版画など
- ・ ビジュアルデザイン表現：ポスター、写真、ロゴデザイン、タイポグラフィ、パッケージなど
- ・ イラストレーション：オリジナルキャラクター、マンガ、フィギュアなど
- ・ 立体造形：彫刻、陶芸などを写真に撮ったもの
- ・ CG 作品：映像作品などを画像化したもの
- ・ その他：グループ制作などの資料、創作文など

事前課題（エントリー時）

エントリー時に「ポートフォリオ」の提出をお願いします。ポートフォリオの提出様式は、以下の通りとします。

- ・ A4 サイズ 30 ページ以内（表紙を除く）として、ポートフォリオの表紙に氏名を明記してください。

※ 製本は行わず既製品のクリアファイルを使用してください。

【提出期限】2024年9月30日（月）消印有効（海外から送付する方は9月30日に本学必着）

【提出方法】本学指定の「宛名ラベル」を使用し、簡易書留・速達郵便にて入学グループ宛に送付してください（47ページ参照）。「宛名ラベル」は、エントリー完了時に「マイページ」でダウンロードして、印刷することができます。

時間割

- 12:30 集合
 - 13:00 実物の作品1点のプレゼンテーションと面接（順次開始）
1人20～30分程度
プレゼンテーション・面接が終了次第、帰宅してください。
- ※ 集合時間は受験者数によって変更する場合があります。

評価のポイント

- ・ ポートフォリオ/実作品の熱意、制作意欲、こだわり
 - ・ 伝える姿勢
 - ・ 教員とのコミュニケーション
- これらを総合的に評価します。

試験時に持参するもの

実物の作品1点（形式は問いません）

持参できる用具

実物の作品をデータで見せる場合のノート PC またはタブレット、黒芯の鉛筆またはシャープペンシル、鉛筆削り（電動式・大型のもの・ハンドル付きのものは不可）、消しゴム

求める人

- ・ ムービーやゲーム、デジタルアートなどのエンタテインメントの制作や発信を通じて社会を楽しんでいきたいと考えている人
- ・ 主体的に作品を制作し、社会にアウトプットしている人
- ・ 分かりやすく魅力的に伝える為に工夫するのが好きな人
- ・ 計画的に物事を進めたり、自己管理ができる人
- ・ 日本語での円滑なプレゼンテーションが行える人

プログラム デジタルポートフォリオ、プレゼンテーション、面接

テーマ・内容

プレゼンテーションと面接

1. プレゼンテーション

この入試では Web サイトや SNS などを利用して、志願者本人の作品をアウトプットしたものを「デジタルポートフォリオ」と呼びます。それを基に、あなたの作品や活動についてプレゼンテーションをしてください。あなたの作品の独自性や制作意図、達成した成果をまとめ、あなたの個性と情熱が伝わるように自信を持って発表してください。

2. 面接

プレゼンテーションの後は、質疑応答の時間が設けられます。このセッションは、あなたの作品や考え方をより深く掘り下げ、理解を深める貴重な機会です。質問に対しては、あなたの作品に対する制作意図を明確に、かつ具体的に答えてください。

事前課題（エントリー時）

志願者本人が作成した作品をアウトプットした Web サイトや SNS を「デジタルポートフォリオ」として提出してください。作品の形式は問いません。

【提出期限】2024年9月30日（月）23:59

【提出方法】エントリー時に入力フォームが表示されますので、入力欄にデジタルポートフォリオの URL 情報を入力してください。入力できる URL 情報は1つだけです。

入力例：https://www.digitalportfolio.com

時間割

12:30 集合

13:00 プレゼンテーションと面接（順次開始）

プレゼンテーション・面接が終了次第、帰宅してください。

※ 集合時間は受験者数によって変更する場合があります。

評価のポイント

- ・ 作品のこだわりや特徴、制作意図
- ・ 自分の考えや活動内容を的確に分かりやすく伝えられているか
- ・ 「デジタルポートフォリオ」を効果的に活用しているか

持参できる用具

プレゼンテーションに必要なノート PC やタブレット、HDMI ケーブルに接続するための変換アダプター、黒芯の鉛筆またはシャープペンシル、鉛筆削り（電動式・大型のもの・ハンドル付きのものは不可）、消しゴム

支給物

HDMI 出力用モニター、インターネット接続環境は本学が用意します。

デザイン学部 イラスト学科（イラスト/モーションイラスト）

ポートフォリオ・面接

求める人

イラスト学科には色々な人が集まります。「絵を描くことが好きな人」「デザインに興味がある人」「アニメーションや映像作品に興味がある人」「オシャレなものやカワイイものに目がない人」「流行に敏感な人」……。イラストの表現スタイルは多様です。自分らしさを意識して、アナログやデジタルにかかわらず描くことが好きな人を求めています。

プログラム 自己紹介、作品の説明、面接

テーマ・内容

～ふだんの作品をアピールしよう！～

作品を見ながら面接を実施します。

- ・ 作品点数：ふだん制作している作品など、5点以上
- ・ 作品の形式・サイズは問いません
- ・ 面接は作品のアピールと面接を合わせて10分程度です

時間割

12:30 集合

13:00 面接（順次開始）

面接が終了次第、帰宅してください。

※ 集合時間は受験者数によって変更する場合があります。

評価のポイント

- ・ 意欲
- ・ 作品のクオリティ
- ・ コミュニケーション力

試験時に持参するもの

ふだん制作している作品など、5点以上を持参すること。形式・サイズは問いません。

持参できる用具

作品をデータで見せる場合

- ・ ノート PC またはタブレット
- ・ HDMI ケーブルに接続するための変換アダプター

※ 試験ではインターネットは利用できません。作品データは持参するノート PC などに保存してください。

求める人

生活に関わるモノ・コトに興味があり、自らのデザインで生活を豊かに、より良いものにしたいという希望を持っている人、また生活を楽しむことができる人です。総合型選抜2期では、私たちの暮らしを考え、手を動かしてモノを作ることが好きな人を求めます。

プログラム レクチャー、プランニング、アイデアスケッチ、発表

テーマ・内容

未来のプロダクトをつくらう！

与えられたモチーフを未来のプロダクトにデザインし、紙を使ってモデルの制作をします。体験授業では、「誰が、いつ、どんな場所で、どのように使うのか、身につけるのか」未来の暮らしを想像（創造）し、自分のアイデアを実際のサイズで形にしていきます。また、その制作意図を文章で表現し、考えをまとめます。あなたのデザインするプロダクトが、モノの魅力を最大限に引き出し際立たせることで人々の暮らしを豊かに変えていく、そうしたカタチを生み出す授業です。

時間割

12:30 集合
13:00 自己紹介とレクチャー
13:30 プランニング(作文)とアイデアスケッチ
14:00 制作
16:30 発表・講評
17:30 終了

評価のポイント

- ・意欲的に取り組めたか
- ・人を幸せにする為のアイデアを、広くたくさん展開できたか
- ・自分のデザインをわかりやすくカタチにすることができたか
- ・他者の意見・発表を聞く姿勢が持てたか

持参できる用具

黒芯の鉛筆またはシャープペンシル、鉛筆削り（電動式・大型のもの・ハンドル付きのものは不可）、消しゴム

支給物

用紙、小型カッターナイフ、ハサミ、カッターマット、30cm定規、セロテープ、スティックのり、ホッチキス、その他に試験に必要な用具・材料は支給します。

求める人

建築デザイン、環境デザインに必要な視点は、身の周りの環境に興味を持ち、その場を使う人間の立場にたって、提案しようとする姿勢を持つことです。人々が生活する環境をより良くしたいと考える人を求めます。

プログラム レクチャー、レポート、発表、面談

テーマ・内容

家

すべての人には、寝る場所や休息する場所、食事をする場所、身体を整える場所が必要です。「家」とは、どのような意味（物理的意味、精神的意味）を持っているのでしょうか。

HouseとHome、何が違うのでしょうか。自分は、どのような場所で、どのような特長を持つ「家」に住んでみたいか、考えてみます。

時間割

12:30 集合
13:00 レクチャー
14:00 各自の意見作成
14:30 休憩
14:45 発表・意見交換
15:30 レポート作成、面談
17:00 まとめと振り返り
17:30 終了

評価のポイント

- ・意欲的に取り組むことができたか
- ・レクチャーの内容を参考にしながら自分の意見を持つことができたか
- ・自分の意見をわかりやすく伝えることができたか
- ・他者の意見を理解しようとする姿勢を持っていたか

持参できる用具

黒芯の鉛筆またはシャープペンシル、鉛筆削り（電動式・大型のもの・ハンドル付きのものは不可）、カッターナイフ（鉛筆を削るための使用に限る）、消しゴム

支給物

スケッチ用紙、原稿用紙

総合型選抜 3期

この入学試験では、個別プログラムに取り組んでもらいます。試験の結果と「自己推薦書」から総合的に評価して、合否を判定します。

- ・「国内学生」および「外国人留学生」（出願時点で有効な在留資格「留学」を有する方）を対象とします。
- ・ **この入学試験は専願入試ではありませんので、他大学と併願することができます。**
- ・ 学内併願することはできません。
- ・ 各試験科目には合格基準とする最低点は設けません。

募集学部

国際文化学部、メディア表現学部

募集単位（5ページ参照）から、第1志望のみ選択することができます。

試験方式

下記の試験方式から1つ選択できます。

試験日	試験方式・試験科目	国際文化	メディア表現
12月15日(日)	小論文・面接 自己推薦書	○ 選択	-
	プレゼンテーション（オンライン・録画方式） 自己推薦書		-
	パフォーマンス 自己推薦書	-	○

※ 国際文化学部は「小論文・面接」と「プレゼンテーション（オンライン・録画方式）」の両方を選択することはできません。

試験日程

出願期間	受験票印刷日	試験日	合否発表日	入学手続締切日
2024年11月28日(木) 0:00 ～12月4日(水) 23:59	12月11日(水) 12:00～	12月15日(日)	12月23日(月) 12:00	2025年1月8日(水)

※ 出願期間内に出願登録を完了させて、入学検定料を納入してください。

※ 出願書類の提出期限：12月4日(水) 当日消印有効

試験会場

京都精華大学（小論文・面接、パフォーマンス）

プレゼンテーション（オンライン・録画方式）は、インターネット接続環境とパソコンなどの機器を用意した場所（自宅など）で受験してください。

入学検定料

30,000円

※ いったん納入された入学検定料は、原則として返還しません。

試験内容

試験日	試験方式・試験科目		配点	出題内容	試験時間
12月15日(日)	小論文・面接	小論文・面接	200点	出題内容は26～27ページに記載	国際文化学部 集合12:30 13:00～16:00
		自己推薦書 (事前提出)	50点	あなたのこれまでの活動実績や制作実績、またその成果について、具体的な内容を800字程度(上限1200字)で記述すること。	インターネット出願時に入力(提出)すること
	プレゼンテーション (オンライン・録画方式)	プレゼンテーション	200点	出題内容は26～27ページに記載	国際文化学部 11:00～13:00の間に試験を完了させること
		自己推薦書 (事前提出)	50点	あなたのこれまでの活動実績や制作実績、またその成果について、具体的な内容を800字程度(上限1200字)で記述すること。	インターネット出願時に入力(提出)すること
	パフォーマンス	パフォーマンス	200点	出題内容は28ページに記載	メディア表現学部 集合12:30 開始13:00 ※詳細は、28ページに記載
		自己推薦書 (事前提出)	50点	自分の表現・創作・パフォーマンス活動と実績、入学後に学びたいと考えている具体的な内容を800字程度(上限1200字)で記述すること。	インターネット出願時に入力(提出)すること

提出物

出願	出願時に「自己推薦書」の提出が必要になります。出願期間が開始したら、インターネット出願時に入力(提出)してください。また、入学検定料の納入と、出願書類の提出を出願期間内に完了してください。出願書類については、46～47ページを確認してください。
----	--

試験で使用できる用具

小論文・面接	26～27ページに記載された学科ごとの「試験に持参できる用具」をご確認ください。
プレゼンテーション (オンライン・録画方式)	プレゼンテーションでは、資料、作品、身体表現などを用いて自由に発表することができます。提示する資料は、カメラで写せるものであれば、映像や立体物などの形式は問いません。ただし、オンラインでの画面共有やファイルの送信はできません。なお、メモなどを読みながら発表することを認めます。
パフォーマンス	28ページに記載された学科の「試験に持参できる用具」をご確認ください。

※人文学科を志望する方は「小論文・面接」または「プレゼンテーション（オンライン・録画方式）」のいずれかを選択してください。

国際文化学部 人文学科（歴史／文学／社会）

小論文・面接

求める人

- ・幅広い視野や国際的な観点から、日本の文化や歴史、文学、社会のことを学びたい人
- ・いろんなフィールドに飛び出して異文化と直接触れ合いしたい人
- ・個性的な考え方を身に付けたり、あるいは伸ばしたりしたい人
- ・自分とは違う考え方や異なる意見に触れて、新たな発見をしてみたい人

プログラム レクチャー、小論文、面接

テーマ・内容

グローバルとローカルの視点から

人文学科では、1年次にはグローバルな視野のもとで自文化について理解を深め、2年次からは専攻に分かれてより専門的に学ぶことで、自分の問題意識を深めていきます。このプログラムではまず、「共通テーマ」について国際文化学部の複数の教員が異なる視点から行うレクチャーを受け、学部の学びの多様さ、幅広さを体感してもらいます。レクチャー中には所定の用紙にメモを取り、疑問や質問を書いてもらいます。それらをもとに、レクチャー担当者からフィードバックを受けたうえで、改めて「共通テーマ」について自分が考えたことを小論文（800字程度）にまとめます。教員との面接では、志望理由、入学後に学びたいこと、現在の興味・関心などに関する質疑応答を通して、自身の興味・関心や学びたい意欲と、学科の学びとのつながりを確認します。学び、考え、そして他者に向けて発信するという学部での学びのプロセス全体を体験します。

共通テーマ例：「病・感染症」、「戦争」、「旅」

時間割

- 12:30 集合
- 13:00 レクチャー
- 14:00 休憩
- 14:15 レクチャー担当者からのフィードバック
- 14:45 小論文と面接（途中休憩あり）
- 16:00 終了

評価のポイント

- ・【レクチャー】内容の要点及び疑問や質問などをメモ用紙に適切に記入できているか
- ・【小論文】レクチャーを理解したうえで書かれているか、自分なりの考えが書かれているか、文章全体の構成が論理的か、わかりやすい日本語で書かれているか
- ・【面接】志望理由が明確か、大学で学ぶ意欲があるか、筋道立てて話し論理的に思考しているか、これまでの活動から積極性が見て取れるか

持参できる用具

黒芯の鉛筆またはシャープペンシル、鉛筆削り（電動式・大型のもの・ハンドル付きのものは不可）、消しゴム

支給物

メモ用紙

国際文化学部 人文学科（歴史／文学／社会）

プレゼンテーション（オンライン・録画方式）

求める人

- ・幅広い視野や国際的な観点から、日本の文化や歴史、文学、社会のことを学びたい人
- ・いろんなフィールドに飛び出して異文化と直接触れ合いしたい人
- ・個性的な考え方を身に付けたり、あるいは伸ばしたりしたい人
- ・自分とは違う考え方や異なる意見に触れて、新たな発見をしてみたい人

プログラム プレゼンテーション（オンライン・録画方式）

テーマ・内容

社会問題についてのプレゼンテーション

現在の社会問題の中で、あなたが興味や関心を持っていることを1つ取り上げ、以下についてプレゼンテーションをしてください。制限時間は5分です。また、いくつかの質問に答えてください。

- ① 社会問題の内容
- ② 関心を持った理由
- ③ 社会問題についてあなたが考えたことや学んだこと

※受験方法については43ページの「オンライン受験上の注意」を確認してください。

時間割

- 10:30 試験案内メールの配信
- 11:00～13:00の間に受験を完了させること
- ※13:00を過ぎると受験ができません。

評価のポイント

- ・社会問題に関して自分なりに理解できているか
- ・自分がなぜ関心を持ったかという問題意識がきちんと表現されているか
- ・考えたことや学んだことが分かりやすく示されているか

使用が認められるもの

プレゼンテーションでは、資料、作品などを用いて自由に発表することができます。提示する資料はカメラで写せるものであれば形式は問いません。ただし、オンラインでの画面共有やデータの送信はできません。また、メモを読みながら発表することを認めます。

国際文化学部 グローバルスタディーズ学科（国際文化／国際日本学） 小論文・面接

求める人

- ・異なる地域や国、文化に飛び込んでみたい人
- ・世界各地さまざまな人々の視点を学び、かつ、自分自身の視点を見つけたい人
- ・国内外においてグローバルな社会で活躍や表現をしたい人
- ・海外を視野に入れて新しいことに挑戦したい人
- ・語学に興味がある人

プログラム レクチャー、小論文、面接

テーマ・内容

グローバルとローカルの視点から

グローバルスタディーズ学科では、4年間の間に最大3度のフィールドワークを行います。フィールドワークは「旅行」とは大きく異なります。本や映像で目にした社会の中に実際に入り込み、同じ生活空間を共有することで、他者の生活を体験し、書物や映像からだけでは知りえない地域や社会を知り、理解することを目指します。このプログラムではまず、「共通テーマ」について国際文化学部の複数の教員が異なる視点から行うレクチャーを受け、学部の学びの多様さ、幅広さを体感してもらいます。レクチャー中には所定の用紙にメモを取り、疑問や質問を書きてもらいます。それらをもとに、レクチャー担当者からフィードバックを受けたいうえで、改めて「共通テーマ」について自分が考えたことを小論文（800字程度）にまとめます。教員との面接では、志望理由、入学後に学びたいこと、現在の興味・関心などに関する質疑応答を通して、自身の興味・関心や学びたい意欲と、学科の学びとのつながりを確認します。学び、考え、そして他者に向けて発信するという学部での学びのプロセス全体を体験します。

共通テーマ例：「病・感染症」、「戦争」、「旅」

時間割

- 12:30 集合
- 13:00 レクチャー
- 14:00 休憩
- 14:15 レクチャー担当者からのフィードバック
- 14:45 小論文と面接（途中休憩あり）
- 16:00 終了

評価のポイント

- ・【レクチャー】内容の要点及び疑問や質問などをメモ用紙に適切に記入できているか
- ・【小論文】レクチャーを理解したうえで書かれているか、自分なりの考えが書かれているか、文章全体の構成が論理的か、わかりやすい日本語で書かれているか
- ・【面接】志望理由が明確か、大学で学ぶ意欲があるか、筋道立てて話し論理的に思考しているか、これまでの活動から積極性が見て取れるか

持参できる用具

黒芯の鉛筆またはシャープペンシル、鉛筆削り（電動式・大型のもの・ハンドル付きのものは不可）、消しゴム

支給物

メモ用紙

国際文化学部 グローバルスタディーズ学科（国際文化／国際日本学） プレゼンテーション（オンライン・録画方式）

求める人

- ・異なる地域や国、文化に飛び込んでみたい人
- ・世界各地さまざまな人々の視点を学び、かつ、自分自身の視点を見つけたい人
- ・国内外においてグローバルな社会で活躍や表現をしたい人
- ・海外を視野に入れて新しいことに挑戦したい人
- ・語学に興味がある人

プログラム プレゼンテーション（オンライン・録画方式）

テーマ・内容

社会問題についてのプレゼンテーション

現在の社会問題の中で、あなたが興味や関心を持っていることを1つ取り上げ、以下についてプレゼンテーションをしてください。制限時間は5分です。また、いくつかの質問に答えてください。

- ① 社会問題の内容
- ② 関心を持った理由
- ③ 社会問題についてあなたが考えたことや学んだこと

※ 受験方法については43ページの「オンライン受験上の注意」を確認してください。

時間割

- 10:30 試験案内メールの配信
- 11:00～13:00の間に受験を完了させること
- ※ 13:00を過ぎると受験ができません。

評価のポイント

- ・社会問題に関して自分なりに理解できているか
- ・自分がなぜ関心を持ったかという問題意識がきちんと表現されているか
- ・考えたことや学んだことがわかりやすく示されているか

使用が認められるもの

プレゼンテーションでは、資料、作品などを用いて自由に発表することができます。提示する資料はカメラで写せるものであれば形式は問いません。ただし、オンラインでの画面共有やデータの送信はできません。また、メモを読みながら発表することを認めます。

求める人

- ・ 臨機応変に機転の利く表現能力を備え、社会課題解決を射程に置いた独自のパフォーマンスができる人
- ・ すでに特定の領域において対外的にパフォーマンス活動の経験を有し、相応の実績のある人
- ・ 継続性、新規性、適応性に関して高い能力がある人

※パフォーマンスは、いわゆるライブパフォーマンスや身体表現に限らず、プレゼンテーション、デモなど何かを実行、遂行して見せることを指す。

プログラム パフォーマンス

テーマ・内容

出された題目に対し、即興的なパフォーマンスを行う

メディア表現学部では、理系文系芸術系という括りを超えて、最新のテクノロジーを活用し、社会に新しい価値を提供する、様々なメディアの企画・制作を行います。

取り組んでいただくパフォーマンスには、これまで積み上げてきた経験や実績が反映されており、狭い自己表現ではなく、他者や社会に向けた具体的な包括的なアクションが見られる内容が含まれていることを望みます。限られた時間の中で、自己のキャラクターや独自性が表れるパフォーマンスを期待しています。

【試験当日】

- ・ **パフォーマンス1** (準備と本番合わせて10分以内)
自分が行っている表現活動を、自由にパフォーマンスを行う
※当日に行うパフォーマンスの内容を事前に把握するため、出願登録後にマイページに登録されたメールアドレス宛に入学グループから問い合わせのメールを送ります。
- ・ **パフォーマンス2** (準備と本番合わせて10分以内)
即興で出された題目について、自身の得意な方法で実演を行う
※受験者数が想定より多くなった場合は、グループ課題となります(グループ分けは当日発表します)。

【質疑応答】

- ①すでに取り組んでいる活動(パフォーマンス1)についての質疑応答
- ②即興(パフォーマンス2)についての質疑応答

【当日の即興例】

- ・ 特定のシチュエーションを意識した即興表現を行う
- ・ いくつかのキーワードを元にしたパフォーマンスを行う

自己推薦書に記入すること(出願時)

出願時の自己推薦書に、以下について800字程度(上限1200字)で必ず記入して提出すること。

- ・ 自分の表現・創作・パフォーマンス活動と実績
- ・ 入学後に学びたいと考えている具体的な内容

時間割

- 12:30 集合
- 13:00 本人確認・試験の説明
- 13:30 【試験】パフォーマンスと質疑応答

※受験番号順に実施しますので、「【試験】」を終えた受験生はそのまま帰宅してください。1人あたりの試験時間はパフォーマンス1、パフォーマンス2の準備・実演・質疑応答すべてを含んで30分を予定しています。

※受験者数が想定より多くなった場合、時間割の編成次第では、試験の終了まで数時間拘束する可能性があります。あらかじめご了承ください。

評価のポイント

【継続性】

- ・ これまで活動してきた内容が、具体的にわかりやすい形で表現できている
- ・ パフォーマンスの内容が、入学後の学びにつながる事が確認できる

【新規性/即興性】

- ・ パフォーマンスに、これまでにない新たな切り口(独自性)が見られる
- ・ 突然の課題に対し、即興力のあるパフォーマンスが瞬時にできる

【本番中の完成度】

- ・ パフォーマンスの熱量の高さが伝わり、説得力を出すことができる
- ・ 本番中で高い完成度を示すことができる

持参できる用具

パフォーマンスをするための道具や作品

例:PC、スマートフォン、その他のガジェット、楽器など

※パフォーマンスに使用するものはスピーカーやケーブル類なども含め全て持参してください。

※悪臭を放つもの、爆音を出すもの、人や自分に傷をつけるもの、大学の施設に傷やよごれをつけるもの、その他、当日認められないと大学が判断した物は使用することができません。判断ができない場合は事前に入学グループまで問い合わせてください。

試験室

- ・ ステージ(幅約9m、奥行約5m、高さ約3m)
- ・ 100Vのコンセント

※試験室内でのインターネット利用は不可とします。

※受験者数が想定より多くなった場合は、別室も使用します。



ステージ

学校推薦型選抜（公募制）

日本国内の高等学校、中等教育学校、特別支援学校高等部等の学校長の推薦を受けた方を対象とした入学試験です。高等学校等の調査書を得点化（全体の学習成績の状況を10倍）し、受験科目の得点との合計得点により可否を判定します。調査書の全体の学習成績の状況（評定平均値）の基準点はありません。

- ・「国内学生」を対象とします。
- ・この入学試験は専願入試ではありませんので、他大学と併願することができます。
- ・在留資格「留学」を有し、日本の高等学校に在籍している方は、「外国人留学生入試」に出願してください。
- ・試験方式ごとに可否を判定します。複数の試験方式を選択した場合、いずれか1つが合格圏内にあれば入試結果は合格となります。
- ・学内併願した場合は、第1志望、第2志望のそれぞれについて可否を判定します。
- ・各試験科目には合格基準とする最低点は設けません。
- ・学力試験において、著しく平均点に差が生じた場合は得点調整を行うことがあります。
- ・試験方式ごとに定員を設けません。
- ・第1志望、第2志望の両方で「合格」となった場合は、志望順位にかかわらず入学手続の際に志望先を選択することができます。
- ・指定校推薦入試とは異なる入学試験です。

募集学部

国際文化学部、メディア表現学部、芸術学部、デザイン学部、マンガ学部

募集単位（5ページ参照）から、第2志望まで学内併願することができます。

※ オンライン面接は、第1志望のみ選択できます。

試験方式

下記の試験方式から選択できます。試験日・時間帯が重ならない限り、複数の試験方式を選択することができます。

試験日	試験方式・試験科目	国際文化	メディア表現	芸術	デザイン	マンガ
11月16日（土）	オンライン面接 自己推薦書 調査書	○	○	○	○	○
11月17日（日）	午前 イメージ表現 調査書	-	-	○ 選択	○ 選択	○ 選択
		○	○			
	午後 小論文 調査書	○	○	○ 選択	○ 選択	○ 選択
		-	-			
学力2科目 (英語・国語・数学から2科目選択) 調査書		○	○			

※ 11月17日（日）に実施する、イメージ表現と学力2科目、小論文と鉛筆デッサンは、同一時間帯に実施するため、いずれか一方だけを選択できます。

試験日程

出願期間	受験票印刷日	試験日	可否発表日	入学手続締切日	
				一次締切	二次締切
2024年11月1日（金）0:00～ 11月6日（水）23:59	11月13日（水） 12:00～	11月16日（土） 11月17日（日）	12月2日（月）12:00	12月13日（金）	2025年1月22日（水）

※ 出願期間内に出願登録を完了させて、入学検定料を納入してください。

※ 出願書類の提出期限：11月6日（水）当日消印有効

試験会場

京都精華大学

オンライン面接は、インターネット接続環境とパソコンなどの機器を用意した場所（自宅など）で受験してください。

入学検定料

30,000円

試験方式を1つ追加するごとに10,000円が必要になります。学内併願料は不要です。

※ いったん納入された入学検定料は、原則として返還しません。

試験内容

試験日	試験方式・試験科目		配点	出題内容	試験時間	
11月16日(土)	オンライン面接	面接	150点	録画形式のオンライン面接により、将来の目標や本学で学びたいこと、これまでの活動や経験等についての複数の質問に対して、回答を録画すること。複数の質問にはそれぞれ制限時間があります。自己アピールのために、これまでの活動の写真、制作物、書類等を提示することができます。 芸術学部・デザイン学部・マンガ学部では、これまでに制作した作品の提示を求める質問があります。 所要時間は、受験票の提示や、録画した回答の確認等を含め、30分～60分程度。	11:00～13:00の間に受験を完了すること	
		自己推薦書(事前提出)	50点	あなたのこれまでの活動実績や制作実績、またその成果について、具体的な内容を800字程度(上限1200字)で記述すること。		
11月17日(日)	午前	イメージ表現	200点	画用紙に印刷された図形から発想される世界を絵と文章で表現する。 【支給物】画用紙(B4)、作文用紙(B5)、下描き用紙(A4)、 【制作条件】作文は試験時間内に作成し、1枚の作文用紙に収めること。	9:30～12:30(180分)	
		学力2科目	英語	200点(1科目100点×2)	「英語コミュニケーションⅠ」 「英語コミュニケーションⅡ」「論理・表現」 45ページの「英語資格・検定試験の利用」が可能	10:30～12:30(120分) ※各科目に解答時間を設けません。120分で2科目を解答してください。
			国語		「現代の国語」「言語文化(古文・漢文を除く)」 「思考力・判断力・表現力」を評価するために記述式の設問を含む。	
	数学		「数学Ⅰ」「数学A」			
午後	小論文	200点	課題文を読み解き、自分の意見を600字～800字程度で論述する。	14:30～16:00(90分)		
	鉛筆デッサン	200点	複数の種類のモチーフを机上に配置して鉛筆で描写する。 【支給物】モチーフ、画用紙(B3) 【制作条件】出題内容によっては、制作条件が指示される。	14:30～17:30(180分)		



調査書	50点	全体の学習成績の状況(評定平均値)を10倍した値を50点満点で得点化する。	出願期間内に送付すること
-----	-----	---------------------------------------	--------------

試験で使用できる用具

オンライン面接	面接では質問に対して、自己アピールのために、これまでの活動の写真、作品、資料などを提示して回答することができます。 芸術学部・デザイン学部・マンガ学部では、これまでに制作した作品の提示を求める質問があります。 提示する作品、資料などは、カメラで写せるものであれば形式は問いません。動画作品の場合は、再生機器を各自で準備し、再生映像をカメラで映してください。なお、オンラインでの画面共有やファイルの送信はできませんので、事前にポートフォリオにまとめるなどの準備をしてください。 ※提示する作品、ポートフォリオ等は、志願者本人が作成したオリジナルに限り、AI(Artificial Intelligence)、トレース(書き写し)、模写等によって作成した場合は、作品のどの部分に使用したかについて、回答時に必ず説明してください。
学力2科目・小論文	黒芯の鉛筆またはシャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り(電動式・大型のもの・ハンドル付きのものは不可、鉛筆使用者のみ)
鉛筆デッサン	黒芯の鉛筆またはシャープペンシル、鉛筆削り(電動式・大型、ハンドル付きは不可)、カッターナイフ(鉛筆を削る用途以外は不可)、消しゴム(練り消しゴム含む)、画板・カルトン(大きさ、種類は問いません)、クリップ(クリップ代わりのマスキングテープ、画鋏などの利用は不可)、羽ばうき、製図用ブラシ、デッサン用スケール、はかり棒、擦筆(さっぴつ)
イメージ表現	黒芯の鉛筆またはシャープペンシル、鉛筆削り(電動式・大型、ハンドル付きは不可)、カッターナイフ(鉛筆を削る用途以外は不可)、消しゴム(練り消しゴム含む)、画板・カルトン(大きさ、種類は問いません)、クリップ(クリップ代わりのマスキングテープ、画鋏等の使用は不可)、水溶性絵具(アクリルガッシュ、ポスターカラー等)、色鉛筆、サインペン、マーカー(筆状のペン等種類は問いません)、筆、筆洗、筆ふき、パレット

英語資格・検定試験スコアの利用

学力2科目方式において「英語」を選択した場合、英語資格・検定試験のスコアを利用(みなし得点)することができます。みなし得点の換算方法などの詳しい情報は45ページの「英語資格・検定試験の利用」をご確認ください。

一般選抜 1 期

志願者が選択した試験方式により、合否を判定する入学試験です。

- ・「国内学生」を対象とします。
- ・この入学試験は専願入試ではありませんので、他大学と併願することができます。
- ・試験方式ごとに合否を判定します。複数の試験方式を選択した場合、いずれか1つが合格圏内にあれば入試結果は合格となります。
- ・学内併願した場合は、第1志望、第2志望のそれぞれについて合否を判定します。
- ・各試験科目には合格基準とする最低点は設けません。
- ・学力試験において、著しく平均点に差が生じた場合は得点調整を行うことがあります。
- ・試験方式ごとに定員を設けません。
- ・第1志望、第2志望の両方で「合格」となった場合は、志望順位にかかわらず入学手続の際に志望先を選択することができます。

募集学部

国際文化学部、メディア表現学部、芸術学部、デザイン学部、マンガ学部

募集単位（5ページ参照）から、第2志望まで学内併願することができます。

※ オンライン面接は、第1志望のみ選択できます。

試験方式

下記の試験方式から選択できます。試験日・時間帯が重ならない限り、複数の試験方式を選択することができます。

試験日	試験方式・試験科目	国際文化	メディア表現	芸術	デザイン	マンガ
2月4日(火)	オンライン面接 自己推薦書	○	○	-	-	-
2月5日(水)	学力2科目 (英語・国語・数学から2科目選択)	○	○	-	-	-
2月6日(木)	午前 イメージ表現	-	-	○ 選択	○ 選択	○ 選択
	午前 学力2科目 (英語・国語・数学・日本史・世界史から 2科目選択)	○	○			
2月6日(木)	午後 小論文	○	○	○ 選択	○ 選択	○ 選択
	午後 鉛筆デッサン	-	-			

※ 2月6日(木)に実施する、イメージ表現と学力2科目、小論文と鉛筆デッサンは、同一時間帯に実施するため、いずれか一方だけを選択できます。

試験日程

出願期間	受験票印刷日	試験日	合否発表日	入学手続締切日
2025年1月7日(火) 0:00～ 1月16日(木) 23:59	1月29日(水) 12:00～	2月4日(火) 2月5日(水) 2月6日(木)	2月18日(火) 12:00	2月25日(火)

※ 出願期間内に出願登録を完了させて、入学検定料を納入してください。

※ 出願書類の提出期限：1月16日(木) 当日消印有効

試験会場

京都精華大学

オンライン面接は、インターネット接続環境とパソコンなどの機器を用意した場所（自宅など）で受験してください。

入学検定料

30,000円

試験方式を1つ追加するごとに10,000円が必要になります。学内併願料は不要です。

※ いったん納入された入学検定料は、原則として返還しません。

試験内容

試験日	試験方式・試験科目	配点	出題内容	試験時間
2月4日(火)	オンライン面接	面接	録画形式のオンライン面接により、将来の目標や本学で学びたいこと、これまでの活動や経験等についての複数の質問に対して、回答を録画すること。複数の質問にはそれぞれ制限時間があります。自己アピールのために、これまでの活動の写真、制作物、書類等を提示することができます。所要時間は、受験票の提示や、録画した回答の確認等を含め、30分～60分程度。	11:00～13:00の間に受験を完了すること
		自己推薦書(事前提出)	あなたのこれまでの活動実績や制作実績、またその成果について、具体的な内容を800字程度(上限1200字)で記述すること。	
2月5日(水)	学力2科目	英語	「英語コミュニケーションⅠ」 「英語コミュニケーションⅡ」「論理・表現Ⅰ」 45ページの「英語資格・検定試験の利用」が可能	13:00～15:00(120分) ※各科目に解答時間を設けません。120分で2科目を解答してください。
		国語	「現代の国語」「言語文化(古文・漢文を除く)」 「思考力・判断力・表現力」を評価するために記述式の設問を含む。	
		数学	「数学Ⅰ」「数学A」	
2月6日(木)	午前	イメージ表現	画用紙に印刷された図形から発想される世界を絵と文章で表現する。 【支給物】画用紙(B4)、作文用紙(B5)、下書き用紙(A4) 【制作条件】作文は試験時間内に作成し、1枚の作文用紙に収めること。	9:30～12:30(180分)
		学力2科目	英語	「英語コミュニケーションⅠ」 「英語コミュニケーションⅡ」「論理・表現Ⅰ」 45ページの「英語資格・検定試験の利用」が可能
	国語		「現代の国語」「言語文化(古文・漢文を除く)」 「思考力・判断力・表現力」を評価するために記述式の設問を含む。	
	数学		「数学Ⅰ」「数学A」	
	日本史		「日本史探究」	
	世界史	「世界史探究」		
午後	小論文	200点	課題文を読み解き、自分の意見を600字～800字程度で論述する。	14:30～16:00(90分)
鉛筆デッサン	200点	複数の種類のモチーフを机上に配置して鉛筆で描写する。 【支給物】モチーフ、画用紙(B3) 【制作条件】出題内容によっては、制作条件が指示される。	14:30～17:30(180分)	

試験で使用できる用具

オンライン面接	面接では質問に対して、自己アピールのために、これまでの活動の写真、作品、資料などを提示して回答することができます。提示する作品、資料などは、カメラで写せるものであれば形式は問いません。動画作品の場合は、再生機器を各自で準備し、再生映像をカメラで映してください。なお、オンラインでの画面共有やファイルの送信はできませんので、事前にポートフォリオにまとめるなどの準備をしてください。 ※提示する作品、ポートフォリオ等は、志願者本人が作成したオリジナルに限ります。AI(Artificial Intelligence)、トレース(敷き写し)、模写等によって作成した場合は、作品のどの部分に使用したかについて、回答時に必ず説明してください。
学力2科目・小論文	黒芯の鉛筆またはシャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り(電動式・大型のもの・ハンドル付きのものは不可、鉛筆使用者のみ)
鉛筆デッサン	黒芯の鉛筆またはシャープペンシル、鉛筆削り(電動式、大型、ハンドル付きは不可)、カッターナイフ(鉛筆を削る用途以外は不可)、消しゴム(練り消しゴム含む)、画板・カルトン(大きさ、種類は問いません)、クリップ(クリップ代わりのマスキングテープ、画鋏などの利用は不可)、羽ばうき、製図用ブラシ、デッサン用スケール、はかり棒、擦筆(さっぴつ)
イメージ表現	黒芯の鉛筆またはシャープペンシル、鉛筆削り(電動式、大型、ハンドル付きは不可)、カッターナイフ(鉛筆を削る用途以外は不可)、消しゴム(練り消しゴム含む)、画板・カルトン(大きさ、種類は問いません)、クリップ(クリップ代わりのマスキングテープ、画鋏等の使用は不可)、水溶性絵具(アクリルガッシュ、ポスターカラー等)、色鉛筆、サインペン、マーカー(筆状のペン等種類は問いません)、筆、筆洗、筆ふき、パレット

英語資格・検定試験スコアの利用

学力2科目方式において「英語」を選択した場合、英語資格・検定試験のスコアを利用(みなし得点)することができます。みなし得点の換算方法などの詳しい情報は45ページの「英語資格・検定試験の利用」をご確認ください。

一般選抜 2 期

「オンライン面接」により、合否を判定する入学試験です。

- ・「国内学生」および「外国人留学生」（出願時点で有効な在留資格「留学」を有する方）を対象とします。
- ・この入学試験は専願入試ではありませんので、他大学と併願することができます。
- ・各試験科目には合格基準とする最低点は設けません。

募集学部

国際文化学部、メディア表現学部

募集単位（5 ページ参照）から、第 1 志望のみ選択することができます。

試験日程

出願期間	受験票印刷日	試験日	合否発表日	入学手続締切日
2025 年 2 月 4 日（火）0：00～ 2 月 12 日（水）23：59	2 月 17 日（月） 12：00～	2 月 20 日（木）	2 月 27 日（木） 12：00	3 月 7 日（金）

※ 出願期間内に出願登録を完了させて、入学検定料を納入してください。

※ 出願書類の提出期限：2 月 12 日（水）当日消印有効

試験会場

オンライン面接は、インターネット接続環境とパソコンなどの機器を用意した場所（自宅など）で受験してください。

入学検定料

30,000 円

※ いったん納入された入学検定料は、原則として返還しません。

試験内容

試験日	試験方式・試験科目	配点	出題内容	試験時間
2 月 20 日（木）	オンライン面接	面接	録画形式のオンライン面接により、将来の目標や本学で学びたいこと、これまでの活動や経験等についての複数の質問に対して、回答を録画すること。複数の質問にはそれぞれ制限時間があります。自己アピールのために、これまでの活動の写真、制作物、書類等を提示することができます。所要時間は、受験票の提示や、録画した回答の確認等を含め、30 分～60 分程度。	11：00～13：00 の間に受験を完了すること
		自己推薦書 (事前提出)	あなたのこれまでの活動実績や制作実績、またその成果について、具体的な内容を 800 字程度（上限 1200 字）で記述すること。	

試験で使用できる用具

面接では質問に対して、自己アピールのために、これまでの活動の写真、作品、資料などを提示して回答することができます。

提示する作品、資料などは、カメラで写せるものであれば形式は問いません。動画作品の場合は、再生機器を各自で準備し、再生映像をカメラで映してください。なお、オンラインでの画面共有やファイルの送信はできませんので、事前にポートフォリオにまとめるなどの準備をしてください。

※ 提示する作品、ポートフォリオ等は、志願者本人が作成したオリジナルに限ります。AI(Artificial Intelligence)、トレース（敷き写し）、模写等によって作成した場合は、作品のどの部分に使用したかについて、回答時に必ず説明してください。

一般選抜3期

「オンライン面接」により、合否を判定する入学試験です。

- ・「国内学生」および「外国人留学生」（出願時点で有効な在留資格「留学」を有する方）を対象とします。
- ・この入学試験は専願入試ではありませんので、他大学と併願することができます。
- ・各試験科目には合格基準とする最低点は設けません。

募集学部

国際文化学部、メディア表現学部

募集単位（5ページ参照）から、第1志望のみ選択することができます。

試験日程

出願期間	受験票印刷日	試験日	合否発表日	入学手続締切日
2025年2月22日（土）0:00～ 3月1日（土）23:59	3月5日（水） 12:00～	3月8日（土）	3月14日（金） 12:00	3月20日（木・祝）

※ 出願期間内に出願登録を完了させて、入学検定料を納入してください。

※ 出願書類の提出期限：3月1日（土）当日消印有効

試験会場

オンライン面接は、インターネット接続環境とパソコンなどの機器を用意した場所（自宅など）で受験してください。

入学検定料

30,000円

※ いったん納入された入学検定料は、原則として返還しません。

試験内容

試験日	試験方式・試験科目	配点	出題内容	試験時間
3月8日（土）	オンライン面接	面接	録画形式のオンライン面接により、将来の目標や本学で学びたいこと、これまでの活動や経験等についての複数の質問に対して、回答を録画すること。複数の質問にはそれぞれ制限時間があります。自己アピールのために、これまでの活動の写真、制作物、書類等を提示することができます。所要時間は、受験票の提示や、録画した回答の確認等を含め、30分～60分程度。	11:00～13:00の間に受験を完了すること
		自己推薦書 (事前提出)	あなたのこれまでの活動実績や制作実績、またその成果について、具体的な内容を800字程度（上限1200字）で記述すること。	インターネット出願時に 入力（提出）すること

試験で使用できる用具

面接では質問に対して、自己アピールのために、これまでの活動の写真、作品、資料などを提示して回答することができます。

提示する作品、資料などは、カメラで写せるものであれば形式は問いません。動画作品の場合は、再生機器を各自で準備し、再生映像をカメラで映してください。

なお、オンラインでの画面共有やファイルの送信はできませんので、事前にポートフォリオにまとめるなどの準備をしてください。

※ 提示する作品、ポートフォリオ等は、志願者本人が作成したオリジナルに限ります。AI(Artificial Intelligence)、トレース（敷き写し）、模写等によって作成した場合は、作品のどの部分に使用したかについて、回答時に必ず説明してください。

大学入学共通テスト利用入試

「令和7年（2025年）度大学入学共通テスト」の成績の中から、本学が指定する教科・科目において**最も得点の高い2教科・2科目**を使用し、配点200点（1教科・1科目につき100点）で合否を判定します。なお、本学独自の試験は実施しません。

- ・「国内学生」および「外国人留学生」（出願時点で有効な在留資格「留学」を有する方）を対象とします。
- ・学内併願した場合は、第1志望、第2志望のそれぞれについて合否を判定します。
- ・各試験科目には合格基準とする最低点は設けません。
- ・第1志望、第2志望の両方で「合格」となった場合は、志望順位にかかわらず入学手続の際に入学する志望先を選択することができます。

募集学部

国際文化学部、メディア表現学部、芸術学部、デザイン学部、マンガ学部

募集単位（5ページ参照）から、第2志望まで学内併願することができます。

大学入学共通テスト利用入試は、1期～3期まで実施しますが、日程ごとに募集学部が異なります。

日程	国際文化	メディア表現	芸術	デザイン	マンガ
1期	○	○	○	○	○
2期	○	○	-	-	-
3期	○	○	-	-	-

試験日程

日程	出願期間	受験票印刷日	試験日	合否発表日	入学手続締切日
1期	2025年1月7日（火）0:00～ 1月16日（木）23:59	1月29日（水） 12:00～	本学独自試験 実施なし	2月18日（火） 12:00	2月25日（火）
2期	2025年2月4日（火）0:00～ 2月12日（水）23:59	2月17日（月） 12:00～	本学独自試験 実施なし	2月27日（木） 12:00	3月7日（金）
3期	2025年2月22日（土）0:00～ 3月1日（土）23:59	3月5日（水） 12:00～	本学独自試験 実施なし	3月14日（金） 12:00	3月20日（木・祝）

※ 出願期間内に出願登録を完了させて、入学検定料を納入してください。

※ 出願書類の提出期限は、出願期間最終日の当日消印有効です。

入学検定料

10,000円

学内併願をした場合、5,000円が追加で必要になります。

※ いったん納入された入学検定料は、原則として返還しません。

本学が指定する教科・科目

本学が指定する教科・科目は下記の通りです。旧教育課程履修者に対しては、「経過措置科目」の利用を認めます。

教科	グループ	科目	経過措置科目	配点
国語		「国語」(近代以降の文章) ※ 100 点満点に換算。	-	200 点 (1 科目 100 点 × 2) 高得点の 2 教科・ 2 科目を利用
地理歴史 公民		「地理総合／歴史総合／公共」 ※ 選択した 2 つの出題範囲を 1 科目として扱う。 「地理総合, 地理探究」「歴史総合, 日本史探究」 「歴史総合, 世界史探究」「公共, 倫理」「公共, 政治・経済」	「旧世界史 A」「旧世界史 B」「旧日本史 A」 「旧日本史 B」「旧地理 A」「旧地理 B」「旧現代社会」 「旧倫理」「旧政治・経済」「旧倫理, 旧政治・経済」	
数学	①	「数学 I, 数学 A」「数学 I」	「旧数学 I・旧数学 A」「旧数学 I」	
	②	「数学 II, 数学 B, 数学 C」	「旧数学 II・旧数学 B」「旧数学 II」「旧簿記・会計」 「旧情報関係基礎」	
理科		「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」 ※ 選択した 2 つの出題範囲を 1 科目として扱う。 「物理」「化学」「生物」「地学」	-	
外国語		「英語 (リスニングを含む)」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」 ※ 「英語」のリーディングとリスニングの配点を 1 : 1 として、 合計 100 点満点に換算。	-	
情報		「情報 I」	「旧情報」	

外国人留学生入試1期

「外国人留学生」の方を対象とした入学試験です。出願時点で在留資格「留学」の有無は問いません。志願者が選択した試験方式により、合否を判定します。

- ・ この入学試験は専願入試ではありませんので、他大学と併願することができます。
- ・ 試験方式ごとに合否を判定します。複数の試験方式を選択した場合、いずれか1つが合格圏内にあれば入試結果は合格となります。
- ・ 学内併願した場合は、第1志望、第2志望のそれぞれについて合否を判定します。
- ・ 各試験科目には合格基準とする最低点は設けません。
- ・ 学力試験において、著しく平均点に差が生じた場合は得点調整を行うことがあります。
- ・ 試験方式ごとに定員を設けません。
- ・ 第1志望、第2志望の両方で「合格」となった場合は、志望順位にかかわらず入学手続の際に志望先を選択することができます。

募集学部

国際文化学部、メディア表現学部、芸術学部、デザイン学部、マンガ学部

募集単位（5ページ参照）から、第2志望まで学内併願することができます。

※ オンライン面接は、第1志望のみ選択できます。

試験方式

下記の試験方式から選択できます。試験日・時間帯が重ならない限り、複数の試験方式を選択することができます。

試験日	試験方式・試験科目	国際文化	メディア表現	芸術	デザイン	マンガ
11月16日(土)	オンライン面接 自己推薦書	○	○	○	○	○
11月17日(日)	午前 イメージ表現・日本語作文 学力2科目 (英語・国語・数学から2科目選択)	-	-	○ 選択	○ 選択	○ 選択
		○	○			
	午後 小論文 鉛筆デッサン・日本語作文	○	○	○ 選択	○ 選択	○ 選択
		-	-			

※ 11月17日(日)に実施する、イメージ表現と学力2科目、小論文と鉛筆デッサンは、同一時間帯に実施するため、いずれか一方だけを選択できます。

※ 午前にイメージ表現、午後に鉛筆デッサンを選択した場合、日本語作文試験を2回受ける必要があります。

試験日程

出願期間	受験票印刷日	試験日	合否発表日	入学手続締切日
2024年10月2日(水) 0:00～ 10月11日(金) 23:59	11月13日(水) 12:00～	11月16日(土) 11月17日(日)	12月2日(月) 12:00	12月13日(金)

※ 出願期間内に出願登録を完了させて、入学検定料を納入してください。

※ 出願書類の提出期限：国内から出願する場合 10月11日(金) 当日消印有効/海外から出願する場合 10月11日(金) 当日必着

試験会場

京都精華大学

オンライン面接は、インターネット接続環境とパソコンなどの機器を用意した場所(自宅など)で受験してください。

入学検定料

30,000円

試験方式を1つ追加するごとに10,000円が必要になります。学内併願料は不要です。

※ いったん納入された入学検定料は、原則として返還しません。

試験内容

試験日	試験方式・試験科目		配点	出題内容	試験時間	
11月16日(土)	オンライン面接	面接	150点	録画形式のオンライン面接により、将来の目標や本学で学びたいこと、これまでの活動や経験等についての複数の質問に対して、回答を録画すること。複数の質問にはそれぞれ制限時間があります。自己アピールのために、これまでの活動の写真、制作物、書類等を提示することができます。 芸術学部・デザイン学部・マンガ学部では、これまでに制作した作品の提示を求める質問があります。 所要時間は、受験票の提示や、録画した回答の確認等を含め、30分～60分程度。	11:00～13:00の間に受験を完了すること	
		自己推薦書(事前提出)	50点	あなたのこれまでの活動実績や制作実績、またその成果について、具体的な内容を800字程度(上限1200字)で記述すること。		
11月17日(日)	午前	イメージ表現・日本語作文	イメージ表現	150点	画用紙に印刷された図形から発想される世界を絵と文章で表現する。 【支給物】画用紙(B4)、作文用紙(B5)、下書き用紙(A4) 【制作条件】作文は試験時間内に作成し、1枚の作文用紙に収めること。	9:30～12:30(180分)
			日本語作文	50点	与えられた課題について、自分の考えを300字程度の日本語で記述する。	12:40～13:00(20分)
		学力2科目	英語	200点(1科目100点×2)	「英語コミュニケーションⅠ」 「英語コミュニケーションⅡ」「論理・表現Ⅰ」 45ページの「英語資格・検定試験の利用」が可能	10:30～12:30(120分)
	国語		「現代の国語」「言語文化(古文・漢文を除く)」 「思考力・判断力・表現力」を評価するために記述式の設問を含む。		※各科目に解答時間を設けません。120分で2科目を解答してください。	
	数学		「数学Ⅰ」「数学A」			
	午後	小論文		200点	課題文を読み解き、自分の意見を600字～800字程度で論述する。	14:30～16:00(90分)
鉛筆デッサン・日本語作文		鉛筆デッサン	150点	複数のモチーフを机上に配置して鉛筆で描写する。 【支給物】モチーフ、画用紙(B3) 【制作条件】出題内容によっては、制作条件が指示される。	14:30～17:30(180分)	
		日本語作文	50点	与えられた課題について、自分の考えを300字程度の日本語で記述する。	17:40～18:00(20分)	

試験で使用できる用具

オンライン面接	面接では質問に対して、自己アピールのために、これまでの活動の写真、作品、資料などを提示して回答することができます。 芸術学部・デザイン学部・マンガ学部では、これまでに制作した作品の提示を求める質問があります。 提示する作品、資料などは、カメラで写せるものであれば形式は問いません。動画作品の場合は、再生機器を各自で準備し、再生映像をカメラで映してください。なお、オンラインでの画面共有やファイルの送信はできませんので、事前にポートフォリオにまとめるなどの準備をしてください。 ※提示する作品、ポートフォリオ等は、志願者本人が作成したオリジナルに限ります。AI(Artificial Intelligence)、トレース(敷き写し)、模写等によって作成した場合は、作品のどの部分に使用したかについて、回答時に必ず説明してください。
学力2科目・小論文・日本語作文	黒芯の鉛筆またはシャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り(電動式・大型のもの・ハンドル付きのものは不可、鉛筆使用者のみ)
鉛筆デッサン	黒芯の鉛筆またはシャープペンシル、鉛筆削り(電動式、大型、ハンドル付きは不可)、カッターナイフ(鉛筆を削る用途以外は不可)、消しゴム(練り消しゴム含む)、画板・カルトン(大きさ、種類は問いません)、クリップ(クリップ代わりのマスキングテープ、画紙などの利用は不可)、羽ばうき、製図用ブラシ、デッサン用スケール、はかり棒、擦筆(さっぴつ)
イメージ表現	黒芯の鉛筆またはシャープペンシル、鉛筆削り(電動式、大型、ハンドル付きは不可)、カッターナイフ(鉛筆を削る用途以外は不可)、消しゴム(練り消しゴム含む)、画板・カルトン(大きさ、種類は問いません)、クリップ(クリップ代わりのマスキングテープ、画紙等の使用は不可)、水溶性絵具(アクリルガッシュ、ポスターカラー等)、色鉛筆、サインペン、マーカー(筆状のペン等種類は問いません)、筆、筆洗、筆ふき、パレット

英語資格・検定試験スコアの利用

学力試験において「英語」を選択した場合、英語資格・検定試験のスコアを利用(みなし得点)することができます。みなし得点の換算方法などの詳しい情報は45ページの「英語資格・検定試験の利用」をご確認ください。

外国人留学生入試2期

「外国人留学生」の方を対象とした入学試験です。ただし、**出願時点で有効な在留資格「留学」を有している必要があります。**志願者が選択した試験方式により、合否を判定します。

- ・この入学試験は専願入試ではありませんので、他大学と併願することができます。
- ・試験方式ごとに合否を判定します。複数の試験方式を選択した場合、いずれか1つが合格圏内にあれば入試結果は合格となります。
- ・学内併願した場合は、第1志望、第2志望のそれぞれについて合否を判定します。
- ・各試験科目には合格基準とする最低点は設けません。
- ・学力試験において、著しく平均点に差が生じた場合は得点調整を行うことがあります。
- ・試験方式ごとに定員を設けません。
- ・第1志望、第2志望の両方で「合格」となった場合は、志望順位にかかわらず入学手続の際に志望先を選択することができます。

募集学部

国際文化学部、メディア表現学部、芸術学部、デザイン学部、マンガ学部

募集単位（5ページ参照）から、第2志望まで学内併願することができます。

※ オンライン面接は、第1志望のみ選択できます。

試験方式

下記の試験方式から選択できます。試験日・時間帯が重ならない限り、複数の試験方式を選択することができます。

試験日	試験方式・試験科目	国際文化	メディア表現	芸術	デザイン	マンガ
2月4日(火)	オンライン面接 自己推薦書	○	○	-	-	-
2月5日(水)	学力2科目 (英語・国語・数学から2科目選択)	○	○	-	-	-
2月6日(木)	午前 イメージ表現・日本語作文	-	-	○ 選択	○ 選択	○ 選択
		○	○			
	午後 小論文	○	○	○ 選択	○ 選択	○ 選択
		-	-			

※ 2月6日(木)に実施する、イメージ表現と学力2科目、小論文と鉛筆デッサンは、同一時間帯に実施するため、いずれか一方だけを選択できます。

※ 午前にイメージ表現、午後に鉛筆デッサンを選択した場合、日本語作文試験を2回受ける必要があります。

試験日程

出願期間	受験票印刷日	試験日	合否発表日	入学手続締切日
2024年12月20日(金)0:00～ 2025年1月6日(月)23:59	1月29日(水) 12:00～	2月4日(火) 2月5日(水) 2月6日(木)	2月18日(火) 12:00	2月25日(火)

※ 出願期間内に出願登録を完了させて、入学検定料を納入してください。

※ 出願書類の提出期限：1月6日(月)当日消印有効

試験会場

京都精華大学

オンライン面接は、インターネット接続環境とパソコンなどの機器を用意した場所（自宅など）で受験してください。

入学検定料

30,000円

試験方式を1つ追加するごとに10,000円が必要になります。学内併願料は不要です。

※ いったん納入された入学検定料は、原則として返還しません。

試験内容

試験日	試験方式・試験科目	配点	出題内容	試験時間		
2月4日(火)	オンライン面接	面接	録画形式のオンライン面接により、将来の目標や本学で学びたいこと、これまでの活動や経験等についての複数の質問に対して、回答を録画すること。複数の質問にはそれぞれ制限時間があります。自己アピールのために、これまでの活動の写真、制作物、書類等を提示することができます。所要時間は、受験票の提示や、録画した回答の確認等を含め、30分～60分程度。	11:00～13:00 の間に受験を完了すること		
		自己推薦書(事前提出)	あなたのこれまでの活動実績や制作実績、またその成果について、具体的な内容を800字程度(上限1200字)で記述すること。			
2月5日(水)	学力2科目	英語	「英語コミュニケーションⅠ」 「英語コミュニケーションⅡ」「論理・表現」 45ページの「英語資格・検定試験の利用」が可能	13:00～15:00 (120分) ※各科目に解答時間は設けません。 120分で2科目を解答してください。		
		国語	「現代の国語」「言語文化(古文・漢文を除く)」 「思考力・判断力・表現力」を評価するために記述式の設問を含む。			
		数学	「数学Ⅰ」「数学A」			
2月6日(木)	午前	イメージ表現・日本語作文	イメージ表現	画用紙に印刷された図形から発想される世界を絵と文章で表現する。 【支給物】画用紙(B4)、作文用紙(B5)、下書き用紙(A4) 【制作条件】作文は試験時間内に作成し、1枚の作文用紙に収めること。	9:30～12:30 (180分)	
			日本語作文	与えられた課題について、自分の考えを300字程度の日本語で記述する。	12:40～13:00 (20分)	
	学力2科目	英語	「英語コミュニケーションⅠ」 「英語コミュニケーションⅡ」「論理・表現」 45ページの「英語資格・検定試験の利用」が可能	10:30～12:30 (120分) ※各科目に解答時間は設けません。 120分で2科目を解答してください。		
		国語	「現代の国語」「言語文化(古文・漢文を除く)」 「思考力・判断力・表現力」を評価するために記述式の設問を含む。			
		数学	「数学Ⅰ」「数学A」			
		日本史	「日本史探究」			
		世界史	「世界史探究」			
	午後	小論文	200点	課題文を読み解き、自分の意見を600字～800字程度で論述する。	14:30～16:00 (90分)	
		鉛筆デッサン・日本語作文	鉛筆デッサン	150点	複数のモチーフを机上に配置して鉛筆で描写する。 【支給物】モチーフ、画用紙(B3) 【制作条件】出題内容によっては、制作条件が指示される。	14:30～17:30 (180分)
			日本語作文	50点	与えられた課題について、自分の考えを300字程度の日本語で記述する。	17:40～18:00 (20分)

試験で使用できる用具

オンライン面接	面接では質問に対して、自己アピールのために、これまでの活動の写真、作品、資料などを提示して回答することができます。提示する作品、資料などは、カメラで写せるものであれば形式は問いません。動画作品の場合は、再生機器を各自で準備し、再生映像をカメラで映してください。なお、オンラインでの画面共有やファイルの送信はできませんので、事前にポートフォリオにまとめるなどの準備をしてください。 ※提示する作品、ポートフォリオ等は、志願者本人が作成したオリジナルに限り、AI(Artificial Intelligence)、トレース(敷き写し)、模写等によって作成した場合は、作品のどの部分に使用したかについて、回答時に必ず説明してください。
学力2科目・小論文・日本語作文	黒芯の鉛筆またはシャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り(電動式・大型のもの・ハンドル付きのものは不可、鉛筆使用者のみ)
鉛筆デッサン	黒芯の鉛筆またはシャープペンシル、鉛筆削り(電動式、大型、ハンドル付きは不可)、カッターナイフ(鉛筆を削る用途以外は不可)、消しゴム(練り消しゴム含む)、画板・カルトン(大きさ、種類は問いません)、クリップ(クリップ代わりのマスキングテープ、画鋏などの利用は不可)、羽ばうき、製図用ブラシ、デッサン用スケール、はかり棒、擦筆(さっぴつ)
イメージ表現	黒芯の鉛筆またはシャープペンシル、鉛筆削り(電動式、大型、ハンドル付きは不可)、カッターナイフ(鉛筆を削る用途以外は不可)、消しゴム(練り消しゴム含む)、画板・カルトン(大きさ、種類は問いません)、クリップ(クリップ代わりのマスキングテープ、画鋏等の使用は不可)、水溶性絵具(アクリルガッシュ、ポスターカラー等)、色鉛筆、サインペン、マーカー(筆状のペン等種類は問いません)、筆、筆洗、筆ふき、パレット

英語資格・検定試験スコアの利用

学力2科目方式において「英語」を選択した場合、英語資格・検定試験のスコアを利用(みなし得点)することができます。みなし得点の換算方法などの詳しい情報は45ページの「英語資格・検定試験の利用」をご確認ください。

受験上の注意

試験室の案内

1. 受験票にはQRコードを掲載しています。これをスマートフォンなどで読み込むことで、「試験室の案内地図」が表示されます。「試験室の案内地図」は試験当日に公開します。
2. 集合時刻は試験開始時刻の30分前です。集合時刻の直後から試験に関する説明を始めますので、定刻までに試験室への入室を済ませてください。なお、試験室への入室は、試験開始時刻の60分前から可能です。
3. 机には志願者ごとの座席番号札を掲示していますので、受験票に記載された座席番号を確認し、指定された座席に着席してください。
4. **試験開始時刻から30分を超えて遅刻した場合は受験を認めません。**

試験当日の注意

1. 学内の食堂、コンビニエンスストアは、総合型選抜1期を除き営業しません。昼食が必要な場合は各自で持参して指定された場所で食事をとってください。
2. 天候などによる、交通機関への影響に十分に留意し、試験開始時刻に遅れないよう注意してください。遠距離移動がある場合や、悪天候が予想される場合には、あらかじめ試験会場付近に宿泊場所を確保するなど、各自で対策を講じてください。
3. 台風、洪水、大雪、地震などの自然災害、火災、停電、感染症の感染拡大、その他本学の責によらない不可抗力による事故などが発生した場合、試験開始時刻・終了時刻の繰り下げや、試験日時・合否発表日の変更などの緊急措置をとることがあります。**緊急時における入学試験の対応については、[本学Webサイト（入試&高校生・受験生向け情報）](#)でお知らせします。**なお、それによって生じた受験者の負担費用、その他個人的損害について、本学はその責任を一切負いません。
4. 服装は自由、上履きは不要です。ただし、学力試験を受験する方は、英文字や地図がプリントされている服等は着用しないでください。着用している場合には、脱いでもらうことがあります。
5. 受験票は必ず各自で「マイページ」から印刷し、試験当日に持参してください（52ページの「受験票の印刷」を参照）。紛失または持参するのを忘れた場合は、試験開始までに本学の係員に申し出てください。

受験上の注意

1. 携帯電話、スマートフォン、イヤホンなどの電子機器は、試験室に入る前にアラームの設定を解除し、電源を切ってカバンに収納してください。試験時間中にこれらの電子機器を身につけていると不正行為になることがあります。なお、カバンの中で携帯電話などが鳴った場合は、試験監督者が本人の了解を得ずに試験室の外に持ち出すことがあります。
2. 試験で使用できる用具については、試験方式・科目ごとに指定されたもの以外は認めません。ただし次のものは必要に応じて使用することを認めます。時計（辞書・計算機能のあるものや、それらの機能の有無が判別できないもの、キッチンタイマー・大型のもの・スマートウォッチは不可）、メガネ、ハンカチ、目薬、ティッシュペーパー（袋・箱から取り出したもの、制作での使用は不可）
3. 筆記用具、画材などの貸し出しは行いません。
4. 耳栓は、監督者の指示などが聞き取れない場合がありますので、使用することを認めません。
5. 試験室では監督者の指示に従ってください。従わない場合は不正行為になることがあります。
6. 試験時間中、監督者が試験室内の巡視を行います。その際、監督者が顔を上げるよう指示することや、マスクやメガネ、帽子などを一時的に外すよう指示することなどがあります。
7. 試験中に監督者が試験実施に必要な打ち合わせ、指示、説明、巡回を行うことによって生じる音などについて、特別な措置は行いません。
8. 試験室の設備（椅子・机・空調・照明・音響設備など）の違いなどに関する配慮は一切行いません。
9. 試験室を換気するために窓や扉の開放を行うことがあります。冬季においては防寒着を持参してください。
10. 試験中の生活騒音（日常生活において通常起こりうる騒音）などについて、特別な措置は行いません。例として、風雨、雷鳴、航空機、自動車、鉄道などの騒音、緊急車両のサイレン、動物の鳴き声、周辺イベントのアナウンスや歓声など、工事の音、周辺建物のチャイム音、試験室の空調や換気扇、携帯電話や時計などの短時間の鳴動、他の受験者が発する咳・くしゃみ・鼻をすする音・筆記用具の使用音など。

不正行為

下記のことをすると不正行為になります。不正行為であると判断した場合、直ちに試験の中止と退室を命じ、当該年度の入学試験のすべてを無効とします（入学検定料の返還はしません）。すでに実施した入学試験で合格している場合も、合格を遡及して取り消します。また、以後に実施される入学試験の受験を認めません。

1. 出願時に、故意に虚偽の登録や書類提出（本人以外の氏名などを入力したり、本人以外の写真を登録したりするなど）をすること。
2. カンニング（カンニングペーパー・参考書・他の受験者の答案などを見ること、他の人から答えを教わることなど）をすること。
3. 他の受験者に答えを教えたり、カンニングの手助けをすること。
4. 本人になりすまして、他人に受験させること。
5. 試験監督者による「解答を始めてください」の指示の前に、問題冊子を開いたり、解答を始めること。
6. 解答用紙へ故意に虚偽の記入（解答用紙に本人以外の氏名や座席番号を記入するなど）をすること。
7. 試験時間中に、問題冊子・解答用紙を試験室から持ち出すこと。
8. 試験時間中に、試験監督者の指示に従わず、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤーなどの電子機器類をカバンに収納せず、身につけたり手に持っていること。
9. 試験監督者による「解答をやめてください」の指示に従わず、解答を続けること。
10. 試験に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申し出をすること。
11. その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

オンライン受験上の注意

オンライン試験は、本学から送信されるメールを受け取り、試験ページへアクセスすることで開始します。面接者による質問動画が順次再生されますので、1問ずつ制限時間内に回答(録画)してください。すべての質問に回答(録画)したら試験は完了です。

試験当日の流れ

1. **試験日当日 10:30～11:00の間に、マイページに登録したアドレス宛に、本学から受験の案内メールを送信します。**案内メールに記載の URL から試験ページへアクセスしてください。
2. 面接者からの質問動画が再生されます(質問内容は文字でも表示されます)。複数の質問に対して、1問ずつ制限時間内に回答(録画)してください。
3. 録画した内容を確認して、送信してください。録画は2回まで撮り直しが可能です。
4. すべての質問について回答(録画)が完了したら試験は終了です。
5. 試験は、11:00～13:00の間に完了してください。13:00を過ぎると受験できません。

受験の準備

受験にはスマートフォン・タブレット、パソコン(カメラ、マイク、スピーカーが付いていること)のいずれかの機器と、インターネット接続環境(350 kbps/WiFi環境を推奨)が必要になります。またスマートフォンの場合は、録画のピンボケや手ブレを避けるため、スタンドなどを利用して機器を固定してください。使用機器の推奨環境は下記の通りです。受験に必要な機器やインターネット環境を自分で準備できない場合は、出願期間中に入学グループに連絡してください。

オンライン試験システムの動作環境

スマートフォン・タブレットの場合	パソコンの場合
iOS: 13以上、Android: 8.0以上 専用アプリ(HireVue for Candidates)を事前にインストールする必要があります。App Store、Google Playで入手できます。 下記のOSとブラウザの組み合わせを利用した場合は、専用アプリは不要ですが、動作環境において専用アプリでの利用を推奨します。 <ul style="list-style-type: none">・ iOS15以上とSafari15以上・ Android8.0とChrome最新バージョン	OS: macOS10.12以上、Windows10以上 Webブラウザ: Google Chrome(最新版)、Firefox(最新版)、Safari15以上、Edge16以上(Windows10以上) 品質と安定性の観点から、Google Chromeの使用を推奨しています。 Internet Explorerは使用できません。 CPU: 最低1GHz(2GHzを推奨) メモリ: 最低1GB 内蔵または外部のWebカメラ、マイク、スピーカー

オンライン試験の練習

オンライン試験を練習するための「練習用サイト」を公開しています。練習問題は実際の入学試験での質問とは異なりますが、機器の接続確認や回答(録画)の練習ができます。何度でも試してください。

オンライン試験の練習用サイト



受験上の注意

1. 受験者以外の者がいない部屋で、騒音や障害物がなく、十分に明るい環境で受験してください(公園、インターネットカフェ、レストランなどは不可)。
2. 服装は自由ですが、受験票の写真と本人を照合しますので、帽子やサングラスなどの顔が隠れるものは身につけないでください。
3. 使用機器の動作、通信環境については「オンライン試験の練習用サイト」で事前にご確認ください。
4. 指定された資料以外の使用は認めません。ただし次のものは必要に応じて使用することを認めます。時計(辞書・計算機能のあるものや、それらの機能の有無が判別できないもの、スマートウォッチは不可)、メガネ、ハンカチ、目薬、ティッシュペーパー(袋・箱から取り出したもの)。
5. 他者の助言や協力ができない環境で受験してください。
6. 試験終了時刻を過ぎての回答は無効とします。
7. 使用機器、通信環境の違いなどに関する配慮は一切行いません。
8. 試験時間中の生活騒音(日常生活において通常起こりうる騒音)などについて、特別な配慮は行いません。
9. 面接の回答動画は、評価および不正行為防止のために本学で保管します。

不正行為

下記のことをすると不正行為になります。不正行為であると判断した場合、当該年度の入学試験のすべてを無効とします(入学検定料の返還はしません)。すでに実施した入学試験で合格している場合も、合格を遡及して取り消します。また、以後に実施される入学試験の受験を認めません。

1. 出願時に、故意に虚偽の登録や書類提出(本人以外の氏名などを入力したり、本人以外の写真を登録したりするなど)をすること。
2. 試験時間中にスマートフォンやパソコンなどを使用して回答について調べること。
3. 試験時間中に他者の助言や協力を得ること。
4. 本人になりすまして、他人に受験させること。
5. 試験時間中に指定された資料以外を使用すること。
6. 試験内容、回答中の受験者を録音・録画すること。
7. 試験に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申し出をすること。
8. その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

受験上の配慮

感染症への対応

志願者が学校保健安全法で出席停止が定められている感染症（新型コロナウイルス、インフルエンザなど）に罹患した場合、その感染症が他の受験者や監督者に広がるおそれがありますので、担当医師が「感染のおそれがない」と認めない限り、原則として受験することはできません。

感染症による入学検定料返還または振替受験申請

志願者が学校保健安全法で出席停止が定められている感染症（新型コロナウイルス、インフルエンザなど）の罹患によって試験を欠席した場合、入学検定料（欠席した日）の返還、または以降の入試種別への振替受験を申請することができます。申請方法は以下の通りです。

1. 出願した試験日当日 17:00 までに、メールまたは電話で入学グループに連絡してください。
2. 「入学検定料返還または振替受験申請書」（本学指定様式 <https://www.guide.52school.com/guidance/net-kyoto-seika/gid/>）と、診断書（学校保健安全法で出席停止が定められている感染症名、欠席した試験日が含まれる加療期間）の写しを、試験日を含め 7 日以内に送付してください。
※ 期限内に申請しなかった場合は受け付けません。また、以降の入試種別を振替受験する場合でも、出願手続は各自で行う必要があります。

受験上の合理的配慮

障害・疾病・負傷などがあるために受験上の合理的配慮を希望する方は、**出願開始日の 1ヶ月前までに**入学グループに連絡のうえ、申請をしてください。なお、申請は出願ごとに必要です。また、出願後に不慮の事故（交通事故、負傷、発病）などにより、配慮が必要となった方はすみやかにご連絡ください。

申請手順は以下の通りです。

1. 出願（エントリー）開始日の 1ヶ月前までに入学グループに連絡してください。
2. 「受験上の配慮申請書」を配布しますので、必要事項を記入し、根拠書類（医師の診断書、検査所見・結果、障害者手帳などの写し、大学入学共通テスト受験上の配慮事項決定通知書など）を添付して、入学グループまで送付してください。必要に応じて申請内容についての聞き取りや、根拠資料の確認、追加資料を求めることがあります。
3. 本学で協議の上、決定した配慮内容をお知らせします。なお、本学が必要と判断した場合は、面談のうえ、配慮内容を決定します。

入学後の修学支援

修学上の合理的配慮の相談を受付けています。修学上の合理的配慮について質問や相談などがある場合は、本学の障害学生支援室までメールでお問合せください。必要な場合は、障害学生支援室および、入学を予定している学科・コースの教員との面談を行います。

なお、修学上の配慮に関する相談は、入学手続完了後でも可能ですが、本学での準備に時間を要する場合がありますので、できる限り早めにご相談をお願いします。本学の支援制度の内容や利用方法、施設・設備などについては、本学 Web サイト（障害学生支援）でご確認ください。

障害学生支援



自然災害等の被災者に対する学費減免等救援措置

本学では、自然災害などにより被災した保護者の方の経済的負担を軽減し、受験生の進学のための機会を確保を図るために、災害救助法などの適用地域居住の被災者を対象とした救援措置を設けています。救援措置の適用を希望する場合は入学グループまでご連絡ください。

	入学前	入学後
金額（年間）	入学検定料：全額免除 入学金：全額免除 授業料：年間授業料の 1/4 の額を減免	最大年間授業料の 1/2 の額を減免
対象	災害救助法の適用地域に志願者本人もしくは学費支弁者が居住し、就学継続が著しく困難となった者 ※ 被災状況による支援基準があります。	
採用人数	不定	
申請および選考方法	提出書類により被災状況と家計、国や地方公共団体による支援状況、学内外の奨学金利用状況を総合的に審査	
時期	災害発生時	

英語資格・検定試験の利用

本学が指定する英語の資格・検定試験のスコアを利用して、学力2科目方式の「英語」の得点に換算すること（みなし得点）ができます。本学の「英語」試験は、受験をするかしないかを選択することができ、受験した場合は「みなし得点」と本学の「英語」の得点を比較して、高い得点で合否を判定します。受験しない場合は、学力試験の英語を除いた1科目のみの受験（60分）となります。

本学が指定する英語資格・検定試験

- ・ 英検、英検 S-CBT、英検 S-Interview
- ・ TOEIC L&R+S&W
- ・ TOEFL iBT
- ・ GTEC 4 技能
- ・ IELTS アカデミック・モジュール
- ・ TEAP 4 技能、TEAP CBT
- ・ ケンブリッジ英語検定

スコアを利用できる入試種別

- ・ 学校推薦型選抜（公募制）
- ・ 一般選抜1期
- ・ 外国人留学生入試1期
- ・ 外国人留学生入試2期

みなし得点換算表

みなし得点	英検 2 級 以上を受験 CSE2.0	TOEIC L&R+S&W	TOEFL iBT	GTEC 4 技能	IELTS アカデミック・ モジュール	TEAP 4 技能	TEAP CBT	ケンブリッジ 英語検定
100 点	2,300 ~	1,560 ~	72 ~	1,180 ~	5.5	309 ~	600 ~	160 ~
90 点	2,150 ~	1,360 ~	57 ~	1,050 ~	4.5	270 ~	510 ~	150 ~
80 点	1,950 ~	1,150 ~	42 ~	930 ~	4.0	225 ~	420 ~	140 ~

- ・ 英検は2級以上を受験して、指定のスコアを取得することが採用条件となります（英検の合格が必須ではありません）。また、英検 S-CBT、英検 S-Interview も申請対象とします。
- ・ TOEIC は TOEIC L&R のスコアと TOEIC S&W のスコア ×2.5 したものを合算したスコアとします。
- ・ TOEFL iBT は Test Date スコアを採用します（My Best スコアは採用しません）。
- ・ GTEC は、Basic と Core は対象とせず、Advanced と CBT に限ります。
- ・ TEAP は、全3回の試験での技能ごとの高得点を採用するのではなく、1回のみの点数を採用します。

申請方法

申請は、マイページで願登録を行う際に、学力2科目方式から「英語」を含む2科目を選択し、「英語資格・検定試験利用制度を申請する」を選択してください。また、スコアを証明する成績証明書などの写しを、出願書類と一緒に出願期間内に送付してください。資格の有効期限は、取得日が2022年4月1日以降であるものに限り、スコアに有効期限がある場合は、2025年4月1日時点で有効であることが必要です。いずれの資格・検定試験においてもオフィシャルスコアに限ります。

資格取得特待生（国内学生対象）の申請

英語資格・検定試験のスコアを使用する方は、併せて「資格取得特待生」制度に申請することができます。「資格取得特待生」制度とは、国内学生を対象とした本学独自の奨学金制度です（TEAP、ケンブリッジ英語検定は対象外）。申請する場合は、本学 Web サイト（奨学金ページ）から「申請書」をダウンロードして必要事項を記入の上、出願書類に同封してください。**申請期限は2025年3月18日（火）となりますので、受験後でも提出が可能です。**なお、申請書の提出がない場合は、奨学金選考の対象外となります。

※ 必ず本制度についての詳細をご確認の上、申請してください（57ページの「国内学生を対象とした本学独自の奨学金」をご確認ください）。

京都精華大学独自の奨学金
(国内学生対象)



国内学生の出願書類

学歴証明書類	<p>下記のいずれかの書類（原本）を提出してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校等の調査書 ※厳封されたもの 2. 高等学校等の卒業証明書、または卒業見込証明書 3. 外国における、12年の課程を修了または修了見込であることを証明する書類（卒業証明書等） 4. 外国における、12年の課程修了相当の学力認定試験に合格したことを証明する書類 5. 外国の大学入学資格証明書（国際バカロレア、GCE-Aレベル、アビトゥーア、バカロレア） 6. 高等学校卒業程度認定試験の合格証明書、合格成績証明書、または合格見込成績証明書 7. その他の大学入学資格を証明する書類
推薦書	<p>学校推薦型選抜（公募制）に出願する方は、学校長の推薦書を提出してください。</p> <p>本学指定の様式をインターネット出願ページ（出願書類・発送要領）でダウンロードして使用してください。 URL：https://www.guide.52school.com/guidance/net-kyoto-seika/gid ※ 推薦書は2024年4月1日以降に発行されたものに限りです。</p>
大学入学共通テスト成績請求票	<p>大学入学共通テスト利用入試に出願する方は、大学入試センターが交付する「令和7年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト受験票」から、「令和7年度共通テスト成績請求票（私立大学・公私立短期大学用）」を1枚だけ切り離し、本学所定の用紙に貼り付けて提出してください。本学所定用紙は出願登録時に印刷できます。</p>
英語資格・検定試験スコアの証明書類（写し）	<p>英語資格・検定試験スコアを利用する方は、スコアを証明する書類の写しを出願書類と一緒に送付してください。詳しくは45ページの「英語資格・検定試験の利用」をご確認ください。</p>

※ 出願時点で、「留学」以外の中長期滞在可能な在留資格を有している方は、在留カード（両面）の写しとパスポートの顔写真のページの写しを提出してください。

外国人留学生の出願書類

学歴証明書類	<p>下記のいずれかの書類（原本）を提出してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校等の調査書 ※厳封されたもの 2. 高等学校等の卒業証明書、または卒業見込証明書 3. 外国における、12年の課程を修了または修了見込であることを証明する書類（卒業証明書等） 4. 外国における、12年の課程修了相当の学力認定試験に合格したことを証明する書類 5. 文部科学大臣指定の準備教育課程の修了証明書、または修了見込証明書 6. 外国の大学入学資格証明書（国際バカロレア、GCE-Aレベル、アビトゥーア、バカロレア） 7. 高等学校卒業程度認定試験の合格証明書、合格成績証明書、または合格見込成績証明書 8. その他の大学入学資格を証明する書類
日本語能力を証明する書類（写し）	<p>出願資格を満たしていることを証明する書類（成績通知書、成績証明書、成績確認書等）の写しを提出してください。</p>
日本での学修状況を証明する書類	<p>出願時点で、すでに有効な在留資格「留学」を有し、日本の学校に在籍している方は、下記の書類を提出してください。なお、各書類の有効期限は、発行日から出願期間の開始日までが30日以内であるものを有効とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 在籍を証明する書類 ・ 成績を証明する書類 ・ 出席状況を証明する書類 <p>※ 日本の高等学校に在籍し、調査書を提出する方は、上記の書類の提出は不要です。 ※ 在籍する日本の学校が、出席状況を証明する書類を発行しない場合、出願書類を提出する前に入学グループまでお問合せください。</p> 
パスポート（写し）	<p>顔写真のページの写しを提出してください。 ※ 日本国籍のパスポートで入国したことがある方は、その写しと日本国籍離脱の証明書（戸籍謄本）も提出してください。</p>
在留カード（写し）	<p>出願時点で、すでに有効な在留資格「留学」を有する方は、在留カード（両面）の写しを提出してください。</p>
大学入学共通テスト成績請求票	<p>大学入学共通テスト利用入試に出願する方は、大学入試センターが交付する「令和7年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト受験票」から、「令和7年度共通テスト成績請求票（私立大学・公私立短期大学用）」を1枚だけ切り離し、本学所定の用紙に貼り付けて提出してください。本学所定用紙は出願登録時に印刷できます。</p>
英語資格・検定試験スコアの証明書類（写し）	<p>英語資格・検定試験スコアを利用する方は、スコアを証明する書類の写しを出願書類と一緒に送付してください。詳しくは45ページの「英語資格・検定試験の利用」をご確認ください。</p>

出願書類に関する注意事項

- ・ 学内併願した場合、提出する書類（学歴証明書など）は1通で構いません。
- ・ 一般選抜と大学入学共通テスト利用入試を同時に出願する場合、学歴証明書などの出願書類は1通のみ提出してください。出願書類は封筒に1つにまとめて送付してください（宛名ラベルは、一般選抜のものを利用してください）。
- ・ 2025年度入試において2回目以降の出願をする場合、前の入学試験で提出した書類を再提出する必要はありません。
- ・ **総合型選抜1期・2期のエントリーは、出願ではありません。「出願不可」となった方が以降の入試に出願する際は、出願書類を提出する必要があります。**
- ・ **外国人留学生の「日本での学修状況を証明する書類」は、必ず出願ごとに提出してください。**
- ・ 転居などにより各種証明書の記載内容が変更された場合は再提出してください。
- ・ 経歴などの確認やその他の事由により、追加書類の提出を求める場合があります。
- ・ 特別な事情がない限り、提出された書類は返却しません。
- ・ 出願書類に虚偽の記載があった場合には受験できません。

外国の学校の証明書を提出する方へ

- ・ 各種の証明書は日本語または英語で表記されているものを提出してください。それ以外の言語で表記されている場合は、原本と日本語または英語の翻訳を提出してください。翻訳者は問いません。また、認証翻訳（Certified Translation）でなくても構いません。なお、翻訳には、原本の内容と相違がないことを証明する第三者の公印または署名が必要となります。この場合の証明者は、日本語学校、出身学校、大使館などの公的機関しか認められません（個人は不可とします）。
- ・ 中国の高等学校を卒業した者（※台湾、香港、マカオの高等学校は含まない）は、学歴・成績を証明する書類として、中国高等教育学生信息网（CHSI）が発行する学歴・成績認証書の英語版の提出が望まれます。
- ・ 出身学校が、卒業・修了を証明する書類の発行を行っておらず、卒業証書・学位記の原本以外に学歴を証明する書類がない場合、「卒業証書・学位記の写し」をもって学歴証明書類に代えることができます。ただし、その写しには、原本の内容と相違がないことを証明する第三者の公印または署名（Certified Copy）が必要となります。この場合の証明者は、日本語学校、出身学校、大使館などの公的機関しか認められません（個人は不可とします）。

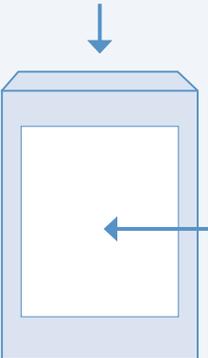
出願書類の送付

出願にあたっては、必要な出願書類をすべて揃えて、市販の角2サイズの封筒を使用して、郵便局の窓口から簡易書留・速達で送付してください。封筒の表には本学指定の「宛名ラベル」を貼り付けてください。「宛名ラベル」は、出願登録完了時に「マイページ」でダウンロードして、印刷することができます（志願者の氏名などが記載されたラベルが印刷できます）。

海外から送付する場合は、任意の封筒を使い、国際宅配便（EMS、DHL、UPS、FedExなど）で送付してください。また、「宛名ラベル」は出願書類と一緒に同封してください。

国内から送付する場合

出願書類をすべて入れる



封筒の表に貼る

市販の封筒（角2サイズ）

本学指定の宛名ラベル



海外から送付する際の宛先

宛先
 Kyoto Seika University Admissions Office
 137 Iwakura-Kino-cho, Sakyo-ku,
 Kyoto 606-8588 JAPAN
 ※宛先が Admissions Office であることを必ず明記してください。

送付状に記載する品名
 application documents

封筒に表書きする事項
 ○○入試（出願する入試種別）出願書類在中

宛名ラベルの同封
 海外から送付する場合でも、本学指定の宛名ラベルを同封してください。

注意事項

- ・ 郵便局が発行する受付番号、追跡番号などの控えは、配送事故などによる不着の際に必要となりますので、必ず各自で保管してください。
- ・ 本学窓口では手渡しでの出願書類の受け付けを行っていません。
- ・ 出願書類の到着状況に関するお問合せには応じられません。
- ・ 出願資格を確認するために必要な書類が提出されなかった場合、出願が認められない場合があります。
- ・ **出願期間内にすべての書類を提出しなかった場合は、いかなる理由でも出願は認めません。**

インターネット出願手順

本学ではインターネットで出願を受付けており、最初に「マイページ」の登録が必要になります。

以下では「マイページ」登録手順について、要点だけを説明しています。実際の登録にあたっては、画面の指示に従って進めてください。

「インターネット出願ページ」「マイページ」の公開は2024年8月下旬を予定しています。

①入試&高校生・受験生向け情報



本学 Web サイト「入試&高校生・受験生向け情報」から、「インターネット出願ページ」へ進んでください。

②インターネット出願ページ



画面上部の「マイページ」ボタンをクリックして進んでください。

インターネット出願ページには、出願方法、書類の送付要領、入学検定料の納入方法、よくある質問など、入学試験に関する情報を掲載しています。また、奨学金の申請書などの本学指定様式を公開していますので、必要な方は様式ファイルをダウンロードしてご利用ください。

インターネット出願ページ



③マイページの登録



「マイページ」のログイン画面が表示されます。初めて利用する場合は、画面下の「マイページを初めてご登録の方」から進んでください。

④利用規約の確認



利用規約確認画面が表示されますので、内容を確認の上、「同意する」をクリックしてください。

⑤メールアドレスの入力



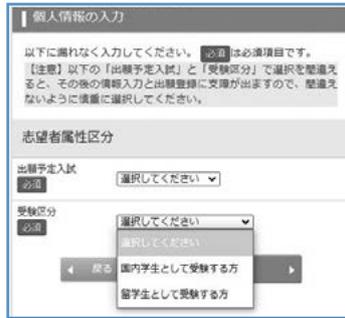
マイページ登録用のメールアドレスを入力してください。入力後に「マイページ仮登録完了」通知メールが届きますので、メール本文の URL にアクセスして本登録を行ってください。

⑥基本情報、顔写真の登録



本登録が完了すると、「マイページ」で基本情報、顔写真の登録ができるようになります。まず、「基本情報の登録」から始めてください。

⑦志願者区分の選択



出願予定入試

「学部1年次入学試験」を選択してください。

出願区分

「国内学生」または「留学生」から選択してください。外国籍（日本国籍を有していない）の方は、所有している在留資格の種類によって出願区分が異なります（2ページの「外国籍の方へ」参照）。

⑧基本情報の入力



画面の指示に従って、基本情報を入力してください。

経歴書

外国人留学生の方は経歴書欄に、最終学歴、これまでの学歴などを入力してください。

基本情報の入力が完了したら、「顔写真登録」へ進んでください。

顔写真の登録

出願にあたっては顔写真が必要です。下記の要領にしたがって顔写真を登録してください。

顔写真は試験当日の本人照合、入学後の学生証用の写真として利用します。

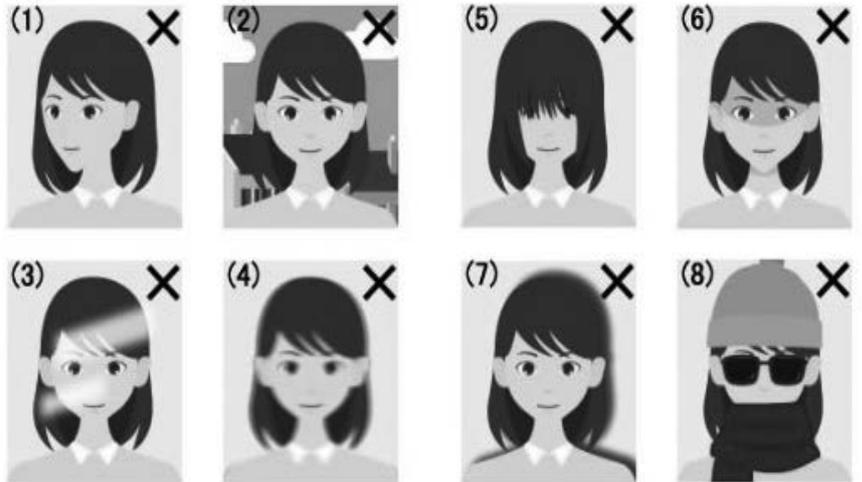
※ 学生証用の写真は入学手続き時に変更することができます。

適切な写真の例



- ・ カラー
- ・ 上半身・正面
- ・ 無帽
- ・ 背景なし
- ・ 枠なし
- ・ 学校の制服以外の服装が望ましい
- ・ スマートフォン、アプリなどで加工を施していないこと

不適切な写真の例



- ・ 正面を向いていない
- ・ 背景に風景や柄が写っている
- ・ 照明が反射している
- ・ ピントがぼけたり、手振れによって不鮮明
- ・ 前髪が長すぎて目元が隠れている
- ・ 顔に影が写っている
- ・ 背景に影が写っている
- ・ マフラーやスカーフで顔の輪郭が隠れている

出願（エントリー）登録方法

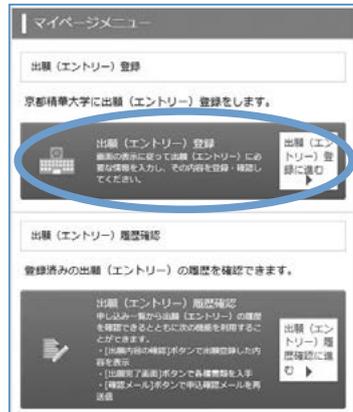
基本情報の入力と顔写真の登録を完了後、出願期間内に出願登録を行います。

下記では出願登録方法について、要点だけを説明しています。実際の登録にあたっては、画面の指示に従って進めてください。

※ 以下、「出願（エントリー）」をすべて「出願」と称します。

- ・ **出願登録が完了し、入学検定料を納入した後、出願した内容（志望コース、試験日、自己推薦書など）を変更することはできません。**
ただし、入学検定料を納入する前であれば、登録をやり直すことができます。
- ・ 出願登録の完了後に、氏名や住所などの個人情報の誤りに気づいた場合は、すみやかに入学グループまでご連絡ください。
- ・ 出願期間内に登録が完了しなかった場合は、いかなる理由でも出願は認めません。

①出願登録



出願期間になると、出願登録ができます。「出願登録」から進んでください。

②入試種別の選択



現在、出願を受付けている入試種別が表示されますので、選択してください（選択すると色が変わります）。

③志望先の選択

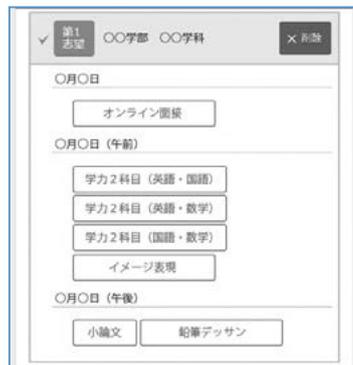


志望先を選択してください。選択した順に志望順位が設定されます（1つ目に選んだものが第1志望になります）。

総合型選抜 1期・2期

出願時には、出願「可」となった志望先のみが表示されます。

④試験方式（試験科目）の選択



志望先を選択すると、試験方式（試験科目）が表示されますので選択してください。複数の試験方式を選択する場合は、必ず一度に登録してください。出願登録完了後に追加することはできません。

注意事項

例えば、総合型選抜1期において芸術学部を志望した場合、試験方式は「体験授業」と定められています。このような場合は、上記の選択画面は表示されません。

⑤自己推薦書などの入力

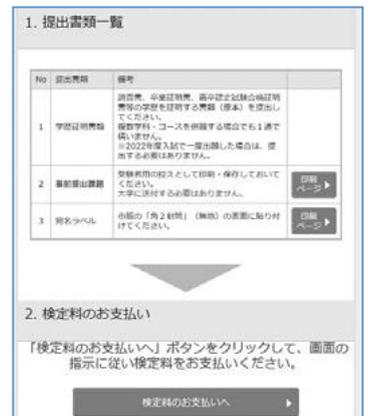


マイページ登録時に入力した「個人情報」が再度表示されますので、内容に誤りがないかご確認ください。また、「事前提出課題（自己推薦書）」の入力フォームが表示されますので、入力してください。

総合型選抜 1期・2期

総合型選抜1期・2期ではエントリー時に「自己推薦書」、出願時に「学びの計画書」の入力フォームが表示されます。総合型選抜1期の試験日の選択は、ここで行ってください。

⑥出願完了画面



出願完了画面が表示されます。

1. 出願書類一覧

出願に必要な書類の一覧が表示されます。「印刷ページ」ボタンをクリックすると、「宛名ラベル」などが印刷できます。

2. 入学検定料のお支払い

「検定料のお支払い」から、入学検定料の支払い画面へ進みます。

総合型選抜 1期・2期

エントリー時は、入学検定料が免除されます。ただし、出願時に支払いが必要です。

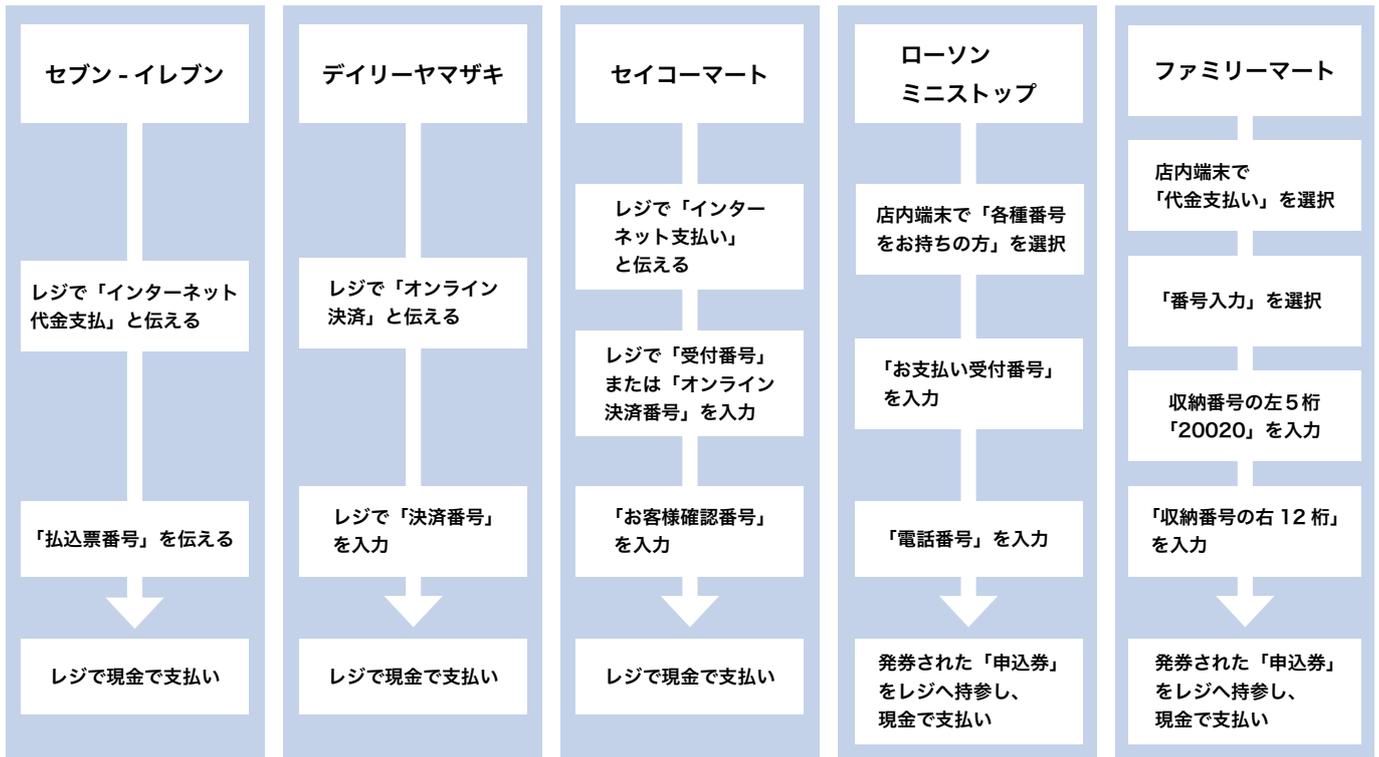
入学検定料の支払方法

マイページ「出願完了画面」にある「検定料のお支払い」から「決済専用サイト」へ進みます。お支払い方法をクレジットカード、コンビニ、ネットバンキング、ATM（ペイジー）の中から選択して、出願期間内に納入手続きを行ってください。納入が完了すると、「納入完了の通知メール」が届きます。

- ・ 入学検定料の他にサービス利用料 990 円が必要です。
- ・ いったん納入された入学検定料は、原則として返還しません。
- ・ **出願期間内に入学検定料を納入しなかった場合は、いかなる理由でも出願は認めません。**

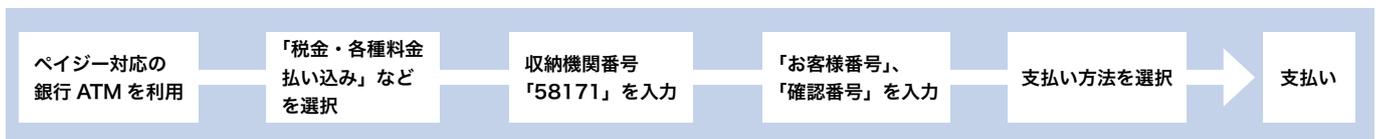
コンビニエンスストア

お支払い方法から「コンビニ」を選択し、「お支払い情報」を取得した上で、下記の手順に従って手続きを進めてください。



ATM（ペイジー）

お支払い方法から「ATM（ペイジー）」を選択し、「お支払い情報」を取得した上で、下記の手順に従って手続きを進めてください。



その他の納入方法

クレジットカード	お支払い方法から「クレジットカード」を選択し、画面の指示に従って手続きを進めてください。 ※ 本人認証の画面で対応方法がわからない場合は、カード会社にお問い合わせください。
ネットバンキング	お支払い方法から「ネットバンキング」を選択し、画面の指示に従って手続きを進めてください。
海外からの納入	海外からの納入方法は、クレジットカードのみに対応しています。

注意事項

各納入手順は変更される場合があります。ご不明な場合は、株式会社ペイジェントの Web サイトをご確認ください。

(購入者の支払いの流れ) URL : https://www.paygent.co.jp/payment_service/way_to_pay

受験票の印刷

受験票印刷日になると、「マイページ」で受験票をダウンロードして印刷することができます。必ず試験当日までに、志望先、試験日、試験時間などの記載事項をご確認ください。記載内容に不備がある場合は、すみやかに入学グループまでご連絡ください。

The diagram shows the layout of the exam ticket. It is titled '受験票' (Exam Ticket) and is divided into two main sections. The top section is for '座席番号、氏名など' (Seat number, name, etc.) and includes a placeholder for a student's photo. The bottom section is for '入試種別、志望先、試験日など' (Exam type, preferred school, exam date, etc.).

座席番号と受験番号の違い

座席番号は、試験方式ごとにつけられる番号です。試験当日は、座席番号を確認して着席してください。

受験番号は、志望した学科・コースごとにつけられる番号です。合否発表は受験番号で行います。

試験会場

交通アクセス

京都精華大学 (〒606-8588 京都市左京区岩倉木野町137番地)

- ・ JR「京都駅」より地下鉄烏丸線に乗り換え、「国際会館駅」下車、スクールバスで約10分
- ・ 阪急京都線「烏丸駅」より地下鉄烏丸線に乗り換え、「国際会館駅」下車、スクールバスで約10分
- ・ 京阪鴨東線「出町柳駅」より叡山電鉄に乗り換え、「京都精華大前駅」下車、徒歩すぐ

注意事項

- ・ **キャンパス内はタクシーや自家用車の乗り入れ、駐車はできません。**また、キャンパス周辺での駐停車、乗り降りをご遠慮ください。電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。
- ・ 試験会場には、付添者のための控室はありません。

スクールバス案内

試験当日は、地下鉄烏丸線「国際会館駅」～キャンパス間でスクールバスを運行しています。

スクールバス乗り場は「国際会館駅」3番出口を出て右になります。時刻表は本学 Web サイト (交通アクセス) で案内します。



交通アクセス



合否発表

合否結果は合否発表日に「マイページ」の「合否照会」でご確認ください。なお、合否結果に関するお問合せには一切応じられません。



合否発表は受験番号で行います。

注意事項

- 入学試験において指定された試験科目（事前提出物を含む）をすべて受験（提出）する必要があります。1つでも受験（提出）しなかった場合は、合否判定は不合格となります。
- 学内併願した方、複数の試験方式で受験した方は、それぞれの受験番号について合否をご確認ください。
- 合否発表の後、出願書類に虚偽の記載が発覚した場合、また、2025年4月1日時点において出願資格を満たせなかった場合は、入学試験の合格を取り消します。

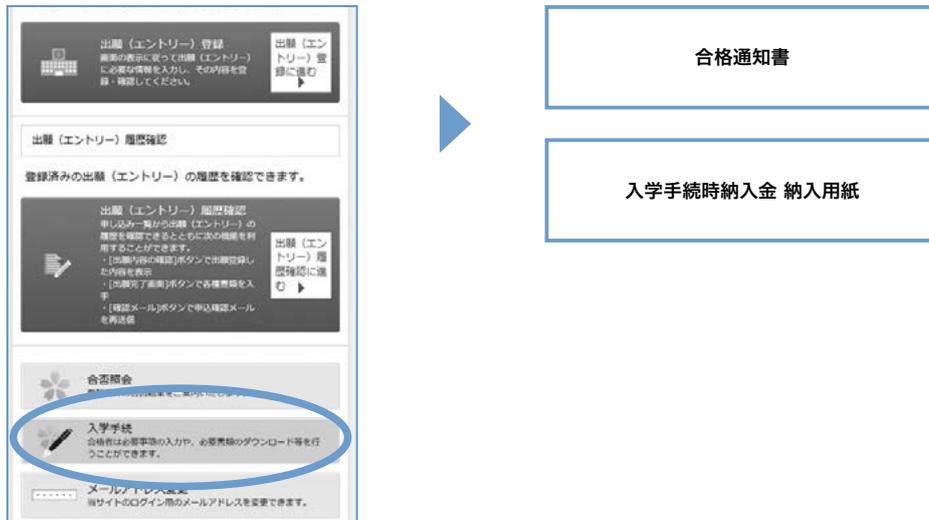
追加合格

入学手続の状況によって、追加合格を発表する場合があります。追加合格が生じた場合は、追加合格発表日に、対象者に対して「追加合格通知」を送ります。手続期間は下記の通りです。なお、追加合格の有無に関するお問合せには一切応じられません。

追加合格発表日	入学手続時納入金の納入期限	学籍情報登録などの手続期限
2025年3月22日（土）	3月26日（水）	3月28日（金）

入学手続

入学試験に合格すると、マイページの「入学手続」に進むことができます。「合格通知書」と「入学手続時納入金 納入用紙」を印刷することができます。入学手続に関する詳しい情報は、本学 Web サイト「合格者の皆さんへ」を確認してください。なお、書面による合格通知書、納入用紙、入学手続案内等の発送はありません。



入学手続時納入金

入学手続は、入学手続時納入金（入学金・前期1期の授業料・同窓会費・教育後援会費）を、所定の入学手続締切日までに納入することで完了します。

入学手続締切日までに納入が完了しない場合は、入学を辞退したものとします。なお、入学手続締切日後の入学手続はいかなる理由があっても認めません。

学部		国際文化学部	メディア表現学部	芸術学部	デザイン学部 マンガ学部
内訳	入学金	200,000 円			
	授業料 (前期1期分)	271,500 円	296,500 円	387,500 円	394,750 円
	同窓会費（終身会費）	10,000 円			
	教育後援会費（4年分）	40,000 円			
合計		521,500 円	546,500 円	637,500 円	644,750 円

※ 外国人留学生の方は上記に加え、入学手続時に「外国人留学生向け学研災付帯学生生活総合保険加入費」13,660 円（4年分）が必要です（本学に在籍する外国人留学生のための保険です）。なお、金額は2024年度の実績であり、2025年度の加入費は変更される場合があります。

入学手続締切日

入学手続締切日は、入試種別ごとに定めています。入試種別ごとのページに記載した「試験日程・入学手続締切日」をご確認ください。

国内学生を対象にした「学校推薦型選抜（公募制）」については、2種類の納入方式があります。

- ・一括納入 第1次手続締切日までに「入学金」、「前期1期分授業料」、「同窓会費」、「教育後援会費」を納入する
- ・2段階納入 第1次手続締切日までに「入学金」を納入し、第2次手続締切日までに「前期1期分授業料」、「同窓会費」、「教育後援会費」を納入する

納入方法

入学手続時納入金は、下記のいずれかの方法で納入をお願いします。詳細は合格者に案内します。

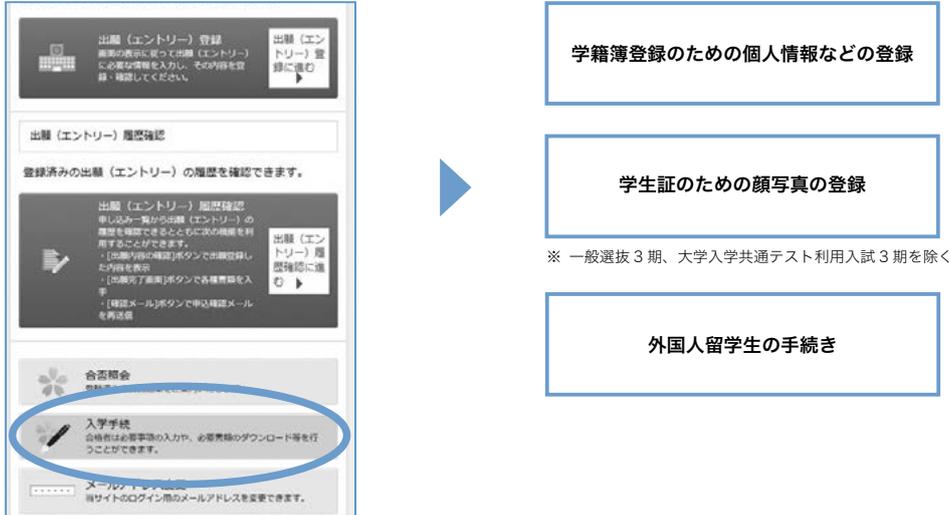
金融機関窓口	「入学手続時納入金 納入用紙」をマイページでダウンロードして印刷のうえ、銀行などの各金融機関窓口（ゆうちょ銀行を除く）に持参して納入してください。
金融機関 ATM、ネットバンキング	「入学手続時納入金 納入用紙」に記載している口座へ振り込んでください。
国際学費決済サービス「Flywire」	日本円以外の通貨で決済できるインターネットサービスです。海外在住の方などはこのサービスを利用してください。

入学手続時納入金の振替

入学手続時納入金を納入した後で別の入学試験に合格した場合は、既に支払った納入金を新たな入学手続のために振り替えることができます。手続を行うことで、新たな学部・学科・コースおよび受験番号で入学することができます。手続方法については、後日公開する本学 Web サイト「合格者の皆さんへ」をご確認ください。

入学準備に必要な各種情報の登録

入学手続時納入金の納入が完了した後、マイページの「入学手続」で入学準備に必要な各種情報を登録してください。詳しくは本学 Web サイト「合格者の皆さんへ」をご確認ください。



ビザ（査証）・在留資格手続

在留資格を有していない場合

本学では、所定の期日までに入学手続を完了した日本国外在住者のうち、在留資格「留学」の取得を希望する方のために、本人に代わって出入国在留管理庁へ「在留資格認定証明書（COE）」の交付申請を行います。

申請に必要な書類や手続などは本学 Web サイトで後日案内しますので、必要書類を期日までに提出してください。

在留資格「留学」を有している場合

日本国内の教育機関（日本語学校を含む）から本学への入学を希望する方で、入学試験合格時点において、すでに有効な在留資格「留学」を有している場合は、在留期間満了日に応じて「在留期間更新許可申請」を行ってください。詳しくは本学 Web サイトで後日案内します。

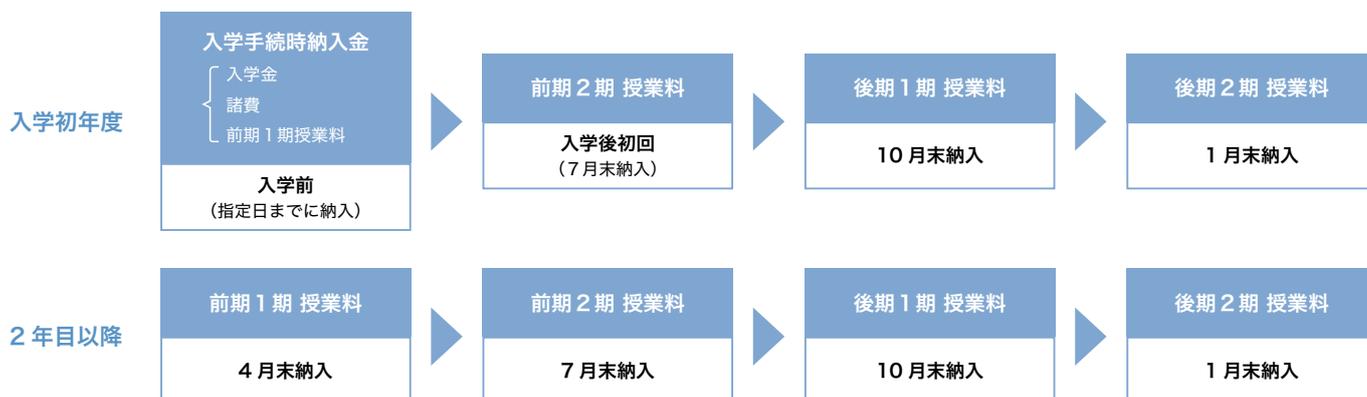
在留資格「留学」以外を有している場合

- ・ 日本で中長期滞在可能な在留資格（「留学」以外）を有している場合は、在留資格「留学」への変更義務はありませんが、外国人留学生対象の各種補助制度の利用ができない場合があります。
- ・ 「短期滞在」および「特定活動（出国準備）」の在留資格を有している場合、原則として一度日本を出国し、在留資格認定証明書（COE）を申請する必要があります。
- ・ 「留学」以外の在留資格から「留学」へ変更を希望する方は、出願前に入学グループへ相談してください。

学費

入学後の授業料は、年4期に設けられた納入期日までに、年間授業料の4分の1の金額を納入してください。

学部	国際文化学部	メディア表現学部	芸術学部	デザイン学部 マンガ学部
授業料（1期あたりの納入金額）	271,500円	296,500円	387,500円	394,750円
年間授業料	1,086,000円	1,186,000円	1,550,000円	1,579,000円



ノートパソコンなどの購入について

本学では、従来の対面型授業のほか、より高い教育効果が得られる科目については、オンラインでの授業も取り入れています。また、各学部における専門科目の課題制作のためにも、学生各自にパソコンが必要となります。

入学予定の皆さんには、原則としてノートパソコンの購入と、自宅や下宿先におけるWi-Fiなどのインターネット接続環境の準備をお願いしています。指定のモデルや購入金額、購入時期などについては、学科・コースごとに異なります。詳細については合格者に案内します。

入学辞退

入学手続きを完了した方が、入学を辞退する場合は、下記の要領で入学辞退手続きを行ってください。「入学金（200,000円）」を除く「前期1期授業料」、「同窓会費」、「教育後援会費」、および「外国人留学生向け学研災付帯学生生活総合保険加入費」（外国人留学生の場合のみ）を返還します。

申請方法

「マイページ」にログインして「入学手続き」から「入学辞退手続き」へ進み、必要事項（返還する銀行口座、辞退理由など）をすべて入力してください。

※ 申請期限までに手続きを完了しなかった場合や、申請内容に不備がある場合は返還できません。なお、いったん申請した入学辞退を取り消すことはできません。

申請期限

2025年3月31日（月）

納入金の返還日程

2025年3月14日（金）までに申請した場合：2025年3月31日（月）までに返還

2025年3月15日（土）から2025年3月31日（月）までに申請した場合：2025年4月30日（水）までに返還

国内学生を対象とした本学独自の奨学金

入学前に利用できる奨学金

奨学金の名称	金額	対象	採用人数	選考方法
入学試験 成績優秀特待生 (減免)	年間授業料の 1/4 の額 (入学年度の授業料を減免)	一般選抜 1 期の合格者のなかで優秀な成績を収めた者 対象試験方式：学力 2 科目（5 科目から選択、3 科目から選択のいずれも可）、小論文、鉛筆デッサン、イメージ表現 ※ 対象科目ごとの採用率は、当該年度の受験者数割合によって決定 ※ 2025 年度内の他の入試種別で合格した方も出願可。ただし指定校推薦入試で合格し、入学手続きを完了した方は、それ以降の入試に出願することはできないため、対象となりません。	15 名 国内学生と 留学生の合計	一般選抜 1 期の得点 上位者（全体の上位 30%以上）から採用
資格取得特待生 (給付)	500,000 円 (入学後に給付) ※ 入学年度のみ	下記のいずれかの資格を有する学部 1 年次入学予定者 1. 英検 2 級以上を受験して CSE2.0 / 1,950 以上 2. TOEIC L&R + S&W 1,150 以上 3. TOEFL-iBT 42 以上 4. GTEC 930 以上 5. IELTS アカデミック・モジュール 4.0 以上 ※ 資格の有効期限は、資格取得日が入学日(2025年4月1日)から遡って3年以内(2022年度以降に取得したもの)であるものに限ります。ただし、スコアに有効期限がある場合は入学日時点で有効であること。 ※ 英検 S-CBT、英検 S-Interview も申請対象とします。 ※ TOEIC は TOEIC L&R のスコアと TOEIC S&W のスコア ×2.5 したものを合算したスコアで判定します。 ※ TOEFL-iBT は Test Date スコアを申請スコアとして活用します。(My Best スコアは申請スコアとして活用しません。)	上限なし	対象基準を満たす 申請者全員を採用

※ 上記の 2 つの制度を併用することはできません。

入学後に利用できる奨学金

奨学金の名称	金額	対象	採用人数	選考方法
英語資格取得奨学金 (給付)	500,000 円 (当該年度に給付)	国際文化学部グローバルスタディーズ学科に在籍の 2 年生～4 年生で、下記の TOEIC L & R スコアを取得した者 ※ 出願年度に留年している者は対象外 ・ 1 年次において 580 以上 ・ 2 年次において 690 以上 ・ 3 年次において 785 以上	上限なし	対象基準を満たす 申請者全員を採用
成績優秀奨学金 (減免)	年間授業料の 1/4 の額 (当該年度の授業料を減免)	・ 学部 2 ～ 4 年生に在籍する者 ・ 標準的な単位数を前年度までに修得している者 ・ 前年度 GPA が 3.0 以上の者 ・ 対象となる当該年度に休学していない者	各学年 15 名 (国内学生と 外国人留学生の 合計人数)	前年度 GPA を 審査し各学年成績 上位 15 名を採用
海外プログラム 学修奨励奨学金 (減免)	年間授業料の 1/2 の額 (派遣期間の授業料を減免)	・ 海外協定校への交換留学および長期海外プログラムを履修する者 ・ 前年度 GPA が 3.0 以上の者 ・ TOEFL-ITP の得点が 550 点以上の者 ・ 標準的な単位数を前年度までに修得している者 ・ 対象となる当該年度に休学していない者 ・ 過去に本奨学金を受給していない者	20 名 (国内学生と 外国人留学生の 合計人数)	提出書類（計画書） および面接により 選考
海外プログラム 履修奨励貸与奨学金 (貸与 / 無利子)	最大 300,000 円 (100,000 円単位で申請可能)	正課科目として開講する海外プログラムを受講する意志があるにもかかわらず、経済的な理由で履修困難な者	不定	提出書類により選考
短期奨学貸付金 (貸与 / 無利子)	最大 30,000 円 (1 回あたり)	・ 学生生活維持のために緊急の出費を要する者 ・ 貸与から 6 ヶ月以内に返還できる者 ※ 休学中は対象外	不定	提出書類により選考

申請方法

本学独自の奨学金の申請方法、申請期限などの詳しい情報は、本学 Web サイトをご確認ください。

京都精華大学独自の奨学金
(国内学生対象)



日本学生支援機構（JASSO）奨学金

『給付奨学金+授業料等減免』（「高等教育の修学支援新制度」）

本学は「高等教育の修学支援新制度」の対象機関に認定されています。この制度は修学意欲がありながらも経済的な理由により進学が困難な学生の経済的負担の軽減を目的とした国による支援制度です。日本学生支援機構の「給付型奨学金」を受けるのと同時に「授業料や入学金の減免」の支援を受けることができます（どちらも返還不要）。Ⅰ～Ⅳの支援区分があり、毎年家計基準により支援区分の見直しがされ、給付奨学金月額と授業料等減免額が決定します。

『貸与奨学金』（第一種・第二種・入学時特別増額貸与奨学金）

貸与奨学金は返還が必要な奨学金制度です。無利子の第一種奨学金（月額2万円～6万4千円）・有利子の第二種奨学金（月額2万円～12万円）、入学時特別増額貸与奨学金（一時金10万円～50万円）があり、貸与を受ける金額は自分で決めることができます。

申し込みについて

「予約採用」：現在在学している学校で申込みをします。詳細は在学している学校にお問合せください。

「在学採用」：大学で年2回（春期・秋期）申込みを受け付けます。

※ 新入生も入学後に「在学採用」で申込みができますが、高校などで「予約採用」申込みをし、採用候補者と決定されることで、入学後の所定の手続きが簡単で奨学金の受け取りが早い段階から開始されることが期待できます。

詳しくは本学 Web サイトをご確認ください。

京都精華大学 奨学金
(JASSO 奨学金)



外国人留学生を対象とした本学独自の奨学金

入学前に利用できる奨学金

奨学金の名称	金額	対象	採用人数	選考方法
入学試験 成績優秀特待生 (減免)	年間授業料の 1/4 の額 (入学年度の授業料を減免)	外国人留学生入試 2 期の合格者のなかで優秀な成績を取めた者 対象試験方式: 学力 2 科目 (5 科目から選択、3 科目から選択のいずれも可)、 小論文、鉛筆デッサン、イメージ表現 ※ 対象科目ごとの採用率は、当該年度の受験者数割合によって決定 ※ 日本学生支援機構 (JASSO) 「文部科学省外国人留学生学習奨励費」との併給は可能 ※ 2025 年度内の他の入試種別で合格した方も出願可。ただし指定校推薦入試で合格し、入学 手続を完了した方は、それ以降の入試に出願することはできないため、対象となりません	15 名 (国内学生と 外国人留学生 の合計人数)	外国人留学生入試 2 期の得点上位者 (全 体の上位 30% 以上) から採用
私費外国人留学生 EJU 成績優秀 特待生 (減免)	年間授業料の 1/4 の額 (入学年度の授業料を減免)	・ 指定校推薦入試、総合型選抜 1 期・2 期・3 期および外国人留学生入試 1 期・ 2 期に合格した、私費外国人留学生の入学予定者 ・ 日本留学試験 (EJU) の「日本語」において、「聴解・聴読解」と「読解」、 「記述 (35 点以上あること)」の合計が 300 点以上の者 ※ 試験は入学前 2 年以内 (2023 年 4 月 1 日以降) に受験したものに限り ※ 日本学生支援機構 (JASSO) 「文部科学省外国人留学生学習奨励費」との併給は可能	15 名	対象者のうち成績上 位者を採用。同得点 の者が発生した場合 は、「記述」の得点 が高い者を優先

※ 上記の 2 つの制度を併用することはできません。

入学後に利用できる奨学金

奨学金の名称	金額	対象	採用人数	選考方法
成績優秀奨学金 (減免)	年間授業料の 1/4 の額 (当該年度の授業料を減免)	学部 2 ～ 4 年生に在籍する私費外国人留学生のうち、以下のすべてを満たす者 ・ 標準的な単位数を前年度までに修得している者 ・ 前年度 GPA が 3.0 以上の者 ・ 対象となる当該年度および前年度に休学していない者 ※ 「私費外国人留学生大学学費減免」との併給は可能 ※ 日本学生支援機構 (JASSO) 「文部科学省外国人留学生学習奨励費」との併給は可能	各学年 15 名 (国内学生と 外国人留学生 の合計人数)	前年度 GPA を 審査し各学年成績 上位 15 名を採用
私費外国人留学生 大学学費減免 (減免)	年間授業料の 1/4 の額 (当該年度の授業料を減免)	学部 2 ～ 4 年生に在籍する私費外国人留学生のうち、以下のすべてを満たす者 【家計】 ・ 仕送り (授業料を除く) が平均月額 70,000 円以下であること ・ 家賃 (共益費含む) が月額 25,000 円以下であること ・ 在日する扶養者がいる場合、その年収が 500 万円以下であること 【成績】 ・ 標準的な単位数を前年度までに修得している者 ・ 前年度 GPA が 2.5 以上の者 ・ 必修科目の単位を修得していること ・ 対象となる当該年度に休学していない者 ※ 「成績優秀奨学金」との併給は可能 ※ 日本学生支援機構 (JASSO) 「文部科学省外国人留学生学習奨励費」との併給不可 (ただし 「留学生受入促進プログラム予約制度」とは併給可能)	各学年 28 名	家計と成績要件を 満たす者のうち 成績上位者を採用
海外プログラム 学修奨励奨学金 (減免)	年間授業料の 1/2 の額 (派遣期間の授業料を減免)	・ 海外協定校への交換留学および長期海外プログラムを履修する者 ・ 前年度 GPA が 3.0 以上の者 ・ TOEFL-ITP の得点が 550 点以上の者 ・ 標準的な単位数を前年度までに修得している者 ・ 対象となる当該年度に休学していない者 ・ 過去に本奨学金を受給していない者 ※ 日本学生支援機構 (JASSO) 「文部科学省外国人留学生学習奨励費」との併給は可能	20 名 (国内学生と 外国人留学生 の合計人数)	提出書類 (計画書) および面接により 選考
海外プログラム 履修奨励賞与奨学金 (貸与 / 無利子)	最大 300,000 円 (100,000 円単位で 申請可能)	正課科目として開講する海外プログラムを受講する意志があるにもかかわらず、 経済的な理由で履修困難な者	不定	提出書類により選考
短期奨学貸付金 (貸与 / 無利子)	最大 30,000 円 (1 回あたり)	・ 学生生活維持のために緊急の出費を要する者 ・ 貸与から 6 ヶ月以内に返還できる者 ※ 休学中は対象外	不定	提出書類により選考

申請方法

本学独自の奨学金の申請方法、申請期限などの詳しい情報は、本学 Web サイトをご確認ください。

京都精華大学独自の奨学金
(外国人留学生対象)



個別の入学資格審査

個別の入学資格審査は、学歴に関する出願資格を満たさない方に対し、それと同等以上の資格があるかどうかについて申請書類をもとに審査し、出願資格の有無を判定するものです。

対象者

学歴に関する出願資格を有しない、18歳以上の者

申請方法

本学 Web サイト（入試&高校生・受験生向け情報／出願資格／個別の入学資格審査について）から「個別の入学資格審査申請書（学部）」を入手して必要事項を記入し、下記の書類を添えて、申請期間内に入学グループに簡易書留郵便で送付してください。

1. 出身教育施設の卒業証明書または卒業見込証明書（原本）
2. 出身教育施設の成績証明書または調査書（原本）
3. 出身教育施設の教育内容などが確認できる書類（教育課程、カリキュラム、授業時間数、授業科目、修業年限、必要単位数などが明記されたもの）
4. 社会での実務経験などの期間および内容を証明できる書類（社会での実務経験を有する者のみ提出）
5. 生年月日を確認できる書類の写し（上記書類 1～4 に生年月日の記載がある場合は提出不要）

申請期間

出願期間（総合型選抜 1 期・2 期の場合は、エントリー期間）開始日の 14 日前まで

※ 14 日前に本学必着であること。

審査結果の通知

申請者宛にメールで通知します。審査が認められた場合、学歴に関する出願資格を認めます。

お問合せ | その他

入学試験に関するお問合せ

入学試験に関するご質問は、入学グループ宛にメールまたは電話にてお問合せください。

受付日時：月曜～金曜 9：00～18：00（8/8～9/20 は 9：00～16：30）

※土曜、日曜、祝日、8/9～8/18、12/28～1/5 は事務局休業日につき、メール・電話への対応を行っていません。

入学グループ

メール：nyushi@kyoto-seika.ac.jp

電話：075-702-5100

住所：〒606-8588 京都市左京区岩倉木野町 137

インターネット出願の操作に関するお問合せ

「インターネット出願ページ」の「よくある質問・お問合せ」では、「マイページ」での操作に関するお問合せへの回答を掲載していますのでご活用ください。

URL：https://www.guide.52school.com/guidance/net-kyoto-seika

志願受付操作サポート窓口

TEL：0120-752-257

受付期間：2024/8/1～2025/3/31

受付時間：毎日 9：00～20：00

※上記期間のうち、入試種別ごとの出願期間のみご利用いただけます。また、年末年始（12/29～1/3）は休業させていただきます。

入試&高校生・受験生向け情報

入学試験に関してよくある質問、過去の入試結果、過去問題、実技試験の合格参考作品などの情報を本学 Web サイト（入試&高校生・受験生向け情報）で公開しています。また、入学試験に関する追加のお知らせが発生した場合はこちらでお知らせします。

入試&高校生・受験生向け情報



個人情報の取扱い

本学では、個人情報保護の重要性を認識し、個人情報保護に関する法令を遵守すると共に、適法かつ適正に個人情報を取扱います。志願者である皆さんの個人情報については、出願処理、試験実施、合否発表、入学手続、学内における統計資料作成に使用し、入学手続完了者については、入学後の在籍情報登録、入学準備案内としても使用します。前述の各業務について、本学および当該業務を委託した業者において業務を行うことがありますが、本学が明示する用途のみに使用し、委託業務を超えた利用はありません。

また、実技試験（鉛筆デッサン、イメージ表現）の合格作品については、入学試験の参考資料として、本学が発行する入試ガイド・入学試験要項や、本学 Web サイト（入試&高校生・受験生向け情報）などで二次利用する場合があります。あらかじめご了承ください。

その他の入学試験

本学における下記の入学試験については、大学 Web サイトの資料請求ページにてデジタル版（PDF）を公開しています。

- ・編入学試験
- ・海外帰国生徒入試
- ・社会人入試
- ・大学院入試

資料請求



入学の取消し

下記に該当する場合は遡及して入学を取消します。あらかじめご了承ください。なお、入学取消となった場合、「入学金（200,000 円）」を除く、「前期 1 期授業料」、「同窓会費」、「教育後援会費」、および「外国人留学生向け学研災付帯学生生活総合保険加入費」（外国人留学生の場合のみ）を返還します。

- ・2025 年 4 月 1 日までに出席資格を満たすことができなかった場合
- ・出願書類に虚偽があった場合
- ・入学試験における不正行為が発覚した場合

外国人留学生の付帯事項

- ・過去の在留状況などにより、在留資格を取得できない場合
- ・本学が求める経費の支弁能力を証明する書類が提出できない場合
- ・受入れ機関（本学）での在籍管理が困難と判断される場合

5 KYOTO SEIKA
2 UNIVERSITY
0 ADMISSION
2 GUIDELINES

京都精華大学

2025年度 入学試験要項

2024年7月発行

京都精華大学 入学グループ